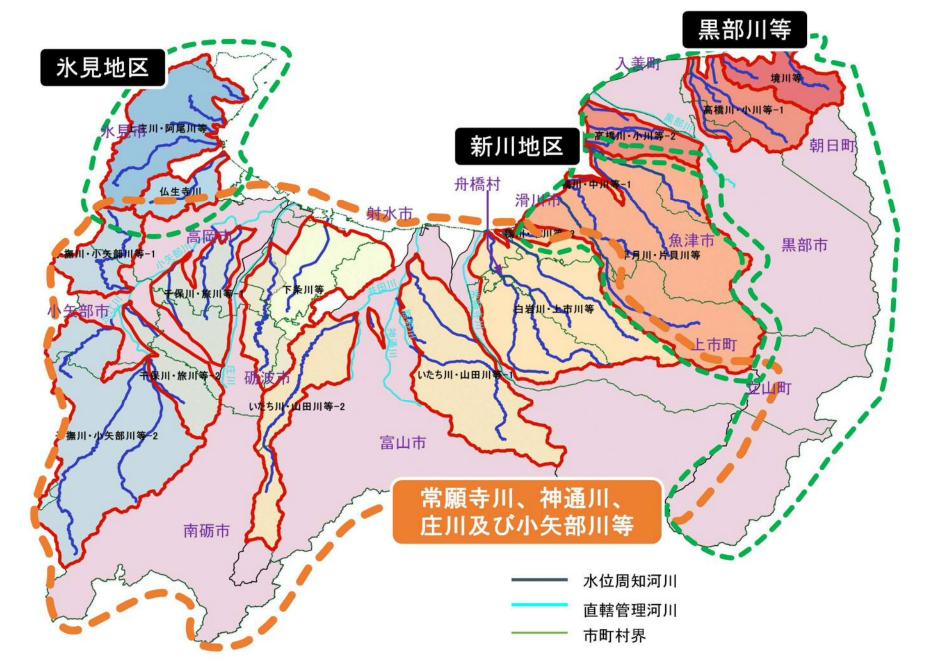
県管理河川の減災に係る取組方針に基づく状況報告

令和元年6月6日

常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川等大規模氾濫に関する減災対策協議会



協議会	グループ名	水系名	河川名	主な着眼点
	境川等グループ	境川	境川	急峻な谷地形を流下する
	境川守ノルーノ	笹川	笹川	河川
		木流川	木流川	
黒部川		小川	小川	
条明川	高橋川・小川等グ	小川	舟川	
₹	同個川・九川寺グ	小川	山合川	扇状地内を流下する河川
	10-5	吉田川	吉田川	
		高橋川	高橋川]
		黒瀬川	黒瀬川	
		片貝川	片貝川	流域面積が比較的大き
	早月川・片貝川等	片貝川	布施川	一人、主に郊外を流下する
	グループ	早月川	早月川	へ、エに郊外を加下する 築堤河川
新川地区		角川	角川	条 英 河 川
	鴨川・中川等グ	鴨川	鴨川	流域面積が比較的小さ
	特別・中川寺グ	中川	中川]く、市街地内を流下する
	10-5	中川	沖田川	河川
	仏生寺川グループ	仏生寺川	仏生寺川	平野部を流下する河川
		上庄川	上庄川	
氷見地区	上庄川・阿尾川等	余川川	余川川	□ 谷地形を流下する河川
	グループ	阿尾川	阿尾川	
		宇波川	宇波川	

協議会	グループ名	水系名	河川名	主な着眼点
	VOLUME OF STREET	上市川	上市川	
	白岩川・上市川等	白岩川	白岩川	白岩川・上市川流域内を流
	グループ	白岩川	栃津川]下する河川
		白岩川	大岩川	
		神通川	いたち川	
	いたち川・山田川	神通川	土川	┃ 神通川流域内を流下する河
	等グループ	神通川	熊野川	
常願寺川	サブループ	神通川	坪野川]*"
神通川		神通川	山田川	
庄川	下条川等グループ	下条川	下条川	主に射水市内の平野部を流
小矢部川	下来川寺グルーク	庄川	和田川	下する河川
等		小矢部川	千保川	00 00 00 0000 0000 0000 000 000 000
4	千保川・旅川等グ	小矢部川	祖父川]小矢部川流域内で、主に農
		小矢部川	岸渡川	排水路を起点とし、比較的
	10-5	小矢部川	横江宮川	川幅が狭い河川
		小矢部川	旅川	
	DESCRIPTION TO MATERIAN OF	小矢部川	子撫川	 小矢部川流域内で、山間地
	子撫川・小矢部川	小矢部川	渋江川	かえ部川流域内で、田間地
	等グループ	小矢部川	小矢部川	を起点とし、周川幅が比較 的広い河川
	-2000-000-000-000-000-000-000-000-000-0	小矢部川	山田川	וו נייי בעינים

Company Comp	カテゴリ	富山県実施内容	時期	富山地方気象台 実施内容	時期	滑川市 実施内容	時期	上市町 実施内容	時期	立山町 実施内容	時期	舟橋村 実施内容	時期	富山市 実施内容
Part	D主な取組					F 1786 1 P								F 277001 F 000
The content of the		・洪水を河川内で安全に流すためのハード	引き続き											
Company Comp	イピング対策	対策を推進する。												
Company Comp		【白岩川】	引き続き											
	防整備	護岸 L=0.17km(富山市水橋柳寺地内)	実施											
The content of the	堤の維持・保全	河道浚渫 L=0.5km (立山町日中地内ほか)												
### CONTROL OF THE PROPERTY OF		【上市川】												
Part	『ムによる洪水調節 ±水をバイパス等で排水する施鉛の整備	XX 2 0. 00m (2.152) 134-21 3100 7												
### PARTICLE PARTICL	J道浚渫													
		・ ・	会後検討		1			I	1					
## AND THE PROPERTY OF THE PRO		を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対	7 (2 (2 (1)											
MILES SECTION MILES MI		策を推進する。	-											
MILES SECTION MILES MI														
## 15 Part P														
March Marc														
	「動、水防沽動、排水沽動に貧する基盤等の整備	・新技術に関する情報を収集し、検討する	今後検討			・情報を収集し、必要性を検討する。	未定	・情報を収集し、必要性を検討する。	H29年度か	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度か	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度か	・新技術(水のうなど)を活用した水防資
## 1		AND THE COURSE OF THE STATE OF	7 100 100 11			HATE WAS SAILE KILLY OF	NA.	INTREMACT DEFECTION		INTRO-CASC SALEKII) VO				機材の検討
PRODUCTION	技術を活用した水防資機材の検討及び配備											・引き続き情報を収集し、必要性を検討す		・ウォーターフェンスなど調査研究
### 1985 1985 1985 1985 1985 1985 1985 1985												8		
### 1995		・河川監視カメラの設置(水位計設置箇												
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日		所) ・簡易水位計の設置	実施											
### 1		・河川監視カメラ設置及びHP公開6基	引き続き											
### 1000 ###	水時の状況を把握し、円滑な避難活動や水防活動を支援	上市川1基(交観橋)												
### 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		交益橋)												
中の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の		栃津川1基(流観橋)												
### 1997 (1997)		· 危機管理型水位計設置9基												
19 19 19 19 19 19 19 19														
						・防災行政無線のデジタル化を推進する。		·防災行政無線	実施済	·防災行政無線	今後検討		実施済	・アナログ式防災行政無線をデジタル式に
### 15 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	災行政無線や防災ラジオ等のデジタル化による改良						予定		-	· 実施洛 (H20~)	宝施洛	よりアジダル化済		
### 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	The state of the s									天肥膚(ロビンド)	大心所			・・・ロッス(m) 火1) 以無稼をナンダル式に 再整備中
American		・施設等に関する情報を収集し、検討す	今後検討			・情報を収集し、必要性を検討する。	未定		必要があれ.	· 一定程度確保済	必要があれ	・施設等の現状確認	必要があれ	· 一定程度確保済(本庁舎)
### 1995		る。	7 (2 (2 (1)			HALLARD, DELETER 19 0.	N.A.L	人生及唯 体//		2. 任及能体为	ば検討			定任及唯体内(平月日)
### 1985 (1985)												・施設等の現状を確認 (H30)	H30∼	· 一定程度確保済(本庁舎)
### 1	STORY SOURCE OF STREET													
### 1						・情報を収集し、必要性を検討する	未定	・必要に広じて検討	必要がなわ	・必要に広じて検討	必要がなわ	・必要に広じて検討	必要があわ	・必要に広じて検討
						「おれこな本し、必女はと快削りも。	/n.xc	20 20C1 - NO O C (2003)		20 301 - NO O C 1701		20 201 - NO O C (Xe)		2. 女 () () () () ()
	『庭貯留の実施													
20世 19世 19			今後検討			・情報を収集し、必要性を検討する。	未定	・必要に応じて検討		・必要に応じて検討		・必要に応じて検討		・必要に応じて検討
語語の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現しています。		制度の検討												
# 最新報告記述、		小田和田にかり 女人扱門及り大司	+						+					
### A PART	一、「ニーハノマへ」が明次ソルエ													
### A PART														
大田神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神神			継続実施				未定	・連絡体制の強化		・必要に応じて検討		・必要に応じて検討	継続実施	・土地改良区等への協力依頼を検討
10分割を発揮性の表の動物・関係を必要性を必要性を必要性を必要性を必要性を必要性を必要性を必要性を必要性を必要性	B業用排水路に設置されている水門管理の微床	以及にかい。 東川	+				随時		ジガス割		はかり犬高り			・文書による協力依頼を実施
の名本を基準さらものの形と、世紀性の心臓を受した。 の必要性がものの形と、世紀性の心臓を受した。 の必要性がものが、生物性の心臓を使われたの影響が同う。 に、力が一般性の心臓を使われたが変化を使われた。 に、力が一般性の心臓を使われたが変化を使われたが変化を使われたがである。 に、力が一般性の心臓を使われたが変化を使われたが変化を使われたがである。 の必要性がも、力が変化を使われたが変化を使われたが変化を使われたがである。 に、力がしていた。 の必要性がも、力が変化を使われたが変化を使われたが変化を使われたがである。 の必要性があると思考し、効果がな、関係性の心臓を使われたが変化を使われたがである。 の必要性があると思考し、効果がな、変化が変化を使われたがであると思考し、効果がな、内で使われたが変化を使われたがである。 の必要性があると思考し、効果がある。 の必要性があると思考し、効果がな、内で使われたが変化を使われたが変化を使われたが変化を使われたがある。 の必要性があると思考し、からななないであると思考し、の表がなな、内で使われたが変化を使われたが変化を使われたがある。 の必要性があると思考し、からななないであると思考し、の表がなないであると思考し、効果が高いである。 の必要性があると思考し、からななないであると思考し、の表がなないであると思考し、の表がなないであると思考し、の表がなないであると思考し、の表がなないであると思考し、の表がなないであると思考し、の表がなないであると思考し、の表がなないのななないであると思考し、の表がなないのななないのなどの心臓性を発症を使われたがある。 のなどの心臓性を発症を使われたが変化を使われたが変化があると思考し、の表がないの、対していた。 のなどの心臓性を発症を使われたが変化を使力を使われたが変化を使われたが変化を使われたが変化を使われた	CANDING STATE CAR CA CANDAL TENERS WAS													
の名本を基準さらものの形と、世紀性の心臓を受した。 の必要性がものの形と、世紀性の心臓を受した。 の必要性がものが、生物性の心臓を使われたの影響が同う。 に、力が一般性の心臓を使われたが変化を使われた。 に、力が一般性の心臓を使われたが変化を使われたが変化を使われたがである。 に、力が一般性の心臓を使われたが変化を使われたが変化を使われたがである。 の必要性がも、力が変化を使われたが変化を使われたが変化を使われたがである。 に、力がしていた。 の必要性がも、力が変化を使われたが変化を使われたが変化を使われたがである。 の必要性があると思考し、効果がな、関係性の心臓を使われたが変化を使われたがである。 の必要性があると思考し、効果がな、変化が変化を使われたがであると思考し、効果がな、内で使われたが変化を使われたがである。 の必要性があると思考し、効果がある。 の必要性があると思考し、効果がな、内で使われたが変化を使われたが変化を使われたが変化を使われたがある。 の必要性があると思考し、からななないであると思考し、の表がなな、内で使われたが変化を使われたが変化を使われたがある。 の必要性があると思考し、からななないであると思考し、の表がなないであると思考し、効果が高いである。 の必要性があると思考し、からななないであると思考し、の表がなないであると思考し、の表がなないであると思考し、の表がなないであると思考し、の表がなないであると思考し、の表がなないであると思考し、の表がなないであると思考し、の表がなないのななないであると思考し、の表がなないのななないのなどの心臓性を発症を使われたがある。 のなどの心臓性を発症を使われたが変化を使われたが変化があると思考し、の表がないの、対していた。 のなどの心臓性を発症を使われたが変化を使力を使われたが変化を使われたが変化を使われたが変化を使われた														
# 2000年、元本代で日本の選出を担い、対しています。														
を記せた。		水害の歴史、洪水特性の周知理解促進のた	今後検討			・配布に協力する。	順次実施	・配布に協力する。	順次実施	・配布に協力する。	順次実施	・配布に協力する。	順次実施	・配布に協力する。
### (1995年) 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日		のJの副教材のTFIX・配布	-											・作成され次第、配布に協力
中学物質における水炭養育育業施	・配布													
中学校和における水炭養育育業類		山台縣市位于江田(七年の子地上)	31 + 4+ +	白沙はの数本委員会とは増す。 社団などと	21 + (+ + -	小 古典技术と無視がた とほん	コキゲナ产	**************************************	IIE variable	東海の競技を削しなれる。地へにしませ	31 + 4+ +	**************************************	31 + 4+ + +	再付いたねば カギ セー・ラクスケー
中学校学に知りる水質養育を発掘				日后体の教育安員会と埋張し、効果的な水 防の避難や訓練など支援	5 さ続き実 施	ザードマップの周知や災害情報の入手方法	りられき実 施	・・教育安員宏、PIAとの協議の実施	順欠実施			・ 教育安員伝、PIAとの協議の実施	りで続き実 施	・要望があれば、ハザードマップの周知や 災害情報の入手方法などの出前講座を実施
10.2 2 市客育センター(物食剤の配) 10.2 1 市産シ中等的な 10.2 1 市産シ中等のな 10.2 1 市産・日等のな 10.2 1 市産・日等	カ帯状等にもはてずべきおさと中代					などの出前講座を実施			1		1			
・共和選軍等を活用した哲学を整備的に 行っていく。	サチ1文寺における小災者教育を実施	1				・出前講座等を実施 H30 4 22 市教育センター (数量約20タ)								・出前講座を実施 H30 10 22 新中北小学校5年生
方っていく。 実施 会業第 実施 学校の別的を受験権態の入手が法と 的 対象機を実施 実施 のに対象権を発施。 対象機を実施 実施 のに対象権を発施。 対象機を実施 対象機を受験した。 大力などの出版資産を実施 にいいっての影響を実施を発動している。 「おおままなどの出版資産を実施 にいいっている。 「おおままなどの出版資産を実施 にいいった」」 「おおままなどの出版資産を実施 にいった」」 「おおままなどの出版では、「おおままなどの出版では、「おおままなどのよう」」 「おおままなどのよう」」 「おおままなどのようなどのままなどのようなどのままなどのようなどのようなどのままなどのままなどのままなどのままなどのようなどのままなどのままなどのままなどのままなどのままなどのままなどのままなどのま			1			1888年22日から日ピング (教養制30名)	大ル							100.10.22 利江小小子双小子
方っていく。 実施 会業第 実施 学校の別的を受験権態の入手が法と 的 対象機を実施 実施 のに対象権を発施。 対象機を実施 実施 のに対象権を発施。 対象機を実施 対象機を受験した。 大力などの出版資産を実施 にいいっての影響を実施を発動している。 「おおままなどの出版資産を実施 にいいっている。 「おおままなどの出版資産を実施 にいいった」」 「おおままなどの出版資産を実施 にいった」」 「おおままなどの出版では、「おおままなどの出版では、「おおままなどのよう」」 「おおままなどのよう」」 「おおままなどのようなどのままなどのようなどのままなどのようなどのようなどのままなどのままなどのままなどのままなどのようなどのままなどのままなどのままなどのままなどのままなどのままなどのままなどのま					1	1	引き締き宝	・町内会や自主防災組織から要望があった	引き続き	・防災に関する出前講座の依頼がある場	引き続き	・広報紙、HP等により周知	引き続き実	・ハザードマップの周知や災害情報の λ 手
制調産等を活用し、水物災等に関する説明含を開催		・出前護座等を活用した啓発を建極的に	引き続き	出前講座等を活用し水防災等に関する戦和	引き締き	・町内会等から要望があった場合 ハザー				合、防災アドバイザーと協力してハザード		The state of the s		
153.2.6 富山県下作された・協議会 富山田安プロック(40名) 「大物及産業社会」の再構業に役立っ広報や資料 作成・配布 一方・大力を整備 153.2.6 富山県下作された・協議会 東海 153.2.6 富山県下作された・協議会 「大物及産業社会」の再構業に役立っ広報や資料 作成・配布 一方・大力を変します。 「大物及産業社会」の再構業に役立っ広報や資料 作成・配布 一方・大力を変します。 「大学の工業報告会」の再構業に役立っ広報や資料 作成・配布 一方・大力を変します。 「大学の工業報告会」の再構業に役立っ広報や資料 作成・配布 一方・大力を変します。 「大学施」 一方・大力を変します。 「大学の工業報告会」の再構業に役立っ広報や資料 作成・配布 一方・大力・大力を変します。 「大学施」 一方・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・						ドマップの周知や災害情報の入手方法など		場合、ハザードマップの周知や災害情報の			1	・ハギードフップ声が吐(ロケハキマウ)		・中前護体の実施の同
第出地区プロック (40名)	前罐成集を汗田 小陰巛集 現ナで料印をた即が	行っていく。	実施	会を実施	実施	ドマップの周知や災害情報の入手方法など の出前講座を実施	施	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施している。		マップ等について説明する。				山川得座の天旭 00回
現外変 「水形災害職社会」の再構築に役立っ広報や資料 作成・「水形災害職社会」の再構築に役立っ広報や資料を配布 「水形災害職社会」の 再換実施 「原次実施 「再際に役立っ広報や資料を配布 「京本形災害職社会」の 再構業に役立っ広報や資料を配布 「京本形災害職社会」の 再構業に役立っ広報や資料を配布 「京本形災害職社会」の 再構業に役立っ広報や資料を配布 「京本形災害職社会」の 再構業に役立っ広報や資料を配布 「京本形災事務を作成」 「「富報金の可能性」や「保険度分布」 などの広報用チラシの配布(H30)」 「富報金の可能性」や「保険度分布」 などの広報用チラシの配布(H30)」 「国企業が財態所等の共同点検の実施 「日本会も大変、市の広報誌や「海が、	前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	行っていく。・出前講座等を実施 H31. 2. 6 富山県ディサービスセンター協議会	実施引き続き	会を実施・出前講座等を実施	実施引き続き	ドマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・130.6.7 滑川東地区自治会連合会	施	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施している。 ・出前講座を実施 H30.9.2 稗田自主防災会	引き続き	マップ等について説明する。		等の実施を検討		
果的な「水助災害機社会」の再構築に役立つ広報や資料を配布 再構築に役立つ広報や資料を配布 再構築に役立つ広報や資料を配布 再構築に役立つ広報や資料を配布 再構築に役立つ広報や資料を配布 内心 特別 特別 かい 特別 は おいま は かいま は かいま は かいま は かいま は かいま は おいま は かいま は かい	前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	行っていく。 ・出前講座等を実施 H31.2.6 富山県デザービスセッター協議会 富山地区プロック(40名)	実施引き続き	会を実施・出前講座等を実施	実施引き続き	ドマップの周知や災害情報の入手方法など の出前講座を実施 ・出前講座等を実施 H30.6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.6.24 河端町	施	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施している。 ・出前講座を実施 H30.9.2 神田自主防災会 H30.10.21 若杉自主防災会	引き続き	マップ等について説明する。		等の実施を検討		
作成・配布 - 「童報級の可能性」や「我験度分布」 引き続き 表の広報用チラシの配布(H3O) 実施 - 小グードマップ更新時(R1年公表予定) 素施 - 小グードマップ更新時(R1年公表予定) 素施 - 小グードマップ更新時(R1年公表予定) 素性 - 小グードマップ更新時(R1年公表予定) - 小グードマップ更新時(R1年公表予定) 素性 - 小グードマップ更新時(R1年公表予定) 素性 - 小グードマップ更新時(R1年公表予定) 素性 - 小グードマップの配布(H3O) - 小グードマップの配布(H3O) - 小グードマップの配布(H3O) - 小グードマップの配布(H3O) - 小グードマップの配布(H3O) - 小グードマップの配布度、H3O - 小グードマップの配布(H3O) - 小グードマップの配布を実施 - 小グードマップの直に検討する。 一 小グードマップの運動後 - 小グードマップの運動を検討する。 一 小グードマップの運動後 - 小グードマップの原に検討する。 一 小グードマップの原に検討する。 「最次実施 - ハゲードマップの原に検討する。」 - ハゲードマップ見直しの際に検討する。 「最次実施 - ハゲードマップ見直しの際に検討する。 「最次実施 - ハゲードマップ見直しの際に参考を検 - シーカー - トマップ見直しの際に参封する。 また - ハゲードマップ見直しの際に参封する。 また - ハゲードマップ見直しの際に参封する。 また - ハゲードマップ見直しの際に参封する。 また - ハゲードマップ見直しの際に参封する。 よいゲードマップ見直しの際に参封する。 また - ハゲードマップ見直しの際に参封する。 よいゲードマップ見直しの際に参封する。 また - ハゲードマップ見直しの際に参封する。 また - ハゲードマップ見直しの際に参封する。 また - ハゲードマップ見直しの際に参封する。 また - トゲードマップ見直しの際に参封する。 また - トゲードマップも変後、必要に参考と	前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	行っていく。 - 出前講座等を実施 H31.2.6 富山県ディサービスセケー協議会 富山地区プロック (40名) (出前県庁しこと談義)	実施引き続き実施	会を実施 - 出前講座等を実施 - H30.8.26 立山町消防本部研修会(100名)	実施引き続き実施	ドマップの周知や災害情報の入手方法など の出前講座を実施 H30.6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.6.2 州 河端町 H30.10.10 南部小学校	施 引き続き 実施	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施している。 ・出前講座を実施 H30 9.2 韓田自士防災会 H30.10,21 若杉自士防災会 H30.10,26 南加積地区いきいきサロン	引き続き実施		順次宝埣	等の実施を検討	順次宝梅	・市の広報誌への掲載や HPかどで国知
・重要水防菌所等の共同点検の実施 今後検討 第2を放送の場所である。 一直要水防菌所等の共同点検の実施 今後検討 第2をの広報用チランの配布(ISO) 大きの上海に大学が関係である。 一定との広報用チランの配布(ISO) 大きの作成・配布を 2をの広報用チランの配布(ISO) 大きの作成・配子で表達 182をの共同点検の実施 4年実施 4年実施 4年実施 183をとの共同点検の実施 183の 183との共同点検を実施 183の 183との共同点検の実施を検 183の実施を検 183の実施を検 183の実施を検 2をの周知・教育・訓練の実施を検 3をの周知・教育・訓練の実施を検 3計する。 18次実施 183の実施を検 3計する。 18次実施 183の実施を検 183の実施を検 183の実施 183の実施を検 183の実施 1830 183との共同点検を対象 1830 183との共同点検の実施を検 1830 183との共同点検の実施を検 1830 183との共同点検の実施を検 1830 183との表もに対しています。 18次実施 1830 1830 1830 1830 1830 1830 1830 1830		行っていく。 - 出前講座等を実施 H31.2.6 富山県デザービスセケー協議会 富山地区ブロック (40名) (出前県庁しこと談義) - 「水防災震滅社会」の再構築・役立立広 報資料を作成、HPへの報義等(協議会で	実施引き続き実施	会を実施 - 出前講座等を実施 - H30.8.26 立山町消防本部研修会(100名)	実施引き続き実施	ドマップの周知や災害情報の入手方法など の出前講座等を実施 H30.6.7 清川東地区自治会連合会 H30.6.24 河端町 H30.10.10 南部小学校	施 引き続き 実施	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施している。 ・出前講座を実施 H30.9.2 稗田自主防災会 H30.10.21 若杉自主防災会 H30.10.26 南加積地区いきいきサロン ・国や県が作成する「水防災意識社会」の	引き続き実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の	順次実施	等の実施を検討	順次実施	・市の広報誌への掲載や、HPなどで周知
・ 選集水防菌所等の共同点検の実施 ・ 河川管理者が実施する重要水防菌所等の 膜次実施 ・ 河川管理者が実施する重要水防菌所等の 膜次実施 ・ 河川管理者が実施する重要水防菌所等の 膜次	果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料	行っていく。 - 出前講座等を実施 H31.2.6 富山県デザービスセケー協議会 富山地区ブロック (40名) (出前県庁しこと談義) - 「水防災震滅社会」の再構築・役立立広 報資料を作成、HPへの報義等(協議会で	実施引き続き実施	会を実施 ・出前講座等を実施 H30.8.26 立山町消防本部研修会(100名) 関係機関と連携して効果的な対応に協力	実施 引き続き 実施 順次実施	ドマップの周知や災害情報の入手方法など の出前講座等を実施 H30.6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.10.10 南部小学校 ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布	施 引き続き 実施 順次実施	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施している。 ・出前講座を実施 H30.9.2 稗田自主防災会 H30.10.21 若杉自主防災会 H30.10.26 南加積地区いきいきサロン ・国や県が作成する「水防災意識社会」の	引き続き実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の	順次実施	等の実施を検討 ・広報紙、HP等により周知	順次実施	
治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇の共同点検に参画する。	果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料	行っていく。 - 出前講座等を実施 H31.2.6 富山県デザービスセケー協議会 富山地区ブロック (40名) (出前県庁しこと談義) - 「水防災震滅社会」の再構築・役立立広 報資料を作成、HPへの報義等(協議会で	実施引き続き実施	会を実施 - 出前講座等を実施 - 出前講座等を実施 - H30.8.26 立山町消防本部研修会(100名) - 関係機関と連携して効果的な対応に協力 - 「警報級の可能性」や「危険度分布」	実施 引き続き 実施 順次実施	ドマップの周知や災害情報の入手方法など の出前講座等支実施 H30.6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.6.24 河端町 H30.10.10 南部小学校 ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・防災情報・避難所運営bookを作成し、	施 引き続き 実施 順次実施	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施している。 ・出前講座を実施 H30.9.2 稗田自主防災会 H30.10.21 若杉自主防災会 H30.10.26 南加積地区いきいきサロン ・国や県が作成する「水防災意識社会」の	引き続き実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の	順次実施	等の実施を検討 ・広報紙、HP等により周知 ・ハザードマップ更新時(R1年公表予定)	順次実施	・市の広報誌への掲載や、HPなどで周知・作成され次第、市の広報誌やHPで周知
の共同点検の実施 - ・	果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料	行っていく。 - 出前講座等を実施 H31.2.6 富山県ア・(サビスセケー協議会 富山地区ブロック(40名) (出前保庁しこと影響) - 「水防災意識化会」の再構築に役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成)	実施引き続き実施順次実施	会を実施 - 出前講座等を実施 - 出前講座等を実施 - H30.8.26 立山町消防本部研修会(100名) - 関係機関と連携して効果的な対応に協力 - 「警報級の可能性」や「危険度分布」	実施 引き続き 実施 順次実施	ドマップの関知や災害情報の入手方法など の出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 H30.6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.6.24 河郷町 H30.10.10 南部小学校 ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・防災情報・避難所運営bookを作成し、 避難所へ配布及びPP掲載	施 引き続き 実施 順次実施 H30~	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施している。 ・出前講座を実施 H30.9.2 稗田自士防災会 H30.10.21 若杉自士防災会 H30.10.26 南加積地区いきいきサロン ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に位立つ広報や資料を配布	引き続き実施順次実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布		等の実施を検討 ・広報紙、HP等により周知 ・ハザードマップ更新時(R1年公表予定)等の作成・配布を		・作成され次第、市の広報誌やHPで 周知
・ 災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周知・教育・訓練の実施を検 ・ 住民等への周知・教育・訓練の実施を検 ・ が	果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 作成・配布	行っていく。 - 出前講座等を実施 H31.2.6 富山県ア・(サビスセケー協議会 富山地区ブロック(40名) (出前県庁しこと影響) - 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成) - 重要水防箇所等の共同点検の実施	実施引き続き実施順次実施	会を実施 - 出前講座等を実施 - 出前講座等を実施 - H30.8.26 立山町消防本部研修会(100名) - 関係機関と連携して効果的な対応に協力 - 「警報級の可能性」や「危険度分布」	実施 引き続き 実施 順次実施	ドマップの周知や災害情報の入手方法など の出前講座等を実施 H30.6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.6.2 川瀬町 H30.10.10 南部小学校 ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・防災情報・避難所運営bookを作成し、 避難所・配布及び中掲載 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の	施 引き続き 実施 順次実施 H30~	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施している。 ・出前講座を実施 H30.9.2 韓田自士防災会 H30.10.26 南加積地区いきいきサロン ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の	引き続き実施順次実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の	順次	等の実施を検討 ・広報紙、HP等により周知 ・ハザードマップ更新時 (R1年公表予定)等の作成・配布を ・自治会との共同点検の実施を検討	順次	・作成され次第、市の広報誌やHPで 周知
・災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周 教育に参加 新育に参加 新作を洪水ハザードマップの作 ・新たな洪水ハザードマップの作成の基礎資料となる浸水想定は図の公表 ・水想定区域図の公表 ・るごとまちごとハザードマップを整備 ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 順次実施 ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 順次実施 ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 原次実施 ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 原次実施 ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 ・ハザードマップ見直しの際に必要性を検 ・カガードマップ作成後、必要が ・カガードマップ作成後、必要が ・カガードマップ作成後、必要が ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 作成・配布 治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い筐	行っていく。 - 出前講座等を実施 H31.2.6 富山県ア・(サビスセケー協議会 富山地区ブロック(40名) (出前県庁しこと影響) - 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成) - 重要水防箇所等の共同点検の実施	実施引き続き実施順次実施	会を実施 - 出前講座等を実施 - 出前講座等を実施 - H30.8.26 立山町消防本部研修会(100名) - 関係機関と連携して効果的な対応に協力 - 「警報級の可能性」や「危険度分布」	実施引き続き実施	ドマップの周知や災害情報の入手方法など の出前講座等を実施 H30.6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.6.2 川瀬町 H30.10.10 南部小学校 ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・防災情報・避難所運営bookを作成し、 避難所・配布及び中掲載 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の	施 引き続き 実施 順次実施 H30~	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施している。 ・出前講座を実施 H30.9.2 韓田自士防災会 H30.10.26 南加積地区いきいきサロン ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の	引き続き実施順次実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の	順次	等の実施を検討 ・広報紙、HP等により周知 ・ハザードマップ更新時(R1年公表予定)等の作成・配布を 独計 ・自治会との共同点検の実施を検討 ・自治会との共同点検を実施	順次	・作成され次第、市の広報誌やHPで 周知
災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周・教育に参加 新育に参加 新育に表述へが手にマップの名 ・教育・訓練 ・バザードマップ作成の基礎資料となる浸 順次実施 ・バザードマップ見直しの際に検討する。 原次実施・バザードマップ見直しの際に検討する。 原次実施・バザードマップ見直しの際に検討する。 原次実施・バザードマップ見直しの際に検討する。 原次実施・バザードマップ見直しの際に検討する。 原次実施・バザードマップ見直しの際に必要性を検 前する。 ・バザードマップ見直しの際に必要性を検 計する。 ・バザードマップを整備・・バザードマップを整備・・バザードマップ作成後、必要な 計する。 ・バザードマップ作成後、必要な 計する。 ・バザードマップ作成後、必要な 計算には、2.29)	果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 作成・配布 治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い筐	行っていく。 - 出前講座等を実施 H31.2.6 富山県ア・(サビスセケー協議会 富山地区ブロック(40名) (出前県庁しこと影響) - 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成) - 重要水防箇所等の共同点検の実施	実施引き続き実施順次実施	会を実施 - 出前講座等を実施 - 出前講座等を実施 - H30.8.26 立山町消防本部研修会(100名) - 関係機関と連携して効果的な対応に協力 - 「警報級の可能性」や「危険度分布」	実施引き続き実施	ドマップの周知や災害情報の入手方法など の出前講座等を実施 H30.6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.6.2 川瀬町 H30.10.10 南部小学校 ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・防災情報・避難所運営bookを作成し、 避難所・配布及び中掲載 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の	施 引き続き 実施 順次実施 H30~	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施している。 ・出前講座を実施 H30.9.2 韓田自士防災会 H30.10.26 南加積地区いきいきサロン ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の	引き続き実施順次実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の	順次	等の実施を検討 ・広報紙、HP等により周知 ・ハザードマップ更新時(R1年公表予定)等の作成・配布を 検討 ・自治会との共同点検の実施を検討 ・自治会との共同点検を実施 H30 H30.7月豪雨の検証作業の一環	順次	・作成され次第、市の広報誌やHPで 周知
・教育・訓練 ・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸 順次実施 ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 順次実施 ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 順次実施 ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 順次実施 ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 順次実施 ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 原次実施 ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 原次実施 ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 原次実施 ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 原次実施 ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 原次実施 ・ハザードマップ見直しの際に検討する。 ・ハザードマップ見面しの際に検討する。 ・ハザードマップ見面しの際に検討する。 ・ハザードマップ見面しの際に検討する。 ・ハザードマップを表情を表する。 ・ハザードマップを表する。 ・ハザードマップを表情を表する。 ・ハザードマップを表情を表する。 ・ハザードマップを表情を表する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 作成・配布 治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い筐	行っていく。 - 出前講座等を実施 H31.2.6 富山県デザービスセケー協議会 富山地区プロック (40名) (出前県庁しこと繁養) - 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) - 重要水防箇所等の共同点検の実施	実施 引き続き 実施 順次実施 今後検討	会を実施 - 出前講座等を実施 - 出前講座等を実施 - H30.8.26 立山町消防本部研修会(100名) - 関係機関と連携して効果的な対応に協力 - 「警報級の可能性」や「危険度分布」	実施引き続き実施	ドマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施 出初,6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.10.10 南部小学校 ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・防災情報・避難所運営bookを作成し、 避難所・配布及びPP掲載 ・期間管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参加する。	施 引き続き 実施 順次実施 H30~ 順次実施	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施 H30.9.2 韓田自主防災会 H30.10.26 南加積地区いきいきサロン ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参画する。	引き続き 実施 順次実施 順次年年実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参画する。	順次毎年実施	等の実施を検討 ・広報紙、HP等により周知 ・ハザードマップ更新時(R1年公表予定)等の作成・配布を 検討 ・自治会との共同点検の実施を検討 ・自治会との共同点検を実施 H30 H30、7月豪雨の検証作業の一環 として一部地域で実施	順次 毎年実施 H30	・作成され次第、市の広報誌やHPで 周知
水想定区域図の公表 計する。	果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 作成・配布 治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い筐 の共同点検の実施	行っていく。 - 出前講座等を実施 H31.2.6 富山県ア・パーセンヤー協議会 富山地区プロック(40名) (出前県庁しこと影響) - 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成) - 重要水防箇所等の共同点検の実施 - 災害・避難カード作成時に同席し、防災	実施 引き続き 実施 順次実施 今後検討	会を実施 - 出前講座等を実施 - 出前講座等を実施 - H30.8.26 立山町消防本部研修会(100名) - 関係機関と連携して効果的な対応に協力 - 「警報級の可能性」や「危険度分布」	実施引き続き実施	ドマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施 出初,6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.10.10 南部小学校 ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・防災情報・避難所運営bookを作成し、 避難所・配布及びPP掲載 ・期間管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参加する。	施 引き続き 実施 順次実施 H30~ 順次実施	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施 H30.9.2 韓田自主防災会 H30.10.26 南加積地区いきいきサロン ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参画する。	引き続き 実施 順次実施 順次年年実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参画する。	順次毎年実施	等の実施を検討 ・広報紙、HP等により周知 ・ハザードマップ更新時(R1年公表予定)等の作成・配布を 検討 ・自治会との共同点検の実施を検討 ・自治会との共同点検を実施 H30 H30、7月豪雨の検証作業の一環 として一部地域で実施	順次 毎年実施 H30	・作成され次第、市の広報誌やHPで 周知 ・県と合同で毎年実施 ・ハザードマップの更新後、周知を実施
水想定区域図の公表 計する。	果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 作成・配布 治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇 の共同点検の実施 災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周	行っていく。 - 出前講座等を実施 H31.2.6 富山県ア・パーセンヤー協議会 富山地区プロック(40名) (出前県庁しこと影響) - 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成) - 重要水防箇所等の共同点検の実施 - 災害・避難カード作成時に同席し、防災	実施 引き続き 実施 順次実施 今後検討	会を実施 - 出前講座等を実施 - 出前講座等を実施 - H30.8.26 立山町消防本部研修会(100名) - 関係機関と連携して効果的な対応に協力 - 「警報級の可能性」や「危険度分布」	実施引き続き実施	ドマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施 出初,6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.10.10 南部小学校 ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・防災情報・避難所運営bookを作成し、 避難所・配布及びPP掲載 ・期間管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参加する。	施 引き続き 実施 順次実施 H30~ 順次実施	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施 H30.9.2 韓田自主防災会 H30.10.26 南加積地区いきいきサロン ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参画する。	引き続き 実施 順次実施 順次年年実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参画する。	順次毎年実施	等の実施を検討 ・広報紙、HP等により周知 ・ハザードマップ更新時(R1年公表予定)等の作成・配布を 検討 ・自治会との共同点検の実施を検討 ・自治会との共同点検を実施 H30 H30、7月豪雨の検証作業の一環 として一部地域で実施	順次 毎年実施 H30	・作成され次第、市の広報誌やHPで 周知 ・県と合同で毎年実施
・洪水浸水規定区域図の公表 るごとまちごとハザードマップを整備 H30 ・ハザードマップを整備 上市川 (H31.3, 29)	果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 作成・配布 治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇 の共同点検の実施 災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周	行っていく。 - 出前講座等を実施 H31.2.6 富山県ア・パーセンヤー協議会 富山地区プロック(40名) (出前県庁しこと影響) - 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成) - 重要水防箇所等の共同点検の実施 - 災害・避難カード作成時に同席し、防災	実施 引き続き 実施 順次実施 今後検討	会を実施 - 出前講座等を実施 - 出前講座等を実施 - H30.8.26 立山町消防本部研修会(100名) - 関係機関と連携して効果的な対応に協力 - 「警報級の可能性」や「危険度分布」	実施引き続き実施	ドマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施 出初,6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.10.10 南部小学校 ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・防災情報・避難所運営bookを作成し、 避難所・配布及びPP掲載 ・期間管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参加する。	施 引き続き 実施 順次実施 H30~ 順次実施	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施 H30.9.2 韓田自主防災会 H30.10.26 南加積地区いきいきサロン ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参画する。	引き続き 実施 順次実施 順次年年実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参画する。	順次毎年実施	等の実施を検討 ・広報紙、HP等により周知 ・ハザードマップ更新時(R1年公表予定)等の作成・配布を 検討 ・自治会との共同点検の実施を検討 ・自治会との共同点検を実施 H30 H30、7月豪雨の検証作業の一環 として一部地域で実施	順次 毎年実施 H30	・作成され次第、市の広報誌やHPで 周知 ・県と合同で毎年実施 ・ハザードマップの更新後、周知を実施
るごとまちごとハザードマップを整備 上市川 (H31.3.29) 設置を検討	果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 作成・配布 治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇 の共同点検の実施 災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周	行っていく。 - 出前講座等を実施 H31.2.6 富山県ア・パーセンヤー協議会 富山地区プロック(40名) (出前県庁しこと影響) - 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成) - 重要水防箇所等の共同点検の実施 - 災害・避難カード作成時に同席し、防災 教育に参加	実施 引き続き 実施 原次実施 今後検討	会を実施 - 出前講座等を実施 - 出前講座等を実施 - H30.8.26 立山町消防本部研修会(100名) - 関係機関と連携して効果的な対応に協力 - 「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施引き続き実施	ドマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座等を実施 H30.6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.6.2 川頭地町 H30.10.10 南部小学校 ・国や県が作成する「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資産が ・防災情報・避難所運営也のはを作成し、 避難所・配布及び中掲載 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参加する。	施 引き続き 実施 順次実施 H30~ 順次実施	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施 H30.9.2 韓田自士防災会 H30.10.26 南加積地区いきいきサロン ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参画する。	引き続き 実施 順次実施 順次毎年実 順次実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参画する。 ・住民等への周知・教育・訓練の実施を検 討	順次 毎年実施 今後検討	等の実施を検討 ・広報紙、HP等により周知 ・ハザードマップ更新時(R1年公表予定)等の作成・配布を ・自治会との共同点検の実施を検討 ・自治会との共同点検を実施 ・出の・1月豪雨の検証作業の一環 として一部地域で実施 ・住民等への周知・教育・訓練の実施を検討 ・ハザードマップ見直しの際に必要性を検	順次 毎年実施 H30 順次 毎年実施	・作成され次第、市の広報誌やHPで 周知 ・県と合同で毎年実施 ・ハザードマップの更新後、周知を実施 ・新たな洪水ハザードマップの作成中 ・ハザードマップ見直しの際に必要性を検
百里川 //21 2 20))果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料作成・配布 作成・配布 治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い筐 の共同点検の実施 ・ 災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周	行っていく。 - 出前講座等を実施 H31.2.6 富山県 で・・・・ 「水内・協議会富山地区プロック(40名) (出前県庁しこと談義) - 「水防災意識社会」の再構築(役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) - 重要水防箇所等の共同点検の実施 - 災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加 - ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表	実施 引き続き 実施 原次実施 今後検討	会を実施 - 出前講座等を実施 - 出前講座等を実施 - H30.8.26 立山町消防本部研修会(100名) - 関係機関と連携して効果的な対応に協力 - 「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施引き続き実施	ドマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座等を実施 H30.6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.6.2 川頭地町 H30.10.10 南部小学校 ・国や県が作成する「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資産が ・防災情報・避難所運営也のはを作成し、 避難所・配布及び中掲載 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参加する。	施 引き続き 実施 順次実施 H30~ 順次実施	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施 H30.9.2 韓田自士防災会 H30.10.26 南加積地区いきいきサロン ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参画する。	引き続き 実施 順次実施 順次毎年実 順次実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参画する。 ・住民等への周知・教育・訓練の実施を検 討	順次 毎年実施 今後検討	等の実施を検討 ・広報紙、HP等により周知 ・ハザードマップ更新時(R1年公表予定)等の作成・配布を ・自治会との共同点検の実施を検討 ・自治会との共同点検を実施 ・出の・1月豪雨の検証作業の一環 として一部地域で実施 ・住民等への周知・教育・訓練の実施を検討 ・ハザードマップ見直しの際に必要性を検	順次 毎年実施 H30 順次 毎年実施	・作成され次第、市の広報誌やHPで 周知 ・県と合同で毎年実施 ・ハザードマップの更新後、周知を実施 ・新たな洪水ハザードマップの作成中 ・ハザードマップ見直しの際に必要性を検 討する。
白岩川 (H31. 3. 29) 板津川 (H31. 3. 29)	加果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料作成・配布 指金や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い筐 所の共同点検の実施 「災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周 ロ・教育・訓練	行っていく。 - 出前講座等を実施 H31.2.6 富山県デザービスセケー協議会 富山地区プロック(40名) (出前県庁しこと鉄義) - 「水防災意識社会」の再構築(役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成) - 重要水防箇所等の共同点検の実施 - 災害・避難カード作成時に同席し、防災 教育に参加 - ハザードマップ作成の基礎資料となる浸 水想定区域図の公表 - 洪水浸水想定区域図の公表 - 洪水浸水想定区域図の公表	実施 引き続き 実施 原次実施 今後検討	会を実施 - 出前講座等を実施 - 出前講座等を実施 - H30.8.26 立山町消防本部研修会(100名) - 関係機関と連携して効果的な対応に協力 - 「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施引き続き実施	ドマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座等を実施 H30.6.7 滑川東地区自治会連合会 H30.6.2 川頭地町 H30.10.10 南部小学校 ・国や県が作成する「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資産が ・防災情報・避難所運営也のはを作成し、 避難所・配布及び中掲載 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参加する。	施 引き続き 実施 順次実施 H30~ 順次実施	場合、ハザードマップの周知や災害情報の 入手方法などの出前講座を実施 H30.9.2 韓田自士防災会 H30.10.26 南加積地区いきいきサロン ・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参画する。	引き続き 実施 順次実施 順次毎年実 順次実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の 再構築に役立つ広報や資料を配布 ・河川管理者が実施する重要水防箇所等の 共同点検に参画する。 ・住民等への周知・教育・訓練の実施を検 討	順次 毎年実施 今後検討	等の実施を検討 ・広報紙、HP等により周知 ・ハザードマップ更新時(R1年公表予定)等の作成・配布を ・自治会との共同点検の実施を検討 ・自治会との共同点検を実施 ・出の・1月豪雨の検証作業の一環 として一部地域で実施 ・住民等への周知・教育・訓練の実施を検討 ・ハザードマップ見直しの際に必要性を検	順次 毎年実施 H30 順次 毎年実施	・作成され次第、市の広報誌やHPで 周知 ・県と合同で毎年実施 ・ハザードマップの更新後、周知を実施 ・新たな洪水ハザードマップの作成中 ・ハザードマップ見直しの際に必要性を検討する。

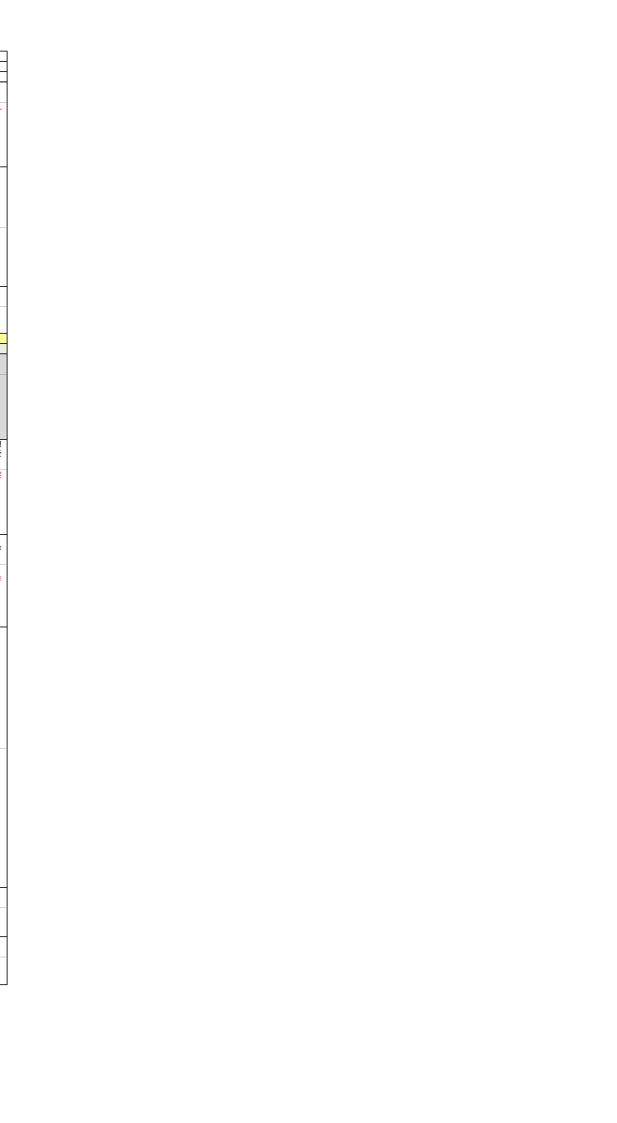
カテゴリ	富山県実施内容	時期	富山地方気象台 実施内容	時期	滑川市 実施内容	時期	上市町 実施内容	時期	立山町 実施内容	時期	舟橋村 実施内容	時期	富山市 実施内容	
2, = ,	・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して自主防	引き続き	24101714	.,,,,	· 広報、HP等	順次実施	・自主防災組織への訓練補助金や資機材補 助金の交付		・自主防災組織への訓練補助金や資機材補 助金の交付		・自主防災組織の資機材整備や避難訓練等 を支援		・自主防災組織結成に向けての出前講座の	
	災組織の資機材整備や避難訓練等を支援	关ル					別亜の文刊	关ル	助金の文刊		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		売売自主防災組織への訓練補助金や資機材補助金の交付・自主防災組織構成員が防災士の資格を取	
住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための 自主防災組織の充実					・自主防災活動補助金を交付 H30実績 11団体		・自主防災会が実施する防災訓練に補助金 の交付及び支援	引き続き実施	・浸水想定エリア内集落に資機材補助 H30交付実績 6件	H30~			得するための補助金の交付 ・自主防災組織結成に向けての出前講座を 実施	実
							H30実績 21回						・訓練補助金や資機材補助金の交付を実施・防災士資格取得のための補助金交付を 実施	i
水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・県肝に問い合わせ窓口を設置 ・相談窓口をHPに掲載	引き続き 実施 引き続き			・情報を収集し、必要性を検討する。	未定	窓口の設置を検討	・H29年度 から検討	窓口の設置を検討	今後検討	・窓口設置済	継続実施	・窓口設置済み ・窓口設置済み	*
		実施												\perp
<mark>○確実な避難行動のための取組</mark> 伝達、避難計画等に関する取組				1										
	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や 家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	順次実施												
想定最大規模降雨による浸水想定区域図、浸水継続時間、 家屋倒壊等氾濫想定区域等の作成・公表	・洪水浸水想定区域図の公表 上市川 (H31. 3. 29) 白岩川 (H31. 3. 29) 栃津川 (H31. 3. 29) 大岩川 (H31. 3. 29)	H30												
	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や 家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	順次実施			・洪水ハザードマップの更新	R1	・洪水ハザードマップの更新	R1	洪水ハザードマップを作成	H31以降	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や 家屋倒壊等氾濫想定区域等のハザードマッ プを作成	県の浸水想 定区域を受けて実施	・洪水ハザードマップを更新予定	5
所たな洪水ハザードマップの策定(広域的な避難計画等 € 反映)	上市川 (H31. 3. 29) 白岩川 (H31. 3. 29)	H30			・新たなハザードマップの作成 (RI公表予定)		・新たなハザードマップの作成 (RI公表予定)		・ハザードマップ見直し予定 (R1年公表予定)		・ハザードマップ見直し予定 (R1年公表予定)	17 ℃关ル	・新たな洪水ハザードマップの作成中 (R2年公表予定)	-
	栃津川 (H31.3.29) 大岩川 (H31.3.29) ・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や 家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	順次実施			・洪水ハザードマップの更新後に配布する	R1	・洪水ハザードマップの更新後に配布する	R1	洪水ハザードマップ作成後に実施	ハザード	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や 家屋倒壊等氾濫視定区域等のハザードマッ		・洪水ハザードマップ更新後に実施予定	
新たなハザードマップの各戸配布・周知		1120			## + 0.12 10		\$5.4.45.0.18 10 12.45	1	0.12	成後	プを各戸配布・周知	成後	### # NH # 10 10 10	_
(ハザードマップポータルサイトや地図情報等の活用など)	・洪水浸水想定区域図の公表 上市川 (H31.3.29) 白岩川 (H31.3.29) 栃津川 (H31.3.29) 大岩川 (H31.3.29)	INSU			・新たなハザードマップの作成 (RI公表予定)		・新たなハザードマップの作成 (RI公表予定)		・ハザードマップ見直し予定 (R1年公表予定、R2年配布予定)		・ハザードマップ見直し予定 (R1年公表予定)		・新たな洪水ハザードマップの作成中 (R2年公表予定)	
	・富山県総合防災システムにより、①県と参加可能な国・市町村・防災関係機関等がリアルタイムで関策。書込み、情報共有を実施。②また、Lアラート等を活用し、報道機関等との連携により住民等へ級書情報等を迅速・砂値に提供。・河川情報システムの改良・携帯端末向けのシステムの実施。河川監視カメラの設置(水位計設置箇		・気象警報・注意報等を発表し、現象ごと に警戒、注意期間扱び雨のピーク時間帯 量などの予想最大値を周知し、必要に応じ て、自治体、関係機関に情報伝達(ホット ライン)を実施		・防災無線の活用	順次整備	・緊急速報エリアメールや町IP等による緊急災害情報の発信 ・防災無線の活用	順次整備	・緊急速報エリアメールによる情報発信 ・Twitterによる情報発信 ・町IPによる緊急災害情報の発信	順次整備	・緊急情報告知システムの活用	順次整備	アナログ式防災行政無線をデジタル式に 再整備 ・避難情報をリアルタイムに受信できる、 SNSやスマートフォンアブリについて引 き続き、普及を図る。	
アルタイムの情報提供やブッシュ型情報の発信など防災 報の充実 (水位や河川状況等ライブカメラ情報、避難情報)	(所) ・簡易水位計の設置 ・一般向けの緊急速報メール配信の実施													
	・河川監視カメラ数電及びHP公開6基 上市川1基(交観権) 日岩川3基(泉正橋、新池田橋、 交生橋) 栃津川1基(新盟橋) 大岩川1基(新盟橋) ・危機管理型水位計設置9基 白岩川水系9基(下条川、小出川ほか)	実施	・大雨が予想された場合、宮山県等に 情報伝達を実施 (H30)	引き続き実施	・アナログ式防災行政無線をデジタル式に 再整備 (R2まで)	順次整備					・緊急情報告知システムの活用		- アナログ式防災行政無線をデジタル式に 再整備中 ・SNSやスマートフォンアプリについて 広報、HPおよび出前講座で普及を推進	ا ج
	・市町村が作成するタイムラインに必要な 水位情報等の提供	順次実施	・富山河川国道事務所、富山県及び関係市 町村と共同で整備・改善を支援	引き続き実施	・避難勧告を発令するためのタイムライン の検証と改善	順次実施	・避難勧告を発令するためのタイムライン の検証と改善	順次実施	・避難勧告を発令するためのタイムライン の検証と改善	順次実施	・避難勧告等を発令するためのタイムラインの検証と改善	順次実施	・避難勧告等を発令するためのタイムラインの検証と改善	
避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムラインンの整備及び検証と改善	・市町村担当者への水位情報のメール配信	引き続き	到170人間で歪嘴 以目で人族	X/IE	VIX.LL C W.B		が挟血と収音		VKIII C W I		ンの疾血と改善		ンの快温と以音	7
	・H29から取組みを開始(試行)	引き続き実	主な河川を対象とした流域雨量指数による	引き続き	・H29から取組みを開始(試行)	引き続き実	・H29から取組みを開始(試行)	引き続き実	・H29から取組みを開始(試行)	引き続き	・H29から取組みを開始(試行)	引き続き実	・H29から取組みを開始(試行)	+
Þ小河川において、相当な被害が発生する可能性を予見し ニ場合、首長等への直接の情報提供(ホットライン)の身		施 引き続き	危険度分布の能動的ホットライン ・大雨が予想された場合、富山県等に	実施引き続き	·試行運用 (H29~)	施 引き続き	·試行運用 (H29~)	施 引き続き	・試行運用 (H29~)	実施引き続き	・試行運用 (H29~)	施 引き続き	・試行運用(H29~)H30実績なし	-
<u> </u>	H30実績 なし	実施	情報伝達を実施 (H30)	実施	H30実績 なし	実施	H30実績 なし	実施	H30実績 なし	実施	H30実績 なし	実施	・連絡体制を確認	
	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供 ・要配慮者利用施設管理者向け説明会への 支援	順次実施			・各施設へ避難計画の作成及び訓練の促進 を呼びかけ	順次整備	・要配慮者利用施設に対する技術的助言を 行う。	順次実施	・現状を把握し必要に応じて技術的助言を行う		・現状を把握し必要に応じて技術的助言を行う	順次実施	・計画作成に向けた周知啓発	
長配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	- 洪水浸水想定区域図の公表 上市川 (H31.3 29) 白岩川 (H31.3 29) 杭澤川 (H31.3 29) 大岩川 (H31.3 29) 大岩川 (H31.3 29) ・出前調座等を実施 H31.2.6 富山県ドリービスセク-協議会 富山地区プロック (40名)	H30			・市内対象施設6施設のうち 2施設で避難確保計画を作成済 (H31.3末時点)				- 町内対象施設14施設のうち、 6施設計画で計画作成済み (H31.3末時点)		・村内対象施設なし (H31.3末時点)		- HPにて計画策定の手引きを周知、 及び出前講座において説明を実施 ・市内対象施設200施設のうち80施設で 選難確保計画を作成済 うち、61施設で避難訓練を実施 (H31.3末時点)	
	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の公表	順次実施			・ハザードマップの更新時に検討	R1年度を予 定	・ハザードマップの更新時に検討	R1年度以降	・集落が集落毎に1次集合場所、2次集合場 所等を設定及び、垂直避難等ルート策定の			H30年度以 降検討	・立ち退き避難が必要な区域について検討 を行う	f
た退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	・洪水浸水想定区域図の公表 上市川 (H31. 3. 29)	H30				~			重要性を啓発する。	JAK 91 X 116	・ハザードマップ見直し予定 (R1年公表予定)	17.00	・新たな洪水ハザードマップの作成に 合わせて検討	
	自岩川 (H31.3.29) 栃津川 (H31.3.29) 大岩川 (H31.3.29) ・作成に必要な情報 (浸水想定区域の浸水	順次軍施			・河川管理者 隣接市町村などの関係機関	必要があれ	・河川管理者 隣接市町村などの関係機関	必要があれ	・河川管理者、隣接市町村などの関係機関	平成28年度	・計画等定を検討する	必要があれ	・隣接市町村などと協議をし、検討する。	
	深、浸水継続時間等)の提供				と協議を実施し、広域避難に関する計画を検討する。		と協議を実施し、広域避難に関する計画を 策定する。		と協議を実施し、広域避難に関する計画を策定する。			ば検討		
◈加市町村による広域避難計画の策定及び支援	・洪水浸水想定区域図の公表 上市川 (H31.3.29) 白岩川 (H31.3.29) 栃津川 (H31.3.29) 大岩川 (H31.3.29)	H30											・避難方法の検討を踏まえ、今後必要に 応じて協議を検討	
	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順次実施			・洪水ハザードマップの修正を行う。	R1	・ハザードマップの更新を検討	R1年度以降	・ハザードマップの更新を検討。	H31年度以 降検討	・ハザードマップの更新を検討	県の浸水想 定区域を受 けて実施	・洪水ハザードマップの更新を行う。	
広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップ 策定・周知	7 ・洪水浸水想定区域図の公表 上市川 (H31.3.29) 白岩川 (H31.3.29) 栃津川 (H31.3.29) 大岩川 (H31.3.29)	H30									・ハザードマップ見直し予定 (R1年公麦予定)		・新たな洪水ハザードマップの作成中	
水位予測の検討及び精度の向上			・大雨・洪水警報等の評価及び精度の向上 ・災害補足状況の検証と洪水警報等の基準 の変更	実施										
小規模の流域・急流河川に対応する精度の高い降雨・洪/ 予測の実施			・災害補足の状況と洪水警報等の基準の 検証の実施(H30)	引き続き実施										
気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」 ************************************			・予測精度等の改善を検証	引き続き実施										
等の改善			・災害発生状況などと危険度の検証実施	引き続き 実施										

1 = -	富山県		富山地方気象台	24.442	滑川市	25.442	実施する機関 上市町	D+ 45	立山町	P+ #4	舟橋村	D+ 440	富山市	
カテゴリ による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	B
活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組														
	・情報伝達訓練の実施	引き続き	・情報伝達訓練等への支援	引き続き	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	順次	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き 毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き 毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き 毎年実施	・国・県と連携した、情報伝達訓練の実施	ā 継糸
・ ・防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情	・洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施	引き続き		54.00				7 1 3 4 10	・洪水を想定した避難訓練実施	引き続き	・水防団(舟橋村消防団)への連絡体制の	引き続き	・洪水対応演習(情報伝達訓練)に参加	31
最伝達訓練の実施	H30.4.20 白岩川ほか(立山町ほか)	実施							H30.9 実施	毎年実施	確認と首長も参加した情報伝達訓練を 実施	実施	H30. 4. 20 洪水対応演習	実法
	i										H30. 9. 1 舟橋村防災訓練			
	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き	・重要危険箇所等の合同巡視を実施。	引き続き	・河川管理者と水防関係機関で重要水防管	日き続き	・河川管理者と水防関係機関で重要水防筒	리キ結キ	・河川管理者と水防関係機関で重要水防筒	리き結ち		리き結ち	・重要水防箇所について、県と合同で毎年	干 糾※紅
NUMBER INSTRUMENTAL AND A STATE OF THE STATE		実施	主义/6次出//(マロロルと人/86)	実施	所等の合同巡視を実施する。	毎年実施	所等の合同巡視を実施する。	毎年実施	所等の合同巡視を実施する。	毎年実施	所等の合同巡視を実施する。	毎年実施	実施	
3治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの 3い箇所の合同巡視の実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施 H30.5.24(富山市、立山町、上市町、	引き続き実施			・県と合同巡視を実施 H30.5.24 立山土木所管内河川	引き続き 実施	・県と合同巡視を実施 H30.5.24 立山土木所管内河川	引き続き	・県と合同巡視を実施 H30.5.24 立山土木所管内河川	引き続き実施	・合同巡視を実施 H30 H30.7月豪雨の検証作業の一環	引き続き 毎年実施	・県と合同巡視を実施 H30.5.24 立山土木所管内河川	引き
	滑川市と合同)	- NE			100. 0. 24 並出土ババロトングバ	- XIIE	100. 0. 24 EEEE/A/A E 13/4/A	XIII	100. 0. 24 並出土利が音中が利	×//E	として一部地域で実施	44十天/18	100. 0. 24 EEEE/A/A EF3/4/A	X
	・県総合防災訓練等において関係機関が連	星 引き続き	・要請による訓練への支援	引き続き	・国・県が実施する水防工法講習会に参加	順次参加	・国・県が実施する水防工法講習会に参加	順次参加	・出水期前に水防協議会を実施する。	引き続き	・水防実働訓練等の計画を策定	毎年実施を	・水防団、国、県、自主防災組織などが参	参 継続
	携した水防実動訓練等を実施 ・水防管理団体が行う訓練への参加	実施		実施	する。		する。			毎年実施		検討	加し、出水期前に水防訓練の実施	
	・水防工法講習会の支援等を行う。													
	・県総合防災訓練において関係機関が	引き続き	・県防災訓練に参加	引き続き							・関係機関が連携した訓練を実施 H30.9.1 舟橋村防災訓練	引き続き	・水防訓練を実施 H30.5.26 神通川右岸	引き
関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	連携した水防実働訓練を実施 H30.9.2(氷見市、高岡市、射水市)	夫旭	H30. 9. 29 富山市総合防災訓練	夫旭							· 情報伝達訓練	夫旭	NSU. 5. 20 仲通川石岸	夫
	参加機関 約140機関 参加人員 約3,700人										・避難行動要支援者の安否確認訓練・避難情報等発信及び住民避難訓練			
	・水防管理団体等が行う訓練へ参加										避難所設営及び運営訓練			
	i										・被災箇所巡視訓練			
					・水防団員を兼ねる、消防団員について、 HP掲載や、ポスター掲示、自治振興会長	引き続き	・広報、HPでPRを実施	引き続き毎 年実施	・広報誌やホームページで水防協力団体を 募り、募集を実施	引き続き	・広報紙、HP等で周知	引き続き	・水防団員を兼ねる、消防団員について、 HP掲載や、ポスター掲示、自治振興会長	H29
<防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・					会議への依頼により、募集促進	. X/IE		72/16	サバーサ 来で大胆	- NE		- NE	会議への依頼により、募集促進	. 191
言定を促進					・市庁舎にポスター掲示	引き続き					・消防団協力事業所を指定 H30.12 1 社指定	引き続き	・HP掲載、ポスター掲示の実施	引き
	, 水 作 技 练 等 项 企 (2] 丰雄士	4		・水防技術講習会に参加	大肥	・水防技術講習会に参加	コキ結キ年	・水防技術講習会に参加	리キ结キ		大心	・水防技術講習会に参加	类,
	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施			小の技術語自立に参加	引き続き 参加	ハ切び削砕自立に参加	5月さ続さ毎 年実施	ハ州区側語自立に参加	引き続き 実施	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施	小川技術語自立に参加	継
引・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	・水防技術講習会に参加	引き続き									・水防技術講習会に参加			
	H30. 10. 16 1名(河川課)	実施												
	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水	順次実施												
	深、浸水継続時間等)の提供 ・洪水浸水想定区域図の公表	H30												
ス規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	上市川 (H31. 3. 29)	1100												
	白岩川 (H31. 3. 29) 栃津川 (H31. 3. 29)													
	大岩川(H31. 3. 29)													
					・必要があれば検討する。	未定	支援体制の強化を検討	H29年度か ら検討	・必要に応じて検討	必要があれ ば検討	・・必要に応じて検討	毎年実施を 検討	・必要に応じて検討	必要
b域の事業者による水防支援体制の検討・構築		A 7						2 [XII]		100 [X 83		IV#1		- 1001
	40													\perp
慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取:	<u>組</u> ・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水	K 順次実施	要配慮者利用施設による避難確保計画等	の引き続き	・避難確保計画策定の推進を行う。	順次実施	・地域防災計画の見直し等	H30年度か	・地域防災計画の見直し後、必要に応じて	H28年度か	・必要に応じて支援	引き続き実	・計画作成の手引きなどの情報を周知啓発	着 順次
	深、浸水継続時間等)の提供	1100	作成を行おうとする際の支援。	実施	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +			ら順次実施		ら順次実施		施	ID-call Title of Title 4 Bloom	
	・洪水浸水想定区域図の公表 上市川(H31.3.29)	H30			・市内対象施設6施設のうち 2施設で避難確保計画を作成済				・町内対象施設14施設のうち、 6施設計画で計画作成済み		・村内対象施設なし (H31.3末時点)		・HPにて計画策定の手引きを周知、 及び出前講座において説明を実施	引き 実施
要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援 日実施	白岩川 (H31.3.29) 栃津川 (H31.3.29)				(H31. 3末時点)				(H31. 3末時点)				・市内対象施設200施設のうち80施設で 避難確保計画を作成済	
5 关ル	大岩川 (H31. 3. 29)												うち、61施設で避難訓練を実施	
	・出前講座等を実施 H31.2.6 富山県デイサーピスセンター協議会												(H31. 3末時点)	
	富山地区ブロック(40名)													
	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順次実施			・広報、HPでPRを実施	H30年度か ら実施	・広報、HPでPRを実施	H30年度か ら実施	・大規模工場等への浸水リスクの説明と水 害対策等の啓発活動を行う。	H28年度か ら実施	・広報紙、HP等で周知	引き続き実	・ハザードマップによる浸水リスクの周知	₩ 必要
	・洪水浸水想定区域図の公表	H30				り天旭		り天池	音列来寺の名元加動で刊り。	り天旭		THE .		10-13
□ 気機工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活力	上市川 (H31.3.29) 白岩川 (H31.3.29)													
	栃津川 (H31. 3. 29)													
	大岩川 (H31. 3. 29)													
	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	(順次実施			・広報、HPでPRを実施	H30年度か ら実施	・広報、HPでPRを実施	必要があれ ば検討	・広報紙、HP等で周知		・広報紙、HP等で周知	必要があれ ば検討	・広報紙、HP等で周知	必要
、規模工場における情報連絡体制の確立及び自衛水防活動	・洪水浸水想定区域図の公表	H30				334,00		10.042				10.042		-
) Table 1 (1977) 1 (1	上市川 (H31.3.29) 白岩川 (H31.3.29)													
	栃津川 (H31. 3. 29)													
・救助活動の効率化に関する取組	大岩川 (H31. 3. 29)							1	1					
ないのでは 利 ハンソン 大・ トゥート トゥート トゥート カー・ トゥート カー・	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水	K 順次実施					・河川管理者などから情報提供を受けて、	R1年度以降		1	・河川管理者などから情報提供を受けて、	必要があれ		
ļ	深、浸水継続時間等)の提供	LI20			関係機関との協議を行い、計画策定	検討	計画の策定検討		関係機関との協議を行い、計画策定		関係機関との協議を行い、計画策定	ば検討		
、規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置 +両の検討を実施	・洪水浸水想定区域図の公表 上市川 (H31.3.29)	пои												
+画の検討を実施	白岩川 (H31.3.29) 栃津川 (H31.3.29)													
	大岩川 (H31. 3. 29)													
計画(案)の作成及び排水訓練の実施	41-a2-a2-a	A 40 1^ = 1			サルル お 、	Ino to the state of	40 at 48 v f a = 0.000 Art = c a viii +	1100 F = 1	14-1-12 \	Tugo te de 1		Tuon #= *	###### A # 1 ## A # 1 ## # 1 A # 1	
3濫水を迅速に排水するため、排水施設の情報共有、排水	・排水ポンプ車設置可能箇所の検討	今後検討			・排水ポンプの設置箇所の選定	R2年度から 検討	・排水ポンプの設置箇所の選定	H29年度か ら検討	・排水ポンプの設置箇所の選定	H28年度か ら検討	・排水手法等を検討	H30年度か ら検討	・排水ポンプ車の配置箇所を検討	かり
法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画						-				1				1
(案)を検討・作成	1													
b T 作 パラル + .個 A のサルシ エ / 中 \ の込む ナ 中 生														
也下街が浸水した場合の排水計画(案)の検討を実施														
	・連絡体制の確認	順次実施			・連絡体制の整備	引き続き	・連絡体制の整備	引き続き	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整		・連絡体制の整備		・連絡体制を確認し、適宜更新する。	継
E ルポンプ 東の山 動 亜種 の 油砂 仕 出 生 ナ 軟 供						毎年実施		毎年実施	備を行い、毎年確認する。	毎年実施		年実施	・水防連絡会にて連絡体制を確認(国)	引
水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	i												H30. 4. 25 水防連絡会	実施
								1		1		1	・連絡体制作成(市)	\perp
		a linavamente			・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次参加	・防災訓練と合同で実施を検討	順次実施	・町総合防災訓練と合同で実施を検討	順次実施	防災訓練と合同で実施を検討	順次実施	・水防法に基づく水防訓練の実施	継
	・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	山 順次美施			7163 E ZEMPTO 13 7 7 163 MILON (3 47 27 76									- 1
	・水防管理団体が行う水防訓練等への参加 	川 順次美胞			13 B (#EMILLO 13 2) 19 Million (3 42 2) W								・水防訓練を実施	引
⊧水計画(案)に基づき、関係機関が連携した排水実働訓 の実施	・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	川 順次美施			1100 E-FEELEN 11 771100 British (・水防訓練を実施 H30.5.26 神通川右岸	引き実施

目	+=-711	富山県 実施内容	時期	富山地方気象台	時期	富山市 実施内容	
ド対	カテゴリ 策の主な取組	美脆内容	時期	実施内容	時期	美施內容	
■洪⊅	水を河川内で安全に流す対策						
1	浸透対策 パイピング対策	・洪水を河川内で安全に流すためのハード 対策を推進する。	引き続き 実施				
	流下能力対策						
	侵食・洗掘対策 堤防整備	【いたち川】 護岸 L=0.05km(富.山室外地内)	引き続き 実施				
	霞堤の維持・保全	【熊野川】	大池				
	縦工の整備 漏水対策	伐木 L=2.3km(富.文珠寺外地内) 伐木 L=1.0km(富.安養寺外地内)					
	河道管理	河道浚渫 L=0.3km(富.東福沢地内) 【坪野川】					
	ダムによる洪水調節 洪水をバイパス等で排水する施設の整備	道路橋架替 1式(富. 婦中町速星)					
	河道浚渫	【山田川】 護岸 L=0.13km(富.山田小島地内)					
		河道浚渫 L=0.4km(富.婦中町富川地内)					
	機管理型ハード対策 堤防天端の保護	・越水が発生した場合でも決壊までの時間	今後検討				1
_	裏法尻の補強	を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対	7 (2 (2 0)				
		策を推進する。					
■ 沿空車	 難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		1				
■ ÆEE ₹	世门 助、 小切 / 加 知、 外 小 / 加 知 に 貝 タ る 奉 盗 寺 の 走 哺	・新技術に関する情報を収集し、検討する	今後検討			・新技術(水のうなど)を活用した水防資	必要
3	 新技術を活用した水防資機材の検討及び配備					機材の検討	ば検
						・ウォーターフェンスなど調査研究	引き実施
		┃ ┃・河川監視カメラの設置(水位計設置箇	引き続き				
4		所)	実施				
		・簡易水位計の設置					
		・河川監視カメラHP公開4基 いたち川(千歳橋)(H30. 6. 1)	引き続き 実施				
	 洪水時の状況を把握し、円滑な避難活動や水防活動を支援	土川(土川橋)(H30.6.1) 坪野川(坪野橋)H30.6.1)	1				
	するため、雨量計、水位計(簡易水位計を含む)、河川監	山田川(長沢橋)(H30. 6. 1)					
	視カメラや量水標等の基盤の整備	・河川監視カメラ設置 1基 祖母川、田島川合流点					
		· 危機管理型水位計設置 14基					
		神通川水系14基(黒川、冷川ほか)					
						フェロゲーサベクルーグクリーナー	顺大
5						・アナログ式防災行政無線をデジタル式に 再整備	順次
	防災行政無線や防災ラジオ等のデジタル化による改良 					・アナログ式防災行政無線をデジタル式	引き
						に再整備中	実施
6		・施設等に関する情報を収集し、検討す	今後検討			・一定程度確保済(本庁舎)	必要ば検
	浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及 び非常用発電装置等の耐水化	<u> </u>				・一定程度確保済(本庁舎)	13.19
	O 7 1171170 Gaz E (V 111717111					ACIED REPROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPER	
7						・校庭貯留施設の活用	継続
ĺ	浸透ますの設置					・校庭貯留施設(速星小・速星中	継続
	校庭貯留の実施 					・堀川小)の継続活用	中性中
		・各戸貯留・浸透施設の設置に対する支援	今後検討			・水田貯留推進事業の実施	継続
8	各戸貯留・浸透施設の設置に対する支援制度の確立	制度の検討					
	水田貯留に対する支援制度の確立	・水田貯留に対する支援制度の検討				・水田貯留(370ha)の継続実施	継続
9		・気象情報に応じて、文書による市、土地 改良区宛に事前点検や注意喚起の通知	引き続き 実施			・土地改良区等への協力依頼を検討 	順次
		・気象状況に応じて対応を依頼	引き続き			・文書による協力依頼を実施	順次
		坪野川	実施			入自による協力政権を大応	ルスク
	農業用排水路に設置されている水門管理の徹底	富山市農林事務所による水門管理者 等との調整					
		いたち川					
		常西用水土地改良区による上流での 取水制限					
トが	 策の主な取組	-PACIA INTERPRETATION					_
	東の主な取組 有の洪水を理解するための周知・理解促進の取組						
	時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組		T & 20:14 = :				I
10	 水害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作	水害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作成・配布	今後検討			・配布に協力する。	順次
	成・配布					・作成され次第、配布に協力	順次
		山岩離市位子江田工工品のようをに	312424	白丛体の数本子具入上海野上 出田生生	313.444		
11		・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。	引き続き実 施	・自治体の教育委員会と連携し、効果的な 水防の避難や訓練など支援	引き続き 実施	・要望があれば、ハザードマップの周知や 災害情報の入手方法などの出前講座を実施	継続
				・出前講座等を実施	引き続き	・出前講座を実施	引き
	小中学校等における水災害教育を実施			H30.9.21 富山市新庄小学校 (富山河川国道事務所 富山市と実施)	実施	H30. 10. 22 新庄北小学校5年生	実施
				(富山河川国道事務所、富山市と実施) (100名)			
				H30. 10. 10 富山市新庄北小学校(110名)			\perp
12		・出前講座等を活用した啓発を積極的に	引き続き	・出前講座等を活用し水防災等に関する説明のな実施		・ハザードマップの周知や災害情報の入手	継続
		行っていく。 ・出前講座等を実施	実施引き続き	明会を実施・「警報級の可能性」や「危険度分布」	実施引き続き	方法などの出前講座を実施 ・出前講座の実施 60回	引き
	出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	H31. 2. 6 富山県デイサービスセンター協議会	実施	などの広報用チラシの配布(H30)	実施	一 17 1877年 50 大川田 50 日日	実施
		富山地区ブロック(40名) (出前県庁しごと談義)					
			順冷中#	. 関係機関し油機! アが用がたせたには!	順を中作	・ 士の庁和社への担勤は、リワムドマワケ	\$6N/ 4:+
			順次実施	・関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	・市の広報誌への掲載や、HPなどで周知	継続
12		・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で					
13	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で				16-45-4-16-56-66-66-66-66-66-66-66-66-66-66-66-66	順次
13	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 を作成・配布	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・減災に係る取組方針をHPに掲載	H30			・作成され次第、市の広報誌やHPで	
13		報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・滅災に係る取組方針をHPに掲載 (H30.6)				周知	\perp
13	を作成・配布	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・減災に係る取組方針をHPに掲載	引き続き				継続
	を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・滅災に係る取組方針をHPに掲載 (H30.6)				周知	継続
	を作成・配布	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・滅災に係る取組方針をHPに掲載 (H30.6)	引き続き			周知	継続
14	を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇 所の共同点検の実施	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・滅災に係る取組方針をHPに掲載 (H30.6)	引き続き実施			周知	
	を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇 所の共同点検の実施	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・減災に係る取組方針をHPに掲載 (H30.6) ・重要水防箇所等の共同点検の実施	引き続き実施			周知・県と合同で毎年実施	継続順次

il ,		富山県	T =1.05	富山地方気象台	T =1.0=	富山市	1
10	カテゴリ	実施内容 ・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸	時期 順次実施	実施内容	時期	実施内容・ハザードマップ見直しの際に必要性を検	時期 順次実施
16	まるごとまちごとハザードマップを整備	水想定区域図の公表 ・洪水浸水想定区域図の公表 いたち川 (H30.8.17) 土川 (H30.8.17) 熊野川 (H30.8.17) 坪野川 (H30.8.17) 山田川 (H30.8.17)	H30			計する。 ・ハザードマップ作成後、必要があれば 設置を検討	必要がば検討
17	住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための	・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して自主防災組織の資機材整備や避難訓練等を支援	今後検討			・自主防災組織結成に向けての出前講座の 実施・自主防災組織への訓練補助金や資機材補 助金の交付 ・自主防災組織構成員が防災士の資格を取 得するための補助金の交付	継続実
	任氏の別次思識を高め、地域の初次力の向上を図るための 自主防災組織の充実					・自主防災組織結成に向けての出前講座 を実施 ・訓練補助金や資機材補助金の交付を 実施 ・防災士資格取得のための補助金交付 を実施	引き続実施
18	よのまた生は聞きて思いたといかこのでの	・県肝に問い合わせ窓口を設置(県)	引き続き 実施			・窓口設置済み	継続実
	水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・相談窓口をIPに掲載	引き続き 実施			・窓口設置済み	継続実
	つ確実な避難行動のための取組						-
情報	股伝達、避難計画等に関する取組	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や	順次実施				
	想定最大規模降雨による浸水想定区域図、浸水継続時間、 家屋倒壊等氾濫想定区域等の作成・公表	家屋倒壊等氾濫組定区域等の公表 ・ 洪水浸水想定区域図の公表 いたち川 (H30.8.17) 土川 (H30.8.17) 熊野川 (H30.8.17) 坪野川 (H30.8.17) 山田川 (H30.8.17)	H30				
20		・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や 家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	順次実施			洪水ハザードマップを更新予定	県の浸 定区域 けて実
	新たな洪水ハザードマップの策定(広域的な避難計画等も 反映)	・洪水浸水想定区域図の公表 いたち川 (H30.8.17) 土川 (H30.8.17) 熊野川 (H30.8.17) 東野川 (H30.8.17) 山田川 (H30.8.17)	H30			・新たな洪水ハザードマップの作成中 (R2年公表予定)	引き続施
21		・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や 家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	順次実施			洪水ハザードマップ更新後に実施予定	ハザー マップ 成後
	新たなハザードマップの各戸配布・周知 (ハザードマップポータルサイトや地図情報等の活用な ど)	・洪水浸水想定区域図の公表 いたち川 (H30.8.17) 土川 (H30.8.17) 熊野川 (H30.8.17) 坪野川 (H30.8.17) 山田川 (H30.8.17)	H30			・新たな洪水ハザードマップの作成中 (R2年公表予定)	ハザー マップ 成後
22		・富山県総合防災システムにより、①県と参加可能な国・市町村・防災関係機関等がリアルタフムで閲覧、書込み、情報共有を実施。②また、Lアラート等を活用し、報道機関等との連携に提供。・河川情報システムの改良・携帯端末向けのシステムの実施・河川監視カメラの設置(水位計設置箇所・簡易水位計の設置、一般向けの緊急速報メール配信の実施	引き続き実施	・気象警報・注意報等を発表し、現象ごとに警戒、注意期間及び雨のピーク時間帯、量などの予想最大値を周知し、必要に応じて、自治体、関係機関に情報伝達(ホットライン)を実施	引き続き 実施	・アナログ式防災行政無線をデジタル式に 再整備 ・避難情報をリアルタイムに受信できる、 SNSやスマートフォンアプリについて引 き続き、普及を図る。	順次整
- 1	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実 (水位や河川状況等ライブカメラ情報、避難情報)	・河川監視カメラIP公開4基 いたち川(干歳橋)(H30.6.1) 土川(土川橋)(H30.6.1) 坪野川(坪野橋) H30.6.1) 山田川(長沢橋)(H30.6.1) ・河川監視カメラ設置1基 祖母川、田島川合流点 ・危機管理型水位計設置14基 神通川水系14基(黒川、冷川、松川ほか)	引き続き実施	・大雨が予想された場合、富山県等に 情報伝達を実施 (H30)	引き続き実施	・アナログ式防災行政無線をデジタル式 に再整備中 ・SNSやスマートフォンアプリに ついて広報、HPおよび出前講座 での普及を推進	実施
	避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライ ン)の整備及び検証と改善	・市町村が作成するタイムラインに必要な 水位情報等の提供	順次実施	・富山河川国道事務所、富山県及び関係市町村と共同で整備・改善を支援	引き続き実施	・漫水想定の見直し後、河川管理者と協議を行う。	順次実
24	中小河川において、相当な被害が発生する可能性を予見し た場合、首長等への直接の情報提供(ホットライン)の実	H29から取組みを開始(試行) ・試行運用(H29~)	引き続き実施	主な河川を対象とした流域雨量指数による 危険度分布の能動的ホットライン ・大雨が予想された場合、富山県等に	引き続き実施引き続き	必要に応じて検討。まずは担当者間のホットラインの実施を河川管理者と協議 ・試行運用(H29~)	順次実





	+ 11	富山県 富山県 実施内容	n±.#0	富山地方気象台	n±.#0	富山市	n±.#0
	カテゴリ	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水	時期 順次実施	実施内容	時期	実施内容・計画作成に向けた周知啓発	時期 順次実施
25		深、浸水継続時間等)の提供・要配慮者利用施設管理者向け説明会への支援					
	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・洪水浸水想定区域図の公表 いたち川 (H30.8.17) 土川 (H30.8.17) 熊野川 (H30.8.17) 坪野川 (H30.8.17) 山田川 (H30.8.17) ・出前講座等を実施 H31.2.6 富山県ディサービスセンター協議会 宮山地区プロック (40名)	H30			・HPにて計画策定の手引きを周知、 及び出前講座において説明を実施 ・市内対象施設200施設のうち80施設で 避難確保計画を作成済 うち、61施設で避難訓練を実施 (H31.3末時点)	引き続き実施
26		・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の公表	順次実施			・立ち退き避難が必要な区域について検討 を行う	H30年度 降検討
	立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	・洪水浸水想定区域図の公表 いたち川 (H30.8.17) 土川 (H30.8.17) 熊野川 (H30.8.17) 東野川 (H30.8.17) 山田川 (H30.8.17)	H30			・新たな洪水ハザードマップの作成に 合わせて検討	引き続き実施
27		・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順次実施			・隣接市町村などと協議をし、検討する。	必要があば検討
	参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	・洪水浸水想定区域図の公表 いたち川 (H30.8.17) 土川 (H30.8.17) 熊野川 (H30.8.17) 東野川 (H30.8.17) 山田川 (H30.8.17)	H30			・避難方法の検討を踏まえ、今後必要に 応じて協議を検討	必要があば検討
28		・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順次実施			・洪水ハザードマップの更新を行う。	県の浸水定区域を
	広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップ の策定・周知	・洪水浸水想定区域図の公表 いたち川 (H30.8.17) 土川 (H30.8.17) 熊野川 (H30.8.17) 東野川 (H30.8.17) 山田川 (H30.8.17)	H30			・新たな洪水ハザードマップの作成中	引き続き実施
29	水位予測の検討及び精度の向上			・大雨・洪水警報等の評価及び精度の向上 ・災害補足状況の検証と洪水警報等の基準 の変更	引き続き 実施		
	 小規模の流域・急流河川に対応する精度の高い降雨・洪水 予測の実施			・災害補足の状況と洪水警報等の基準の 検証の実施(H30)	引き続き 実施		
30	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」 等の改善			・予測精度等の改善を検証	引き続き 実施		
				・災害発生状況などと危険度の検証実施	引き続き		
L an		E O Works		・災害発生状況などと危険度の検証実施 (H30)	引き続き 実施		
	 <u>満による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等</u> 防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組			(H30)	実施		
		<mark>摩の取組</mark> - 情報伝達訓練の実施	引き続き実施			・国・県と連携した、情報伝達訓練の実施	継続実施
水原 31		・情報伝達訓練の実施 ・洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施	引き続き実施	(H30)	実施引き続き	・国・県と連携した、情報伝達訓練の実施 ・洪水対応演習 (情報伝達訓練) に参加 H30.4.20 神通川 ・水防情報伝達訓練を実施 H30.6.22 磯川	
水原 31	防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組 水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	・情報伝達訓練の実施 ・洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施 H30.4.20 神通川 (国、富山土木、富山市) ・磯川水防情報伝達訓練を実施 H30.6.22 磯川	施 引き続き 実施	(H30)	実施引き続き	・洪水対応演習(情報伝達訓練)に参加 H30.4.20 神通川 ・水防情報伝達訓練を実施 H30.6.22 磯川	引き続き実施
31 32	防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組 水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情	・情報伝達訓練の実施 ・洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施 H30.4.20 神通川 (国、富山土木、富山市) ・磯川水防情報伝達訓練を実施 H30.6.22 磯川 (国、富山土木、富山市)	施 引き続き 実施	(H30) ・情報伝達訓練等への支援	引き続き	・洪水対応演習 (情報伝達訓練) に参加 H30.4.20 神通川 ・水防情報伝達訓練を実施 H30.6.22 磯川	引き続き実施継続実施
31 32	防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組 水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施 自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施	・情報伝達訓練の実施 ・洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施 H30.4.20 神通川 (国、富山土木、富山市)・磯川水防情報伝達訓練を実施 H30.6.22 磯川 (国、富山土木、富山市)・重要水防箇所等の合同巡視を実施 ・重要水防箇所等の合同巡視を実施	施 引き続き 実施 引き続き実 加	・情報伝達訓練等への支援 ・ 情報伝達訓練等への支援 ・ 重要危険箇所等の合同巡視を実施。	引き続き	・洪水対応演習(情報伝達訓練)に参加 H30.4.20 神通川 ・水防情報伝達訓練を実施 H30.6.22 磯川 ・重要水防箇所について、県と合同で毎年 実施 ・重要水防箇所について県と合同巡視	引き続きまた。
31 32	防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組 水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施 自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの	・情報伝達訓練の実施 ・洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施 H30.4.20 神通川 (国、富山土木、富山市)・磯川水防情報伝達訓練を実施 H30.6.22 磯川 (国、富山土木、富山市) ・重要水防箇所等の合同巡視を実施 ・重要水防箇所等の合同巡視を実施 H30.6.6 (富山市と合同) ・県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実動訓練等を実施 ・水防管理団体が行う訓練への参加	施 引き施 き 実 引き 続き きき 実 引き 続き きき まき きき	・情報伝達訓練等への支援 ・ 情報伝達訓練等への支援 ・ 重要危険箇所等の合同巡視を実施。	実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・洪水対応演習 (情報伝達訓練) に参加 H30.4.20 神通川 ・水防情報伝達訓練を実施 H30.6.22 磯川 ・重要水防箇所について、県と合同で毎年 実施 ・重要水防箇所について県と合同巡視 H30.5.16 富山土木センター管内河川 ・水防団、国、県、自主防災組織などが参	引き続き実施継続実施の書き続き
31 32	防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組 水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施 自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施	・情報伝達訓練の実施 ・洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施 H30.4.20 神通川 (国、富山土木、富山市)・機川水情報伝達訓練を実施 H30.6.22 磯川 (国、富山土木、富山市)・重要水防箇所等の合同巡視を実施 ・重要水防箇所等の合同巡視を実施 H30.6.6 (富山市と合同)・ 県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実動訓練等を実施・水防管理団体が行う訓練への参加・水防工法講習会の支援等を行う。・水防管理団体が行う訓練へ参加 H30.5.26 神通川(富山市)	施 引 実	・情報伝達訓練等への支援 ・重要危険箇所等の合同巡視を実施。 ・要請による訓練への支援 ・県防災訓練に参加	実施 引実 き続 き き施 き施 き き施 き き た き た き た き た き た う た う た う た う た う	・洪水対応演習 (情報伝達訓練) に参加 H30.4.20 神通川 ・水防情報伝達訓練を実施 H30.6.22 磯川 ・重要水防箇所について、県と合同で毎年 実施 ・重要水防箇所について県と合同巡視 H30.5.16 富山土木センター管内河川 ・水防団、国、県、自主防災組織などが参加し、出水期前に水防訓練の実施 ・水防訓練を実施 H30.5.26 神通川右岸 ・水防団員を兼ねる、消防団員について、 HP掲載や、ポスター掲示、自治振興会長 会議への依頼により、募集促進	引き続き 継続実 引き施 継続実 が 引き施 が と うき施 が と うき た り き り り り り り り り り り り り り り り り り
31 32 33	防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組 水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施 自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施 関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・	・情報伝達訓練の実施 ・洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施 H30.4.20 神通川 (国、富山土木、富山市)・機川水情報伝達訓練を実施 H30.6.22 磯川 (国、富山土木、富山市)・重要水防箇所等の合同巡視を実施 ・重要水防箇所等の合同巡視を実施 H30.6.6 (富山市と合同)・ 県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実動訓練等を実施・水防管理団体が行う訓練への参加・水防工法講習会の支援等を行う。・水防管理団体が行う訓練へ参加 H30.5.26 神通川(富山市)	施 引 実	・情報伝達訓練等への支援 ・重要危険箇所等の合同巡視を実施。 ・要請による訓練への支援 ・県防災訓練に参加	実施 引実 き続 き き施 き施 き き施 き き た き た き た き た き た う た う た う た う た う	・洪水対応演習 (情報伝達訓練) に参加 H30.4.20 神通川 ・水防情報伝達訓練を実施 H30.6.22 磯川 ・重要水防箇所について、県と合同で毎年 実施 ・重要水防箇所について県と合同巡視 H30.5.16 富山土木センター管内河川 ・水防団、国、県、自主防災組織などが参加し、出水期前に水防訓練の実施 ・水防訓練を実施 H30.5.26 神通川右岸 ・水防団員を兼ねる、消防団員について、 H P掲載や、ポスター掲示、自治振興会長	引き続き 継続実 引き施 継続実 が 引き施 が と うき施 が と うき た り き り り り り り り り り り り り り り り り り
31 32 33 34 35	防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組 水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施 自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施 関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・指定を促進	・情報伝達訓練の実施 ・洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施 H30.4.20 神通川 (国、富山土木、富山市)・機川水情報伝達訓練を実施 H30.6.22 磯川 (国、富山土木、富山市)・重要水防箇所等の合同巡視を実施 ・重要水防箇所等の合同巡視を実施 H30.6.6 (富山市と合同)・ 県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実動訓練等を実施・水防管理団体が行う訓練への参加・水防工法講習会の支援等を行う。・水防管理団体が行う訓練へ参加 H30.5.26 神通川(富山市)	施 引 き	・情報伝達訓練等への支援 ・重要危険箇所等の合同巡視を実施。 ・要請による訓練への支援 ・県防災訓練に参加	実施 引実 き続 き き施 き施 き き施 き き た き た き た き た き た う た う た う た う た う	・洪水対応演習 (情報伝達訓練) に参加 H30.4.20 神通川 ・水防情報伝達訓練を実施 H30.6.22 磯川 ・重要水防箇所について、県と合同で毎年 実施 ・重要水防箇所について県と合同巡視 H30.5.16 富山土木センター管内河川 ・水防団、国、県、自主防災組織などが参加し、出水期前に水防訓練の実施 ・水防訓練を実施 H30.5.26 神通川右岸 ・水防団員を兼ねる、消防団員について、 HP掲載や、ポスター掲示、自治振興会長 会議への依頼により、募集促進	引き施 総続、実施 ・
31 32 33 34 35	方活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組 水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施 自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施 関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・指定を促進	・情報伝達訓練の実施 ・洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施 H30.4.20 神通川 (国、富山土木、富山市) ・磯川水防情報伝達訓練を実施 H30.6.22 磯川 (国、富山土木、富山市) ・重要水防箇所等の合同巡視を実施 ・重要水防箇所等の合同巡視を実施 H30.6.6 (富山市と合同) ・県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実動訓練等を実施 ・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。 ・水防管理団体が行う訓練へ参加 H30.5.26 神通川(富山市) (富山土木より9名参加)	施 引 き 続 き 続 き 続 き 続 き 続 き た 続 き た た う 施 き た ん う た ん う た ん う た ん う た ん う た ん う た ん う た ん う た ん う た ん う た ん う た ん う た ん う た ん う た ん う た ん う た ん う た ん う た ん う た う た	・情報伝達訓練等への支援 ・重要危険箇所等の合同巡視を実施。 ・要請による訓練への支援 ・県防災訓練に参加	実施 引実 き続 き き施 き施 き き施 き き た き た き た き た き た き き う た う た う た う	・洪水対応演習 (情報伝達訓練) に参加 H30、4、20 神通川 ・水防情報伝達訓練を実施 H30、6、22 磯川 ・重要水防箇所について、県と合同で毎年 実施 ・重要水防箇所について県と合同巡視 H30、5、16 富山土木センター管内河川 ・水防団、国、県、自主防災組織などが参加し、出水期前に水防訓練の実施 ・水防訓練を実施 H30、5、26 神通川右岸 ・水防団員を兼ねる、消防団員について、 H P 掲載や、ポスター掲示、自治振興会長 会議への依頼により、募集促進 ・ HP 掲載、ポスター掲示の実施	引き施 総続、実施 ・
31 32 33 34 35 36	防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組 水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施 自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施 関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・指定を促進	・情報伝達訓練の実施 ・洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施 H30. 4. 20 神通川 (国、富山土木、富山市) ・磯川水防情報伝達訓練を実施 H30. 6. 22 磯川 (国、富山土木、富山市) ・重要水防箇所等の合同巡視を実施 ・重要水防箇所等の合同巡視を実施 H30. 6. 6 (富山市と合同) ・県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実団はが行う訓練への参加 ・水防管理団体が行う訓練へ参加 ・水防管理団体が行う訓練へ参加 ・水防管理団体が行う訓練へ参加 ・水防管理団体が行う訓練へ参加 ・水防管理団体が行う訓練へ参加 ・水防管理団体が行う訓練へ参加 ・水防管理団体が行う訓練へ参加 ・水防管理団体が行う訓練へ参加 ・水防管理団体が行う訓練へ参加 ・水防管理団体が行う訓練であるがで富山土木より9名参加) ・水防技術講習会に参加 ・水防技術講習会に参加 ・水防技術講習会に参加 ・水防技術講習会に参加 ・・水防技術講習会に参加 ・・水防技術講習会に参加 ・・水防技術講習会に参加 ・・水防技術講習会に参加 ・・水防技術講習会に参加 ・・水防技術講習会に参加 ・・水防技術講習会に参加 ・・水防技術講習会に参加 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	施 引	・情報伝達訓練等への支援 ・重要危険箇所等の合同巡視を実施。 ・要請による訓練への支援 ・県防災訓練に参加	実施 引実 き続 き き施 き施 き き施 き き た き た き た き た き た き き う た う た う た う	・洪水対応演習 (情報伝達訓練) に参加 H30、4、20 神通川 ・水防情報伝達訓練を実施 H30、6、22 磯川 ・重要水防箇所について、県と合同で毎年 実施 ・重要水防箇所について県と合同巡視 H30、5、16 富山土木センター管内河川 ・水防団、国、県、自主防災組織などが参加し、出水期前に水防訓練の実施 ・水防訓練を実施 H30、5、26 神通川右岸 ・水防団員を兼ねる、消防団員について、 H P 掲載や、ポスター掲示、自治振興会長 会議への依頼により、募集促進 ・ HP 掲載、ポスター掲示の実施	引き施 総続、実施 ・
31 32 33 34 35 36	方活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組 水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施 自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施 関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・指定を促進 国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	・情報伝達訓練の実施 ・洪水対応演習(情報伝達訓練)を実施 H30. 4. 20 神通川 (国、富山土木、富山市) ・磯川水防情報伝達訓練を実施 H30. 6. 22 磯川 (国、富山土木、富山市) ・重要水防箇所等の合同巡視を実施 ・重要水防箇所等の合同巡視を実施 ・重要水防箇所等の合同巡視を実施 ・重要水防箇所等の合同巡視を実施 ・近の近辺では、1000円間では、10000円間では、1000円間では、1000円間では、1000円間では、1000円間では、1000円間では、1000円間では、1000	施 引	・情報伝達訓練等への支援 ・重要危険箇所等の合同巡視を実施。 ・要請による訓練への支援 ・県防災訓練に参加	実施 引実 き続 き き施 き施 き き施 き き た き た き た き た き た き き う た う た う た う	・洪水対応演習 (情報伝達訓練) に参加 H30、4、20 神通川 ・水防情報伝達訓練を実施 H30、6、22 磯川 ・重要水防箇所について、県と合同で毎年 実施 ・重要水防箇所について県と合同巡視 H30、5、16 富山土木センター管内河川 ・水防団、国、県、自主防災組織などが参加し、出水期前に水防訓練の実施 ・水防訓練を実施 H30、5、26 神通川右岸 ・水防団員を兼ねる、消防団員について、 H P 掲載や、ポスター掲示、自治振興会長 会議への依頼により、募集促進 ・ HP 掲載、ポスター掲示の実施	引き続き 継続実施 割き施 総続実施 が続き 継続実施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

— 1							
	項の柱	実施する機関		マルサナケ条ム		富山市	
目	カテゴリ	富山県 実施内容	時期	富山地方気象台 実施内容	時期	量山巾 実施内容	時
	カテコリ 記慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取:		时朔	夫	时期	美胞內谷	Į.
38	心患者利用心故や人別保工物寺の日闱小切の推進に関する収.	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順次実施	要配慮者利用施設による避難確保計画等の 作成を行おうとする際の支援。	引き続き 実施	・計画作成の手引きなどの情報を周知 <mark>啓発</mark>	順次到
	要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援 を実施	・洪水浸水想定区域図の公表 いたち川 (H30.8.17) 土川 (H30.8.17) 熊野川 (H30.8.17) 坪野川 (H30.8.17) 山田川 (H30.8.17) ・出前講座等を実施 H31.2.6 富山県ディヴ-ビスセンター協議会 富山地区プロック (40名)	H30			・HPにて計画策定の手引きを周知、 及び出前講座において説明を実施 ・市内対象施設200施設の方80施設で 避難確保計画を作成済 うち、61施設で避難訓練を実施 (H31.3末時点)	引き終実施
39		・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順次実施			・ハザードマップによる浸水リスクの周知	必要; ば検討
	大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	・洪水漫水想定区域図の公表 いたち川 (H30.8.17) 土川 (H30.8.17) 熊野川 (H30.8.17) 坪野川 (H30.8.17) 山田川 (H30.8.17)	H30				
40		・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順次実施			・広報紙、HP等で周知	必要ば検
	大規模工場における情報連絡体制の確立及び自衛水防活動 の取組	・洪水浸水想定区域図の公表 いたち川 (H30.8.17) 土川 (H30.8.17) 熊野川 (H30.8.17) 坪野川 (H30.8.17) 山田川 (H30.8.17)	H30				
■救技	爰・救助活動の効率化に関する取組						
41		・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順次実施				
	大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置 計画の検討を実施	- 洪水浸水想定区域図の公表 いたち川 (H30.8.17) 上川 (H30.8.17) 熊野川 (H30.8.17) 山田川 (H30.8.17) 山田川 (H30.8.17)	H30				
■排力	k計画(案)の作成及び排水訓練の実施		•		'		•
	氾濫水を迅速に排水するため、排水施設の情報共有、排水 手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画 (案)を検討・作成	・排水ポンプ車設置可能箇所の検討	今後検討			・排水ポンプ車の配置箇所を検討	・H30 から
43	地下街が浸水した場合の排水計画(案)の検討を実施						
44		・連絡体制の確認	引き続き実施			・連絡体制を確認し、適宜更新する。	継続
	排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	・連絡先を富山市に確認し、水防 マニュアルに反映	引き続き実施			・水防連絡会にて連絡体制を確認(国) H30.4.25 水防連絡会 ・連絡体制作成(市)	引き 実施
45		・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	引き続き 実施			・水防法に基づく水防訓練の実施	継続
	排水計画(案)に基づき、関係機関が連携した排水実働訓 練の実施	・水防管理団体が行う訓練へ参加 H30.5.26 神通川(富山市) (富山土木より9名参加)	引き続き 実施			· 水防訓練を実施 H30. 5. 26 神通川右岸	引き:実施

様式-1 概ね5年(H30~H32)で実施する取組(下条川等グループ)

目	<u>項の柱</u>	富山県		実施する機関 富山地方気象台		射水市	
P +-	カテゴリ	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時
_	<mark>策の主な取組</mark> 水を河川内で安全に流す対策						
	浸透対策	・洪水を河川内で安全に流すためのハード	引き続き				
	パイピング対策 流下能力対策	対策を推進する。 ・河道内堆積土者の計画的な撤去	実施				
	侵食·洗掘対策	【下条川】	引き続き				
	堤防整備 霞堤の維持・保全	護岸 L=37m(射. 橋下条地内) 【和田川】	実施				
	縦工の整備	伐木 A=300m2 (射. 大門地内)					
	漏水対策 河道管理						
	ダムによる洪水調節 洪水をバイパス等で排水する施設の整備						
	河道浚渫						
	幾管理型ハード対策 堤防天端の保護	・越水が発生した場合でも決壊までの時間	今後検討				
_	裏法尻の補強	を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対 策を推進する。					
		東で推進する。					
避	誰行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		-				
3		一・新技術に関する情報を収集し、検討する	今後検討			・河川管理者と連携し、水防資機材の配備 状況を確認し整備を行う。	引き紛
	新技術を活用した水防資機材の検討及び配備					・検討中	引き続
							実施
		・河川監視カメラの設置(水位計設置箇 所)	引き続き 実施				
4		・簡易水位計の設置	大心				
	洪水時の状況を把握し、円滑な避難活動や水防活動を支援	・河川監視カメラHP公開4基	引き続き				
	するため、雨量計、水位計(簡易水位計を含む)、河川監 視カメラや量水標等の基盤の整備	下条川(駅南大橋)(H30.6.1) 和田川(本江)(H30.6.1)	実施				
		・危機管理型水位計設置 5基					
		庄川水系3基(親司川、八幡川、鴨川) その他水系2基(鍛冶川、新堀川)					
							引き続
5						ログの防災行政無線をデジタル化し市全域 を網羅した情報伝達網を整備し、H28年9月	実施
	防災行政無線や防災ラジオ等のデジタル化による改良					26日から運用開始。	
						·運用開始済 (H28.9~)	整備沒
		・施設等に関する情報を収集し、検討す	今後検討			・防災拠点となる市庁舎として、72時間発	引き紛
6	浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及	ి .				【電が可能な非常用発電機を庁舎6階に整備 【し、H28年10月開庁した。	実施
	び非常用発電装置等の耐水化					· 整備済 (H28. 10~)	整備済
7						→ ・検討中	今後検
/	浸透ますの設置					10.71	71.54
	校庭貯留の実施					・検討中	引き網 実施
		・各戸貯留・浸透施設の設置に対する支援	今後検討			 ▼・検討中	今後検
8	各戸貯留・浸透施設の設置に対する支援制度の確立	制度の検討・水田貯留に対する支援制度の検討					
	水田貯留に対する支援制度の確立	小山川田に対する文版制度の快引				 ・検討中	引き続
							実施
9		・気象情報に応じて、文書による市、土地 改良区宛に事前点検や注意喚起の通知	継続実施			· 検討中	今後検
	農業用排水路に設置されている水門管理の徹底	以及巴尼丁····································				 ・検討中	引き続
							実施
	策の主な取組 有の洪水を理解するための周知・理解促進の取組						
	寺から住民等への周知・教育・訓練に関する取組						
10		水害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作成・配布	今後検討			· 検討中	今後検
	水害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作成・配布	(a) (b) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c				 ・検討中	引き紛
							実施
		・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。	引き続き 実施	・自治体の教育委員会と連携し、効果的な水防の避難や訓練など支援	引き続き 実施	・小中学校から要望があった場合、過去に 生じた水害状況の写真パネルや資料提供を	引き続 実施
11			7,16	1919) O ZEXE (Brink & C X DX	J 100	行う。また、出前講座の申込があれば対応	7,75
	小中学校等における水災害教育を実施					する。	3111
						・小学校1校に水害状況の写真パネル等 を貸し出し	引き網 実施
		 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に	引き続き	- 出前講座等を活用し水防災等に関する説	引き続き	・出前講座の活用を積極的に働きかける。	引き続
		行っていく。	実施	明会を実施	実施		実施
12	出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催			・「警報級の可能性」や「危険度分布」 などの広報用チラシの配布(H30)	引き続き 実施	・出前講座(風水害をテーマ)を実施 40地区(H28年4月~H31年3月)	引き続 実施
12		1	1	・出前講座等を実施	22.00	(+0/1/	200
12				H30. 5. 22 伏木防火協会(100名)	1	<u> </u>	
12					WT./		引き続
		・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で	引き続き 実施	・関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	・市広報紙面に記事を掲載し市民への啓発を図る。	大 加
12	が目がな「小吐べ辛滋な」、 小不様欲に切ったったおしな が				順次実施	を図る。	実施
	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 を作成・配布	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で			順次実施	を図る。 ・風水害時の対策(備蓄・情報収集)	引き続
		報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で			順次実施	を図る。	
		報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成)	実施		順次実施	を図る。 ・風水害時の対策(備蓄・情報収集) に関する啓発 H30.6 CATV	引き続 実施
	を作成・配布	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で	実施引き続き		順次実施	を図る。 - 風水害時の対策 (備蓄・情報収集) に関する啓発	引き続 実施
13	を作成・配布自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成)	実施		順次実施	を図る。 ・風水害時の対策(備蓄・情報収集) に関する啓発 H30.6 CATV	引き続
13	を作成・配布	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施	実施引き続き		順次実施	を図る。 ・風水害時の対策(備蓄・情報収集) に関する啓発 H30.6 CATV ・河川管理者と連携し対応したい。	引き続 実施 順次実
13	を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇 所の共同点検の実施	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 H30.5.25 下条川(高岡土木、射水市) ・災害・避難カード作成時に同席し、防災	実施引き続き		順次実施	を図る。 ・風水害時の対策(備蓄・情報収集) に関する啓発 H30.6 CATV ・河川管理者と連携し対応したい。	引き続いた。
13	を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 「災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 H30.5.25 下条川(高岡土木、射水市)	男き続き実施		順次実施	を図る。 ・風水害時の対策(備蓄・情報収集)に関する啓発 H30.6 CATV ・河川管理者と連携し対応したい。 H30.5.25 下条川(高岡土木、射水市) ・検討中	引き続 順次 実 引き施 今後検
13	を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇 所の共同点検の実施	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 H30.5.25 下条川(高岡土木、射水市) ・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加	男き続き実施		順次実施	を図る。 - 風水害時の対策 (備蓄・情報収集) に関する啓発 H30.6 CATV - 河川管理者と連携し対応したい。 - H30.5.25 下条川 (高岡土木、射水市) - 検討中	引実施 引き施 順 引き施 後 き続 後 き施 後 き施
13	を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 「災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 H30.5.25 下条川(高岡土木、射水市) ・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加 ・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸	男き続き実施		順次実施	を図る。 ・風水害時の対策(備蓄・情報収集)に関する啓発 H30.6 CATV ・河川管理者と連携し対応したい。 H30.5.25 下条川(高岡土木、射水市) ・検討中 ・検討中 ・ハザードマップの見直しの際に検討す	引実施 引実施 後 続 検 続 続 続 続 続 続 続 続 続 続 続 続 続 続 続 続 続
13	を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 「災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 H30.5.25 下条川(高岡土木、射水市) ・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加	男き続き実施		順次実施	を図る。 - 風水害時の対策 (備蓄・情報収集) に関する啓発 H30.6 CATV - 河川管理者と連携し対応したい。 - H30.5.25 下条川 (高岡土木、射水市) - 検討中	引き施 引き施 りき施 りき施 後 き続 う 引きを う う 引きを う う う う う う り う う う う う う う う う う う う
13	を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 「災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周知・教育・訓練	報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 H30.5.25 下条川(高岡土木、射水市) ・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加 ・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表	実施 引き続き 実施 今後検討 順次実施		順次実施	を図る。 ・風水害時の対策(備蓄・情報収集) に関する啓発 H30.6 CATV ・河川管理者と連携し対応したい。 H30.5.25 下条川(高岡土木、射水市) ・検討中 ・検討中 ・ハザードマップの見直しの際に検討する。	引実 順 引実 今 引実引施 教 格 林 格 格 格 格 格 格 格 格 格 格 格 格 格 格 格 格 格

様式-1 概ね5年(H30~H32)で実施する取組(下条川等グループ)

目_		富山県		実施する機関 富山地方気象台		射水市	
+	カテゴリ	実施内容・自助・共助の促進のための普及啓発を実	時期 引き続き	実施内容	時期	実施内容 ・ 自主防災組織が行う活動に対する指導・	時期引き続き
17		施するとともに、市町村と連携して自主防 災組織の資機材整備や避難訓練等を支援	実施			助言や自主防災活動のリーダー育成を支援 し自主防災組織の充実を図る。	施
台	: 民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための					・県が実施する防災活動リーダー育成研修 について案内し参加を促す。 ・防災活動リーダーを担う人材として防災 士の育成を支援。また射水市防災士連絡協	引き続 [:] 実施
	主防災組織の充実					議会の活動を支援 ・H30.9.2 作道地区で富山県・射水市総合 防災訓練実施	
						・H31.3 風水害時等の自主的な避難に関する、「市、施設管理者、住民」それぞれの役割分担やルールを明確化した「自主避難所開設・運営マニュアル」を作成	
18		・県쒸に問い合わせ窓口を設置(県)	引き続き実施			・平成31年度にハザードマップ見直しを予定しており、公表時に合わせ検討	
		・相談窓口をHPに掲載	引き続き 実施			· 検討中 	引き続 実施
	の確実な避難行動のための取組 伝達、避難計画等に関する取組		•				
19	MARK ARABIT OF THAT WASHINGTON	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や 家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	順次実施				
	限定最大規模降雨による浸水想定区域図、浸水継続時間、 R屋倒壊等氾濫想定区域等の作成・公表	・洪水浸水想定区域図の公表 下条川(R1年出水期前予定) 和田川(R1年出水期前予定)	H30∼				
20		・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や	順次実施			・平成31年度にハザードマップの見直しを	H31
親	fたな洪水ハザードマップの策定(広域的な避難計画等も 5映)	家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表 ・洪水浸水想定区域図の公表 下条川(紹年出水期前予定) 和田川(R1年出水期前予定)	H30∼			予定している。 ・R元年度内公表予定	引き続 実施
21		・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や	順次実施			・平成31年度のハザードマップ見直しに合	今後検
	fたなハザードマップの各戸配布・周知 (ハザードマップポータルサイトや地図情報等の活用な :)	家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表 ・洪水浸水想定区域図の公表 下条川(R1年出水期前予定)	H30~			わせて検討したい。 ・R元年度内公表予定	引き続 実施
-		和田川(R1年出水期前予定) ・富山県総合防災システムにより、①県と	引き続き	・気象警報・注意報等を発表し、現象ごと	引き続き	・防災行政無線を整備し屋外拡声子局を5	引き続
		参加可能な国・市町村・防災関係機関等がリアルタイムで閲覧、書込み、情報共有を開放しています。	実施	に警戒、注意期間及び雨のピーク時間帯、 量などの予想最大値を周知し、必要に応じ	実施	6局(親局を含む)から113局に増やし、一斉放送による音達エリアを拡充し	施
		実施。②また、Lアラート等を活用し、報 道機関等との連携により住民等へ被害情報 等を迅速・的確に提供。		て、自治体、関係機関に情報伝達(ホット ライン)を実施		ト。また、放送内容と同じものをエリアメールや登録制のメール配信、CATVの 上字放送、コミュニティFMの割り込み放	
22		・河川情報システムの改良・携帯端末向けのシステムの実施				送で配信するシステム整備が完了した。今 後は整備等行った設備を情報発信等に活用	
	アルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災	・河川監視カメラの設置(水位計設置箇 所)				したい。	
	情報の充実 (水位や河川状況等ライブカメラ情報、避難情報)	・簡易水位計の設置 ・一般向けの緊急速報メール配信の実施					
		 河川監視カメラIP公開4基 下条川(駅南大橋)(H30.6.1) 和田川(本江)(H30.6.1) ・危機管理型水位計設置5基 庄川水系3基(親司川、八幡川、鴨川) 		・大雨が予想された場合、富山県等に 情報伝達を実施 (H30)	引き続き実施	・運用開始済(H28. 9. 26~)	整備済
23 18	#難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライ	その他水系2基(鍛冶川、新堀川) ・市町村が作成するタイムラインに必要な 水位情報等の提供	引き続き実施	・富山河川国道事務所、富山県及び関係市町村と共同で整備・改善を支援	引き続き実施	・新たな浸水根定に基づき、現行の避難勧 告等判断伝達マニュアルの見直すなど、タ イムラインを意識した避難対策となるよう	順次実
	y)の整備及び検証と改善 ・					改善を図る。 ・検討中	引き続
		・H29から取組みを開始(試行)	引き続き	主な河川を対象とした流域雨量指数による	引き続き	・H29から取組みを開始(試行)	実施 引き続
t	コ小河川において、相当な被害が発生する可能性を予見し場合、首長等への直接の情報提供(ホットライン)の実	・試行運用 (H29~)	実施引き続き	危険度分布の能動的ホットライン ・大雨が予想された場合、富山県等に	実施引き続き	・試行運用 (H29~)	実施 引き続
が一	B	H30実績 なし ・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水	実施引き続き	情報伝達を実施 (H30)	実施	H30実績 なし 市内部の連絡体制を整備し促進したい。	実施 引き続
25	ᅙᇍᆓᆇᆈ뮤ᇸᇬᄬᄥᆚᇒᇬᄹᅷᅚᄯᆒᅉᇬᄱᅜ	深、浸水継続時間等)の提供 ・要配慮者利用施設管理者向け説明会への 支援	実施			IDP3中の足術や叩る定備した定とした。	実施
3	配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	- 洪水浸水想定区域図の公表 下条川(R1年出水期前予定) 和田川(R1年出水期前予定)	H30∼			・防災訓練を実施 H30.9.2 富山県と射水市の合同防災訓練 (1施設)	引き続 実施
26		・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の公表	順次実施			・家屋倒壊区域等を踏まえ立ち退き避難が 必要なエリアを検証し、現行の避難勧告等 判断伝達マニュアルを見直す。	
Ţ	z ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	· 洪水浸水想定区域図の公表 下条川(R1年出水期前予定) 和田川(R1年出水期前予定)	H30~			・指定緊急避難場所施設の想定最大規模 における浸水深を検証(H30)	引き続 実施
27		・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順次実施			・参加市町村で連携し広域避難に関する検討を行う。	引き続 実施
参	かかかけによる広域避難計画の策定及び支援	· 洪水浸水經統時间等)の提供 · 洪水浸水想定区域図の公表 下条川(R1年出水期前予定) 和田川(R1年出水期前予定)	H30~			・検討中	天施 引き続 実施
28		・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水	順次実施			・平成31年度のハザードマップ見直しに合われて検討したい	引き続
戊	区域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップ 策定・周知	深、浸水継続時間等)の提供 ・洪水浸水想定区域図の公表 下条川(招年出水期前予定) 和田川(R1年出水期前予定)	H30~			わせて検討したい。 ・検討中	実施 引き続 実施
29 水	K位予測の検討及び精度の向上	加田川(い午山小州制 アル)		・大雨・洪水警報等の評価及び精度の向上 ・災害補足状況の検証と洪水警報等の基準 の変更	順次実施		
	N規模の流域・急流河川に対応する精度の高い降雨・洪水			の変更 ・災害補足の状況と洪水警報等の基準 の検証の実施 (H30)	引き続き実施		
30	・測の実施			・予測精度等の改善を検証	引き続き		
复	記象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」 ●の改善			・災害発生状況などと危険度の検証実施	実施引き続き		
				(H30)	実施		

様式-1 概ね5年(H30~H32)で実施する取組(下条川等グループ)

B _		富山県		富山地方気象台		射水市	
	カテゴリ	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時
	<mark>監による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等</mark> 活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組	●の取組 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
Г	活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組	・情報伝達訓練の実施	引き続き	· 情報伝達訓練等への支援	引き続き	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、	引き紛
	水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情 報伝達訓練の実施		実施		実施	情報伝達訓練に参加する。 ・水防連絡会で連絡体制を確認 H30.4.25 ・洪水対応演習に参加	毎年第 引き級 実施
						H30. 4. 20	
	自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの 高い箇所の合同巡視の実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施 H30.5.25 下条川(高岡土木、射水市)	引き続き実施引き続き	・重要危険箇所等の合同巡視を実施。	引き続き実施	・河川管理者と連携し対応したい。 H30.5.25 下条川(高岡土木、射水市)	引き組み
ı.			実施				実施
33		・県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実動訓練等を実施 ・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き 実施	・要請による訓練への支援	引き続き実施	・出水期前にポンプ車の運転訓練を実施 し、防災訓練で水防実働訓練を検討する。	引き約 毎年3
	関係機関が連携した水防実働訓練等を実施			· 県防災訓練に参加 H30. 9. 29 富山市総合防災訓練	引き続き実施		引き約 毎年到
34						・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き糸 実施
	水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・ 指定を促進					・ホームページ等で消防団員を募集	引き糸 実施
35		・水防技術講習会に参加	引き続き			・水防技術講習会に参加。	引き約
	国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	・水防技術講習会に参加	実施引き続き				実施引き級
	当・県・日石や城員寺を対象に、小防技術講首云を夫施	H30. 10. 16 1名	実施				実施
36		・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順次実施				
	大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	・洪水浸水想定区域図の公表 下条川(R1年出水期前予定) 和田川(R1年出水期前予定)	H30∼				
37						・検討中	今後相
t	也域の事業者による水防支援体制の検討・構築		_			・検討中	引き約 実施
要配	慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取	組 ・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水	順次実施	要配慮者利用施設による避難確保計画等の	引き続き	・要配慮者利用施設における計画策定の推	引き約
	要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援 を実施	深、浸水継続時間等)の提供 ・洪水浸水想定区域図の公表 下条川(R1年出水期前予定) 和田川(R1年出水期前予定)	H30~	作成を行おうとする際の支援。	実施	進を行う。 ・H30.2.9 対象となる施設を所管する担当 部署へ計画策定の必要性について説明し、 各施設への働きかけを依頼。庁内の推進体 制を確認 ・H30.2.15 対象施設に避難確保計画策定等 が義務化されたことを順次通知し、計画作成に必要な知識等についての資料提供を開 始	実施引き紛実施
20		・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水	順次実施			 ·検討中	今後相
	大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活 動	深、浸水継続時間等)の提供 ・洪水浸水想定区域図の公表 下条川(R1年出水期前予定)	H30∼			・検討中	引き約 実施
		和田川(R1年出水期前予定)	m 4 中 4			A51.6	
40	大規模工場における情報連絡体制の確立及び自衛水防活動	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供				· 検討中	今後相
	D取組	・洪水浸水想定区域図の公表 下条川(R1年出水期前予定) 和田川(R1年出水期前予定)	H30∼			· 検討中 	引き約 実施
救援	・救助活動の効率化に関する取組	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水	順次実施			・新たな浸水想定に基づき現行の地域防災	引き約
41	大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置	深、浸水継続時間等)の提供				計画等の見直しを検討する。	実施
	へ就僕火告時の救抜・救助治動寺又抜のための拠点寺配直 計画の検討を実施	・洪水浸水想定区域図の公表 下条川(R1年出水期前予定) 和田川(R1年出水期前予定)	H30~			・検討中	引き約 実施
Г	計画(案)の作成及び排水訓練の実施	・排水ポンプ車設置可能箇所の検討	今後検討			・排水施設等の情報を確認・共有し、排水	
3	氾濫水を迅速に排水するため、排水施設の情報共有、排水 手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画 (案)を検討・作成					ポンプの設置箇所の選定。 ・検討中	実施 引き級 実施
43	地下街が浸水した場合の排水計画(案)の検討を実施						
-		・連絡体制の確認	順次実施			・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整	引き約
44	非水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	WE THE THE THE THE	水の大ル			所言性 一	実施引き総実施
45	非水計画(案)に基づき、関係機関が連携した排水実働訓	・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施			・河川管理者が行う操作訓練に参加。	引き約 実施 引き約

1	富山県		富山地方気象台	-4.77	高岡市	-4.00	砺波市		小矢部市		南砺市
カテゴリ	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容
 策の主な取組 											
: 小を河川内で女主に流り対策 1 浸透対策	・洪水を河川内で安全に流すためのハード	引き続き									
パイピング対策	対策を推進する。	実施			A second						
流下能力対策											
侵食·洗掘対策	【祖父川】	引き続き			1						
堤防整備	河道浚渫 V=36m3 (高. 北島地内)	実施			A						
霞堤の維持・保全 縦工の整備	【岸渡川】 伐木 A=200m2 (高. 福岡町大滝地内)				A						
漏水対策	【旅川】				A						
河道管理	河道浚渫 L=0.2km(三清東地内)				A						
ダムによる洪水調節	河道浚渫 L=0.1km (院瀬見地内)				A						
洪水をバイパス等で排水する施設の整備					A						
河道浚渫 機管理型ハード対策											
21 堤防天端の保護	・越水が発生した場合でも決壊までの時間	(章) H28年度	=	1							
裏法尻の補強	を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対				A						
4. 7. 7. 7. 111 July	策を推進する。	備			A						
		-			A						
単行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備										-	
是1990年,1990年前	・新技術に関する情報を収集し、検討する	今後検討			・河川管理者と連携を図り、水防資機材配	引き続き	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資	H28年度から	ら ・河川管理者と連携し水防資機材の配備状	H28年度か	ら・河川管理者や水防団と連携を図り水防資
	ANIANIA INA TARKE WAR OF MAIN	7 12 12 13			備状況の確認や整備を実施する。	実施	機材の配備状況の確認を行う。	検討	況の確認を実施する。	検討	機材の配備状況の確認を行う。
新技術を活用した水防資機材の検討及び配備		+			A	1 -		T	・河川管理者と合同巡視を実施	引き続き	
					A .				H30. 5	実施	
	・河川監視カメラの設置(水位計設置箇	引き続き実								- 1.00	
	所) がい血液カバノの配置(小型引取置固	施									
[・簡易水位計の設置	1									
	・河川監視カメラのHP公開6基	引き続き									
 洪水時の状況を把握し、円滑な避難活動や水防活動を支援		実施			A						
	祖父川(樋詰橋)1基	~ ""									
9 るため、附重計、小位計(間あ小位計を含む)、州川監 視カメラや量水標等の基盤の整備	岸渡川(岸渡川鉄道協)1基										
	横江宮川(宮川橋)1基										
	旅川1基(柴田屋橋)										
	・危機管理型水位計設置10基										
	小矢部川水系10基(野川、大門川ほか)	1									
		_			・河川沿川における同報系防災行政無線の	引き続き	・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	 防災行政無線のデジタル化を図り、放送内
					整備を検討する。	実施	DOMA 1	, 12 12 E3	I NAT I	/ IX IX II'	容をメール及び市のホームページと連携し
		4			III III C DAII 7 00	7420					情報伝達を図る。
防災行政無線や防災ラジオ等のデジタル化による改良					・情報伝達に係る効果的な手段	H30∼					・運用開始済
		4			(防災行政無線を含む)の整備に	1100					是/11/6/41/7
		4			ついて検討 (H30.4~)						
	・施設等に関する情報を収集し、検討す	今後検討		+	· 検討中	今後検討	· 検討中	今後検討	· 検討中	今後検討	· 検討中
	a.	7 (2 (2 (1)			1883.1	7 (2 (2 (1)	1263.1	7 (2 (2 (1)	1883.1	7 [2 [2 [1]	1000
浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及					・非常用発電装置と非常時の本部機能に	H30∼					
び非常用発電装置等の耐水化					ついての現状確認を実施(H30.4~)	1					
1					1	1					
	+	_			 ・検討中	今後検討	・検討中	今後検討		今後検討	・検討中
7 浸透ますの設置					1大部) 丁	フ液快割	1,저희 '무	フ液快割	パカジア	フ液快割	次可丁
校庭貯留の実施					A	1			+		
	. 久市時の、浸味性乳の乳型にもナナナー	△※☆≒			1. 検討由	今後検討	,捡計由	△丝检≒	. 烩計由	△※☆≒↓	,檢討由
	・各戸貯留・浸透施設の設置に対する支援 制度の検討	ラぼ使討			· 検討中	ラ俊 便訶	・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中
日本を表現しています。 日本					4	1					
小山 田 -州 切入1次門及い唯工		+			A	-					
	・気象情報に応じて、文書による市、土地				用水管理者と連携して、降雨時の水門管理	川土 土	- 検討中	今後検討	 · 検討中	△丝拾≒	・検討中
)	・ 丸家情報に応じて、	松 柳天旭			用水管理者と連携して、降雨時の水門管理	別ざ続さ 実施	1차리) 꾸	フ液便割	「大司」下	今後検討	7大百3 丁
農業用排水路に設置されている水門管理の徹底	3.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2	+			・用水管理者と連携して、降雨時の水門	引き続き				1	
					・用水管理者と連携して、降雨時の水門 管理を徹底	実施					
					BEECHNO	X 1/2					
t策の主な取組											
有の洪水を理解するための周知・理解促進の取組											
時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組	The second of th	10.0010-1			T 40=1.4	I A 444 1 A = 1	I 10=1-1	I A 20 1A = 1	T 45=1-4	LA 20 14 = 1	T WELT
 水害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作	水害の歴史、洪水特性の周知理解促進のた	今後検討			・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中
成・配布	めの副教材の作成・配布				4	1					
		1			4	1		<u> </u>		1	I WILL CONTROL
	・出前講座等を活用した啓発を積極的に	引き続き実	・自治体の教育委員会と連携し、効果的な		・小中学校からの要望に応じ、防災教育等	引き続き	・出前講座等で防災教育を実施する。	引き続き	・出前講座等で要望があった場合、防災教		
	行っていく。	他	水防の避難や訓練など支援	実施	に関する出前講座を実施する。	実施		実施	育を実施する。	実施	全般として実施している。
小中学校等における水災害教育を実施				1	・富山河川国道事務所と合同で防災学習	引き続き			1		
				1	│ を実施 │ H30.7.19 万葉小学校5年生約30人	美 胞			1		
1		1	山並珠赤笠ナ河のしょけがたいのようの	31 + 6+ +		31 + 4+ +	山益珠市佐子河田 1.557/657-1911	31 + 4+ +	山台港市佐土区内山地大学中国土土区	11+ #+ +	- 白込ん佐よき山子建康を悪さかもします
	山岩珠市佐土河田」と思かるままり。	71+4++	・出前講座等を活用し水防災等に関する説		・出前講座等を活用し水防災等に関する説		・出前講座等を活用し、水防災等に関する	引き続き	・出前講座等を活用し水防災等に関する説明のな実施する。		・自治会等から出前講座の要請があれば実
	・出前講座等を活用した啓発を積極的に	引き続き実				中体	説明を実施	実施	明会を実施する。	実施	
	・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。	引き続き実施	明会を実施する。	実施	明会を実施する。	実施	11 24 2# de Mr 4 de 44	THE ARES		1	・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名
出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催		引き続き実施	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」	引き続き	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマ	実施引き続き	・出前講座等を実施 H30字練 4844	引き続き			1100.10.21 井口婦人防火クフノ20名
出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催		別き続き実施	明会を実施する。		・自主防災会等を対象に、洪水をテーマ とした出前講座を実施		・出前講座等を実施 H30実績 48件	引き続き 実施			
出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	行っていく。	施	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマ とした出前講座を実施 H30実績 56件	引き続き実施	H30実績 48件	実施			
出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	行っていく。 - 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広	施引き続き実	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマ とした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広	引き続き実施	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広	実施	・毎年6月広報で大雨による災害対策につ		・国、県からの広報等を配布し管内への周
出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	行っていく。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で	施引き続き実	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマ とした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報や資料を作成・配布する。	引き続き実施	H30実績 48件	実施	・毎年6月広報で大雨による災害対策につ いて特集している。	引き続き 毎年実施	・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。
出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	行っていく。	施引き続き実	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマ とした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報や資料を作成・配布する。 ・「防災マップ&市民便利帳」の改定時に	引き続き実施	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広	実施			・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。
	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成)	施引き続き実	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップ&市民便利帳」の改定時に併せて、特集ページを作成する。	引き続き実施	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広	実施			・国、県からの広報等を配布し管内への周 知を図る。
効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成)	施引き続き実	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マン&市民母制帳」の改定時に併せて、特集ページを作成する。・市広報誌への掲載を検討する。	引き続き実施順次実施	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広	実施			・国、県からの広報等を配布し管内への周 知を図る。
効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成)	施引き続き実	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。 ・「防災マップを市民便利帳」の改定時に併せて、特集ページを作成する。 ・市広報誌への掲載を検討する。 ・防災マップを更新、全自治会員へ配布	引き続き実施	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広	実施			・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。
効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成)	施引き続き実	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップ&市民便利帳」の改定時に併せて、特集ページを作成する。・市広報誌への掲載を検討する。・・防災マップを更新、全自治会員へ配布(H30.4)	引き続き実施順次実施	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広	実施			・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。
効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成)	施引き続き実	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。 ・「防災マップを市民便利帳」の改定時に併せて、特集ページを作成する。 ・市広報誌への掲載を検討する。 ・防災マップを更新、全自治会員へ配布	引き続き実施順次実施	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広	実施			・国、県からの広報等を配布し管内への周 知を図る。
効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料	行っていく。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成)	問き続き実施	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30) ・関係機関と連携して効果的な対応に協力	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。 ・「防災マップ&市民便利帳」の改定時に併せて、特集ページを作成する。 ・市広報誌への掲載を検討する。 ・防災マップを更新、全自治会員へ配布(H30.4) ・出前講座等で周知・説明	引き続き 実施 順次実施 H30~	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	順次実施	いて特集している。	毎年実施	知を図る。
効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 を作成・配布	・ 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・ 重要水防箇所等の共同点検の実施	施引き続き実	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30) ・関係機関と連携して効果的な対応に協力	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップを市民便利帳」の改定時に併せて、特集ページを作成する。・市広報誌への掲載を検討する。 ・防災マップを更新、全自治会員へ配布(H30.4)・出前講座等で周知・説明 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水	引き続き 実施 順次実施 H30~	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水	順次実施順次実施順次毎年	いて特集している。 ・河川管理者を中心とし、自治会等が参加	毎年実施	・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。
効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇	・ 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・ 重要水防箇所等の共同点検の実施	問き続き実施	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30) ・関係機関と連携して効果的な対応に協力	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。 ・「防災マップ&市民便利帳」の改定時に併せて、特集ページを作成する。 ・市広報誌への掲載を検討する。 ・防災マップを更新、全自治会員へ配布(H30.4) ・出前講座等で周知・説明	引き続き 実施 順次実施 H30~	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	順次実施	いて特集している。	毎年実施	知を図る。
効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇	・ 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・ 重要水防箇所等の共同点検の実施	問き続き実施	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30) ・関係機関と連携して効果的な対応に協力	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップを市民便利帳」の改定時に併せて、特集ページを作成する。・市広報誌への掲載を検討する。 ・防災マップを更新、全自治会員へ配布(H30.4)・出前講座等で周知・説明 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水	引き続き 実施 順次実施 H30~	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水	順次実施順次実施順次毎年	いて特集している。 ・河川管理者を中心とし、自治会等が参加	毎年実施	知を図る。
効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇	行っていく。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施	施 引き続き実 施 引き続き実	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30) ・関係機関と連携して効果的な対応に協力	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップを市民便利帳」の改定時に併せて、特集ページを作成する。・市広報誌への掲載を検討する。 ・防災マップを更新、全自治会員へ配布(H30.4)・出前講座等で周知・説明 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水	引き続き 実施 順次実施 H30~	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水	順次実施順次実施順次毎年	いて特集している。 ・河川管理者を中心とし、自治会等が参加	毎年実施	・県と合同で毎年実施
効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 ・災害・避難カード作成時に同席し、防災	施 引き続き実 施 引き続き実	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30) ・関係機関と連携して効果的な対応に協力	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップを市民便利帳」の改定時に併せて、特集ページを作成する。・市広報誌への掲載を検討する。 ・防災マップを更新、全自治会員へ配布(H30.4)・出前講座等で周知・説明 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水	引き続き 実施 順次実施 H30~	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水	順次実施順次実施順次毎年	いて特集している。 ・河川管理者を中心とし、自治会等が参加	毎年実施	知を図る。
効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 「災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周	行っていく。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施	施 引き続き実 施 引き続き実	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布 (H30) ・関係機関と連携して効果的な対応に協力	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップを市民を作成する。・市広報誌への掲載を検討する。・・防災マップを更新、全自治会員へ配布(H30.4)・出前講座等で周知・説明・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	引き続き 実施 順次実施 H30~ 順次毎年 実施	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次実施順次年年実施	・河川管理者を中心とし、自治会等が参加 した重要水防箇所の点検を実施している。	毎年実施 順次毎年 実施	・県と合同で毎年実施
効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 ・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加	施 引き続き実 引き続き実	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布 (H30) ・関係機関と連携して効果的な対応に協力	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップを市民を作成する。・市広報誌への掲載を検討する。・・防災マップを更新、全自治会員へ配布(H30.4) ・助前講座等で周知・説明 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	引き続き 実施 順次実施 H30~ 順次毎年 今後検討	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次実施順次毎年	・河川管理者を中心とし、自治会等が参加 した重要水防箇所の点検を実施している。 ・検討中	毎年実施 順次毎年 実施 今後検討	・県と合同で毎年実施・検討中
を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 「災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 ・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加 ・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸	施 引き続き実 引き続き実	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布 (H30) ・関係機関と連携して効果的な対応に協力	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップを市民を作成する。・市広報誌への掲載を検討する。・・防災マップを更新、全自治会員へ配布(H30.4)・出前講座等で周知・説明・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	引き続き 実施 順次実施 H30~ 順次毎年 実施	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	実施 順次実施 順次等施 「順次毎年実施 「今後検討 「H30年度以降	・河川管理者を中心とし、自治会等が参加 した重要水防箇所の点検を実施している。	毎年実施 順次毎年 実施 今後検討	・ 県と合同で毎年実施 ・ 検討中 ・ 市財政課・防災担当課と協議し、必要性
別果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 「災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 ・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加 ・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表	施 引き続き実 引き続き実	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布 (H30) ・関係機関と連携して効果的な対応に協力	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップを市民を作成する。・市広報誌への掲載を検討する。・・防災マップを更新、全自治会員へ配布(H30.4) ・助前講座等で周知・説明 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	引き続き 実施 順次実施 H30~ 順次毎年 今後検討	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次実施順次毎年	・河川管理者を中心とし、自治会等が参加 した重要水防箇所の点検を実施している。 ・検討中	毎年実施 順次毎年 実施 今後検討	・県と合同で毎年実施・検討中
別果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 「災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 ・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加 ・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表 ・洪水浸水想定区域図の公表	施 引き続き実 引き続き実	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布 (H30) ・関係機関と連携して効果的な対応に協力	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップを市民を作成する。・市広報誌への掲載を検討する。・・防災マップを更新、全自治会員へ配布(H30.4) ・助前講座等で周知・説明 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	引き続き 実施 順次実施 H30~ 順次毎年 今後検討	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	実施 順次実施 順次等施 「順次毎年実施 「今後検討 「H30年度以降	・河川管理者を中心とし、自治会等が参加 した重要水防箇所の点検を実施している。 ・検討中	毎年実施 順次毎年 実施 今後検討	・ 県と合同で毎年実施 ・ 検討中 ・ 市財政課・防災担当課と協議し、必要性
3 効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 5 「災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周 知・教育・訓練	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 ・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加 ・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表 ・洪水浸水想定区域図の公表 ・保川 (H31.3.29)	施 引き続き実 引き続き実 今後検討 順次実施	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布 (H30) ・関係機関と連携して効果的な対応に協力	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップを市民作成する。・市広報誌への掲載を検討する。・市広報誌への掲載を検討する。・防災マップを更新、全自治会員へ配布(H30.4)・出前講座等で周知・説明・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。・検討中	引き続き 実施 順次実施 H30~ 順次毎年 実施 今後検討	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	実施 順次実施 順次等施 「順次毎年実施 「今後検討 「H30年度以降	・河川管理者を中心とし、自治会等が参加 した重要水防箇所の点検を実施している。 ・検討中	毎年実施 順次毎年 実施 今後検討	・ 県と合同で毎年実施 ・ 検討中 ・ 市財政課・防災担当課と協議し、必要性
別果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 「災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周知・教育・訓練	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 ・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加 ・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表 ・洪水浸水想定区域図の公表 ・円(旧31.3.29) 相父川(R1生出水期前予定)	施 引き続き実 引き続き実 今後検討 順次実施	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布 (H30) ・関係機関と連携して効果的な対応に協力	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップを市民作成する。・市広報誌への掲載を検討する。・市広報誌への掲載を検討する。・防災マップを更新、全自治会員へ配布(H30.4)・出前講座等で周知・説明・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。・検討中	引き続き 実施 順次実施 H30~ 順次毎年 実施 今後検討	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	実施 順次実施 順次等施 「順次毎年実施 「今後検討 「H30年度以降	・河川管理者を中心とし、自治会等が参加 した重要水防箇所の点検を実施している。 ・検討中	毎年実施 順次毎年 実施 今後検討	・ 県と合同で毎年実施 ・ 検討中 ・ 市財政課・防災担当課と協議し、必要性
効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 「災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周知・教育・訓練	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 ・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加 ・バザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表・洪水浸水想定区域図の公表・2年(川(H31.3.29) 指及川(R1年出水期前予定) 岸渡川(H30.11.21)	施 引き続き実 引き続き実 今後検討 順次実施	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布 (H30) ・関係機関と連携して効果的な対応に協力	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップを市民作成する。・市広報誌への掲載を検討する。・市広報誌への掲載を検討する。・防災マップを更新、全自治会員へ配布(H30.4)・出前講座等で周知・説明・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。・検討中	引き続き 実施 順次実施 H30~ 順次毎年 実施 今後検討	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	実施 順次実施 順次等施 「順次毎年実施 「今後検討 「H30年度以降	・河川管理者を中心とし、自治会等が参加 した重要水防箇所の点検を実施している。 ・検討中	毎年実施 順次毎年 実施 今後検討	・ 県と合同で毎年実施 ・ 検討中 ・ 市財政課・防災担当課と協議し、必要性
3 効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施 5「災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 ・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加 ・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表 ・洪水浸水想定区域図の公表 ・円(旧31.3.29) 相父川(R1生出水期前予定)	施 引き続き実 引き続き実 今後検討 順次実施	明会を実施する。 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布 (H30) ・関係機関と連携して効果的な対応に協力	引き続き実施	・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップを市民作成する。・市広報誌への掲載を検討する。・市広報誌への掲載を検討する。・防災マップを更新、全自治会員へ配布(H30.4)・出前講座等で周知・説明・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。・検討中	引き続き 実施 順次実施 H30~ 順次毎年 実施 今後検討	H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	実施 順次実施 順次等施 「順次毎年実施 「今後検討 「H30年度以降	・河川管理者を中心とし、自治会等が参加 した重要水防箇所の点検を実施している。 ・検討中	毎年実施 順次毎年 実施 今後検討	・ 県と合同で毎年実施 ・ 検討中 ・ 市財政課・防災担当課と協議し、必要性

本的な事	1 概ね5年(H30~H32)で実施する取組 項の柱						実施で	よる機関					
項目	カテゴリ	富山県実施内容	時期	富山地方気象台 実施内容	時期	高岡市実施内容	時期	砺波市 実施内容	時期	小矢部市 実施内容	時期	南砺市	時期
	住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための	た脚の分割を ・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して自主防災組織の資機材整備や避難訓練等を支援	引き続き実	美施 //谷	阿朔	・自主防災組織等の結成率の向上を図る。 ・住民の防災意識を高めるため、出前講 座・水防災訓練を実施する。 ・自主防災組織の要となる防災士を育成する。 。	順次実施	・住民の防災意識を高めるために研修会の 実施や防災士による訓練指導等の実施	順次実施	天地()谷 ・自主防災組織への情報提供を進める。	引き続き毎年実施	夫郎内谷 ・平成28年3月29日に防災士の有志により「防災こころえ隊」を設立した。当防 は、自主防災組織からの派遣要請に基づ き、各種訓練に参加のうえアドバイスをす ることで、自主防災組織の活性化につな がつている。今後も積極的に隊の活動を推 進していくことで、地域の防災力向上を図 る。	順次実施
	自主防災組織の充実					・自主防災組織等の結成 H30実績 自主防災組織1件 自主防災組織2番格協議会4件 防災に係る出前講座を実施 H30実績 116件(自治会等) ・防災土育成事業(防災講演会)を実施 H31.2.24 県西部6市と合同実施	順次実施	・市総合防災訓練を実施(水害想定) H30.9.2 市総合防災訓練	H30~		A // IA = I	Mail to	
18	水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・県HPに問い合わせ窓口を設置(県) ・相談窓口をHPに掲載	引き続き実施引き続き			・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	今後検証
日油か	つ確実な避難行動のための取組		実施										
	版伝達、避難計画等に関する取組	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や	I順为宝体	I		1				I		1	
19		家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表											
	想定最大規模降雨による浸水想定区域図、浸水継続時間、 家屋倒壊等氾濫想定区域等の作成・公表	・洪水浸水想定区域図の公表 干保川 (H31.3.29) 祖父川 (R1年出水期前予定) 岸渡川 (H30.11.21) 横江宮川 (H30.11.21) 旅川 (H30.8.17)	H30~										
20		・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や 家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	順次実施			・洪水ハザードマップの見直しを行い、周知・広報を実施する。	平成30年度 より実施	・新たな洪水ハザードマップの策定	H30年度実施	・新たな洪水ハザードマップの策定	H31	過去に作成したハザードマップの見直し (最大浸水想定区域、避難計画を反映)	H30
	新たな洪水ハザードマップの策定 (広域的な避難計画等も 反映)	・洪水浸水想定区域図の公表 干保川 (H31.3.29) 祖父川 (R1年出水期前予定) 岸渡川 (H30.11.21) 横江宮川 (H30.8.17)	H30∼			・新たなハザードマップを策定中 (R1年度公表予定)	H30∼	・新たな洪水ハザードマップの策定 (H31.4.25公表)	H30	・新たな洪水ハザードマップを策定 (H30年度)	H30~	・新たな洪水ハザードマップを策定 (H31. 4公表)	H30
21		・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や 家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	順次実施			・洪水ハザードマップの見直しを行い、周 知・広報を実施する。	平成30年度 より実施	・市内全戸、事業所などへ洪水ハザード パップを配布・周知する。	H31実施	・新たなハザードマップの各戸配布・周知	H32	・新たなハザードマップの各戸配布・周知	H30
	新たなハザードマップの各戸配布・周知 (ハザードマップポータルサイトや地図情報等の活用な ど)	・洪水浸水想定区域図の公表 千保川 (H31.3.29) 祖父川 (R1年出水期前予定) 岸渡川 (H30.11.21) 横江宮川 (H30.11.21) 旅川 (H30.8.17)	H30~			・新たなハザードマップを策定中 (R1年度公表予定)	H30~	・洪水ハザードマップの配布・周知 (H31. 4. 25公表 広報誌、市HP)	H30∼R1	・新たな洪水ハザードマップを策定 (H30年度策定、R1年度配布予定)	H30~R1	・新たな洪水ハザードマップを配布 (H30年度策定、H31.5全戸配布)	H30∼R1
22		・富山県総合防災システムにより、①県と参加可能な国・市町村・防災関係機関等がリアルタイムで閲覧、書込み、情報共有を実施。②また、Lアラート等を活用し、報道機関等との連携により住民等へ被害情報等を迅速・的確に提供。・河川情報システムの改良・携帯端末向けのシステムの実施・河川監視カメラの設置(水位計設置筒所)・簡易水位計の設置・一般向けの緊急速報メール配信の実施	引き続き	・ 気象警報・注意報等を発表し、現象ごと に警戒、注意期間及び雨のピーク時間帯、 量などの予想最大値を周知し、必要に応じて、自治体、関係機関に情報伝達(ホット ライン)を実施	引き続き	・高岡市防災情報メールについて、更なる 普及のため周知・広報を実施する。また、 エリアメール、CATVのL字放送、コ ミュニティFMの割り込み放送を活用す る。	引き続き 実施	・登録制である砺波市緊急メールについて、更なる普及のため市民に周知及び広報を行う。	順次整備	・登録制メールの普及	H28年度から 実施	 ・携帯電話及びパソコンのメールを利用した緊急メールの登録について、更なる普及を目指しPRしていく。 ・既存の防災行政無線をデジタル化するとともに、雑聴エリア解消にむけて屋外拡声子局の増設も行う。 ・南砺市防災アプリを開発し、気象情報や避難情報の伝達を図る。 	
		・河川監視カメラのHP公開6基 干保川(志貴野橋、市場橋)2基 祖父川(樋詰橋)1基 岸渡川(岸渡川鉄道協)1基 横江宮川(宮川橋)1基 旅川1基(柴田屋橋) ・危機管理型水位計設置10基 小矢部川水系10基(野川、大門川ほか)	引き続き実施	・大雨が予想された場合、富山県等に 情報伝達を実施 (H30)	引き続き 実施	・市防災情報メールについて市HPで周知 ・出前講座等の際に登録を呼びかけ	順次実施					・運用開始済	整備済
	避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	・市町村が作成するタイムラインに必要な 水位情報等の提供	順次実施	・富山河川国道事務所、富山県及び関係市 町村と共同で整備・改善を支援 ・大雨災害時の対応等の聞き取り調査	引き続き実施引き続き	情報伝達手段の整備(システムの再構築)については、現在検討中。	引き続き 実施	・防災行動計画(タイムライン)は策定済み。河川管理者及び関係機関と連携して改善等を図る。	引き続き実施	・作成済みタイムラインの改善を実施	H28年度から 実施	・防災計画のタイムライン策定時期と合わせ水防計画において策定する。	順次実
		1904 - N. 45 - 4 85 (4 / 5 / 5)		H30 南砺市で実施	実施	100 1 2 7 10 7 10 7 10 7 10 7 10 7 10 7		1001 - 7 (-1001)				100 1 2 7 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
24	中小河川において、相当な被害が発生する可能性を予見した場合、首長等への直接の情報提供(ホットライン)の実	・H29から取組みを開始(試行)	引き続き 実施	・主な河川を対象とした流域雨量指数による危険度分布の能動的ホットライン	実施	・H29から取組みを開始(試行)	引き続き 実施	・H29から取組みを開始(試行)	引き続き 実施	・H29から取組みを開始(試行)	引き続き 実施	・H29から取組みを開始(試行)	引き続 実施
	施	・試行運用(H29~) H30実績 なし	引き続き 実施	・大雨が予想された場合、富山県等に 情報伝達を実施(H30)	引き続き 実施	・試行運用(H29~) H30実績 なし	引き続き 実施	・試行運用(H29~) H30実績 なし	引き続き 実施	・試行運用(H29~) H30実績 なし	引き続き 実施		
25		・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水総続時間等)の提供 ・要配慮者利用施設管理者向け説明会への 支援	引き続き 実施			・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。 ・家屋倒壊危険区域内の要配慮者施設へさらなる情報伝達ツールを検討する。	H29年度から 順次実施	・浸水想定区域内(50cm以上)の要配慮者利用施設について、避難確保計画及び避難訓練の実施を促進する。	H30年度から 順次実施	· 検討中	今後検討	浸水想定区域内の要配慮者施設について、 避難確保計画及び避難訓練の実施を促進す る。	
	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・洪水浸水想定区域図の公表 干保川 (H31.3.29) 祖父川 (R14田水期前予定) 岸渡川 (H30.11.21) 横江宮川 (H30.11.21) 焼川 (H30.8.17) ・施設管理者向け説明会で説明 H30.5.16 南砺市説明会	H30∼			・施設管理者へ資料提供及び説明会を実施 H30.4〜6 ・市内対象施設218施設のうち24施設で 避難確保計画を作成済 (H31.3末時点)	H29~	・市内対象施設14施設のうち14施設で 避難確保計画を作成済 うち、10施設で避難訓練を実施 (H31.3末時点)	H30∼	・市内対象施設27施設のうち19施設で 避難確保計画を作成済 うち、5施設で避難訓練を実施 (H31.3末時点)		・施設管理者向け説明会を開催 H30,5,16 説明会 ・市内対象施設5施設のうち5施設で 避難確保計画を作成済 うち、3施設で避難訓練を実施 (H31,3末時点) ・ハザードマップ更新による追加対象 は22施設	H30
26		- 浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及 び家屋倒壊危険区域の公表	順次実施			・家屋倒壊危険区域等より、立ち退き避難が必要な区域を検討する。 ・遊難所ごとに水害時の浸水深や避難の可 否について確認を行う。 ・広域避難のほかに垂直避難等柔軟な避難 方法検討する。	H28年度から 順次実施	・浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険 区域等により、立ち退き避難が必要な区域 を検討する。	H28年度から 順次実施	最短到達時間によっては垂直避難をする ことも考慮し検討		・浸水想定区域図等の公表を踏まえ、避難 所ごとに水害時の浸水深、避難の可否、及 び経路について検証していく。	
	立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	・洪水浸水想定区域図の公表 千保川 (H31.3.29) 祖父川 (R1年出水期前予定) 岸渡川 (H30.11.21) 横江宮川 (H30.11.21) 旅川 (H30.8.17)	H30~			・洪水ハザードマップの改定作業に 合わせ検討中	H30~					・新たな洪水ハザードマップを策定 (H31.4公表)	H30

な事項 [目	項の柱	富山県		富山地方気象台		高岡市	美胞	[↑] る機関		小矢部市		南砺市	
	カテゴリ	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時
27		・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	順次実施			・県西部6市と連携し、広域避難計画を検討する。	平成28年度 から順次実 施		平成28年度 から順次実 施	・県、関係市と連携し検討		・広域避難の現実性について、隣接市とも 協議しながら検討していく。	s 平成2 から』 施
180	参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	・洪水浸水想定区域図の公表 千保川 (H31.3.29) 祖父川 (R1年出水期前予定) 岸渡川 (H30.11.21) 横江宮川 (H30.11.21) 旅川 (H30.8.17)	H30~			・広域避難について検討	H30∼						
18		・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順次実施			・洪水ハザードマップの見直しを行い、周 知・広報を実施する。	H30年度から 実施	・新たなハザードマップの策定	H30年度以降 順次実施	・洪水ハザードマップを更新し、全戸配布 することにより周知		・洪水ハザードマップの見直しを行い、全 戸配布により周知する。	H30
	広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップ の策定・周知	・洪水浸水想定区域図の公表 千保川 (H31.3.29) 祖父川 (R1年出水期前予定) 岸渡川 (H30.11.21) 横江宮川 (H30.11.21) 旅川 (H30.8.17)	H30~			・洪水ハザードマップを策定中	H30~	・ハザードマップを作成中 (H31.4公表予定)	H30~			・新たな洪水ハザードマップを策定 (H31.4公表)	H30
 29 기	水位予測の検討及び精度の向上			・大雨・洪水警報等の評価及び精度の向上・災害補足状況の検証と洪水警報等の基準	順次実施								
	小規模の流域・急流河川に対応する精度の高い降雨・洪水 予測の実施			の変更 ・ 災害補足の状況と洪水警報等の基準の検証の実施 (H30)	引き続き 実施								
0 5	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」 等の改善			予測精度等の改善を検証 ・災害発生状況などと危険度の検証実施	引き続き 実施 引き続き								
	濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等 方活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組	の取組		(H30)	実施								
בעו	17月期ツ刈竿16火い小奶体利の強化に関する联組	・情報伝達訓練の実施	引き続き	・情報伝達訓練等への支援	引き続き	・河川管理者と市、消防本部、消防団の連		・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、	引き続き	・河川管理者が行う水防訓練において、市		・市防災訓練時に併せて、訓練できないか	9 3 4 4
	水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情 報伝達訓練の実施		美 施		実施	絡体制を確認し、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。 ・首長が参加する本部運営訓練、市職員の 参集訓練を実施する。 ・消防団への連絡体制の強化として、災害 メール、携帯無線、消防団幹部への電話連 絡などを実施する。	毎年実施	河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	毎年実施	長も参加するものとする。	毎年実施	検討し、実施に向けて取組む。	#
L						・洪水対応演習(情報伝達訓練)に参加 H30. 4. 20	引き続き 毎年実施					・市総合防災訓練を実施 H30.8.26 南砺市総合防災訓練	引毎
		・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き 実施	・重要危険箇所等の合同巡視を実施。	引き続き 実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇 所等の合同巡視を実施する。	引き続き 毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所 等の合同巡視を行う。	引き続き 毎年実施	・河川管理者を中心とし、自治会等が参加 した重要水防箇所の点検を実施する。	引き続き 毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で行われる、 重要水防箇所等の合同巡視に参加する。	引
	自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの 高い箇所の合同巡視の実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施 H30.5.22 (南砺市と合同)	引き続き 実施			・河川パトロールの実施 H30.5.25 ・沿川市町、沿川自治会と共同で 重要水防箇所等の点検を実施 H30.6.7	引き続き 毎年実施						
3	関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	・県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実動訓練等を実施 ・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き実施	・要請による訓練への支援・・異防災訓練に参加・	引き続き実施引き続き	・毎年、出水期前に水防 訓練を実施 ・毎年行っている実働水防訓練の内容を検 討する。 ・水防訓練を実施	引き続き毎年実施引き続き	・関係機関が連携した水防実働訓練等の検 討する	引き続き 毎年実施	・毎年防災訓練を実施 ・市総合防災訓練を実施	引き続き毎年実施引き続き	・ 市総合防災訓練時に、洪水を想定した連 絡体制や水防訓練を実施 ・ 市総合防災訓練を実施	9 年
				H30. 9. 29 富山市総合防災訓練	実施	H30. 6. 2 庄川左岸河川敷	毎年実施			H30.9	毎年実施	H30. 8. 26 南砺市総合防災訓練	毎
ļ						・水防活動の担い手となる消防団員の募集 を促進する。	引き続き 実施	・広報誌やホームページで消防団員や協力 団体の募集を行う。	引き続き実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集 を促進する。	引き続き 実施	・他市町村の実施状況を参考に、市防災担 当課と協議しながら対応を検討する。	3 引実
	水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・ 指定を促進					・SNSでの消防団の活動を紹介 H30 ・イベント等でチラシを配布 H30	H30∼						
-		・水防技術講習会に参加	引き続き 実施			・水防技術講習会に参加	引き続き 実施	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施	・水防技術講習会に参加	引き続き 毎年実施	・水防技術講習会に参加	引実
Ξ	国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	・水防技術講習会に参加 H30.10.16 1名	引き続き 実施			・水防技術講習会に参加 H30, 10, 16 1名 H30, 11, 9 1名	引き続き 実施						
l		・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順次実施			_							Ť
J	大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	・洪水浸水想定区域図の公表 干保川(H31.3.29) 祖父川(R1年出水期前予定) 岸渡川(H30.11.21) 横江宮川(H30.11.21)	H30∼										
,	地域の事業者による水防支援体制の検討・構築	旅川 (H30. 8. 17)				・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	今
L	心域の争乗者による小的又抜体前の使制・構架 B盧者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取れ	<u>4</u>											土
	-		順次実施	要配慮者利用施設による避難確保計画等の 作成を行おうとする際の支援。	引き続き 実施	進を行う。	H29年度から 順次実施	・要配慮者利用施設における避難計画策定の推進を行う。	H28年度から 順次実施	・要配慮者施設における避難計画策定の推 進を行う。	H28年度から 順次実施	ら ・要配慮者施設における避難計画策定の推 進を行う。	É H2
5		가까게 해구 다음 때 소 / · · ·	H30∼			・家屋倒壊危険区域内の要配慮者施設へさらなる情報伝達ツールを検討する。	1100	ナウヤ色 (1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	H30∼	ナカも4.4 体 30.07 体 30.0 こと 1.0 体 30.0 で		长乳佐田老台山兴田人大田 州	
	要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援 を実施	- 洪水浸水規定区域図の公表 千保川 (H31.3.29) 祖父川 (R1年出水期前予定) 岸渡川 (H30.11.21) 横江宮川 (H30.11.21) 施川 (H30.8.17) - 施設管理者向け説明会で説明 H30.5.16 南砺市説明会				H30.4〜6 ・市内対象施設218施設のうち24施設で 避難確保計画を作成済 (H31.3末時点)		・市内対象施設(1施設のうち14施設で 避難確保計画を作成済 うち、10施設で避難訓練を実施 (H31.3末時点)		市内対象施設27施設のうち19施設で 避難確保計画を作成済 うち、5施設で避難訓練を実施 (H31.3末時点)	A 44 4A=1	・施設管理者向け説明会を開催 H30.5.16 説明会 ・市内対象施設5施設のうち5施設で 避難確保計画を作成済 うち、3施設で避難訓練を実施 (H31.3末時点) ・ハザードマップ更新による追加対象 は22施設	
9		・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順火天施			・ハザードマップを活用し、大規模工場等 への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発 活動を行う。	実施	· 探討中	今後検討	・検討中	今後検討	・ハザードマップを活用し、大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う。(H31年度~)	H2 J順
ブ重	大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活 動	- 洪水浸水想定区域図の公表 千保川 (H31.3.29) 祖父川 (R1年出水期前予定) 岸渡川 (H30.11.21) 横江宮川 (H30.11.21) 旅川 (H30.8.17)	H30~			・洪水ハザードマップの改定作業に合わせ 検討 (H30.4~)	H30~					・新たな洪水ハザードマップを策定 (H31.4公表)	H31

様式-1 概ね5年(H30~H32)で実施する取組(千保川・旅川等グループ)

	1 例ねり午(100~102) (天肥する取組	(1体川 派川寺ノル フ)											
	な事項の柱						実施す	る機関					
I	項目	富山県		富山地方気象台		高岡市		砺波市		小矢部市		南砺市	
	カテゴリ	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
	40	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順次実施			・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	今後検討
	大規模工場における情報連絡体制の確立及び自衛水防活動 の取組	・洪水浸水想定区域図の公表 千保川 (H31.3.29) 祖父川 (R1年出水期前予定) 岸渡川 (H30.11.21) 横江宮川 (H30.11.21) 旅川 (H30.8.17)	H30~										
	■救援・救助活動の効率化に関する取組												
	41	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順次実施			・受援計画を策定し、広域支援拠点等の配 置等を検討する。	H29年度から 検討	・広域支援拠点等の配備計画を検討	H28年度から 検討	・新たな浸水想定に基づき現行の地域防災 計画等の見直しを検討する。	H28年度から 検討	・広域支援拠点等の配置計画の検討	H28年度から 検討
	大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置 計画の検討を実施	・洪水浸水想定区域図の公表 千保川 (H31.3.29) 祖父川 (R1年出水期前予定) 岸渡川 (H30.11.21) 横江宮川 (H30.11.21) 旅川 (H30.8.17)	H30∼			・富山県受援体制検討会に参画 ・高岡市受援計画策定に向け情報収集	H30~						
	■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施	1										1	
	42 氾濫水を迅速に排水するため、排水施設の情報共有、排水 手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画 (案)を検討・作成	・排水ポンプ車設置可能箇所の検討	今後検討			・排水施設等の情報を確認・共有し、排水 ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から 検討	・大規模水害を想定した排水計画(案)の 検討を実施	H28年度から 検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水 ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から 検討	・大規模水害を想定した排水計画(案)の 検討を実施	H28年度から 検討
	43 地下街が浸水した場合の排水計画(案)の検討を実施					・地下街への浸水を想定した避難計画及び 排水計画(案)の必要性を検討する。	H28年度から 検討						
						・必要性を検討	H30∼						A = -1
	44 排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	・連絡体制の確認	順次実施			・整備済みである排水ポンプ車出動要請の 連絡体制の確認を行う。	引き続き 毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認 を実施		・整備済みである排水ポンプ車出動要請の 連絡体制の確認を行う。	引き続き 毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制等を作 成する。	引き続き 毎年実施
	13がハンノキの口刺女品の妊娠性間寸 6 正備					・洪水対応演習にて実施 H30. 4. 20	引き続き 毎年実施						
	45 排水計画(案)に基づき、関係機関が連携した排水実働訓 練の実施	・ 水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施			・水防訓練と合同で実施する。 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加する。	順次実施	・水防訓練と合同で訓練を検討	順次実施	・ 河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施
	RAY X /III					・水防訓練を実施 H30.6.2 庄川左岸河川敷	引き続き 毎年実施						

な事項の 頁目	の柱				宝体:	する機関							
		富山県	n+ ±n	富山地方気象台		高岡市	n+ 44n	砺波市	n+ 44n	小矢部市	D+ 440	南砺市	1 -
ド対策の		実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	H
貫洪水を	・河川内で安全に流す対策		Tara za a				1				1		
パイ	透対策	・洪水を河川内で安全に流すためのハード 対策を推進する。	引き続き 実施										
	下能力対策	Lab fee den 113	71 + /+ +										
	食・洗掘対策 防整備	【小矢部川】 伐木 L=0.2km(南砺市前田地内)	引き続き実施										
霞坝	堤の維持・保全	【山田川】	J. 115										
	工の整備 水対策	河道浚渫 L=0.15km(南砺市院林地内) 河道浚渫 L=0.25km(南砺市上川崎地内)											
河道	道管理	为是及从 [2-0. 200m(南侧市工川副记F3)											
	ムによる洪水調節 水をバイパス等で排水する施設の整備												
河道	道浚渫												
	管理型ハード対策 防天端の保護	・越水が発生した場合でも決壊までの時間	(編)H28年度	₹I						I			
	法尻の補強	を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対											
		策を推進する。	備										
■次数数件分子													
型(共生1)	期、小別/回期、外小/回期に良り ② 至金寸の 正開	・新技術に関する情報を収集し、検討する	今後検討			・河川管理者と連携を図り、水防資機材配	引き続き	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資	H28年度から	・河川管理者と連携し水防資機材の配備状	H28年度から	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資	H28年
3						備状況の確認や整備を実施する。	実施	機材の配備状況の確認を行う。	検討	況の確認を実施する。	検討	機材の配備状況の確認を行う。	検討
新技	技術を活用した水防資機材の検討及び配備									・河川管理者と合同巡視を実施	引き続き		
										H30. 5	実施		
		・河川監視カメラの設置(水位計設置箇	引き続き										
4		所) ・簡易水位計の設置	実施										
			71.5.54										
		・河川監視カメラの設置1基 山田川 1基(桜橋)	引き続き実施										
	水時の状況を把握し、円滑な避難活動や水防活動を支援 るため、雨量計、水位計(簡易水位計を含む)、河川監	・河川監視カメラのHP公開3基	X118										
	るため、雨重計、水位計(間易水位計を含む)、河川監 カメラや量水標等の基盤の整備	子撫川(宮島橋)1基 ※江川(下御喜播)1月											
	****	渋江川(下御亭橋)1基 小矢部川2基(川崎橋、新福光橋)											
		山田川1基(桜橋)											
		・危機管理型水位計設置5基 小矢部川水系5基(明神川、池川ほか)											
		- SAMPLEY OF SAMPLEY ABUILDING											
_						・河川沿川における同報系防災行政無線の 整備を検討する。	引き続き	・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	防災行政無線のデジタル化を図り、放送内容をメール及び市のホームページと連携し	
5						正明でではりがつ。	大ル					谷をメール及び市のボームペーシと連携し 情報伝達を図る。	川州
防災	災行政無線や防災ラジオ等のデジタル化による改良					・情報伝達に係る効果的な手段	H30∼					・運用開始済	H29-
						(防災行政無線を含む)の整備に							
		14-20 Mg / BB	A (// IA = 1			ついて検討 (H30.4~)	A /// IA = I	10=1-1	A /// 1A = 1	10-11-1	A /// 1A = 1	10-11-	
6	************************************		今後検討			· 検討中	今後検討	・検討中	今後検討	·検討中	今後検討	・検討中	今後
浸力	水時においても災害対応を継続するための施設の整備及 非常用発電装置等の耐水化	0.				・非常用発電装置と非常時の本部機能に	H30∼						
						ついての現状確認を実施 (H30.4~)							
7 浸烫	透ますの設置					· 検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	今後
	庭貯留の実施												
		・各戸貯留・浸透施設の設置に対する支援	今後検討			・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	今後;
		制度の検討・水田貯留に対する支援制度の検討											
水田	田貯留に対する支援制度の確立	・小山川田に対する文版制度の検討											_
		- 	継続実施			用水管理者と連携して、降雨時の水門管理	引き続き	 ・検討中	今後検討	 ・検討中	今後検討	 ·検討中	今後
9		改良区宛に事前点検や注意喚起の通知	12.002.00			の徹底を図っている。	実施						
農業	業用排水路に設置されている水門管理の徹底	1				・用水管理者と連携して、降雨時の水門							- 1
	,						引き続き						
	ì					管理を徹底	別き続き実施						
	の主な取組						実施						
特有の	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組						実施						
特有の 平時か	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 	・水害の歴史、洪水特性の周知理解促進の	今後検討				別さ続き実施	・検討中	今後検討	一、検討中	今後検討	・検討中	一
特有の 平時か 10 水害	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作	・水害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作成・配布	今後検討			管理を徹底	実施	・検討中	一一一一	・検討中	今後検討	・検討中	今後
特有の 2時か 0 水割	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 	ための副教材の作成・配布		- 白込仕の数容柔思点し連修! 林田がた	7] 土⁄丰土	管理を徹底	字施						
特有の 平時か 10 水害	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・配布	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に	今後検討 引き続き 実施	・自治体の教育委員会と連携し、効果的な水防の避難や訓練など支援	引き続き実施	・検討中 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	字施	・検討中・出前講座等で防災教育を実施する。	今後検討 引き続き 実施	・出前講座等で要望があった場合、防災教		・小・中学校からの依頼により、防災教育	
特有の 平時か 10 水害 成 11	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・配布	ための副教材の作成・配布		・自治体の教育委員会と連携し、効果的な水防の避難や訓練など支援		・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。・・富山河川国道事務所と合同で防災学習	字施		引き続き		引き続き		
特有の 平時か 10 水害 成 11	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・配布	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に				・検討中 ・ 小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・ 富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施	実施 今後検討 引き続き 実施		引き続き	・出前講座等で要望があった場合、防災教	引き続き	・小・中学校からの依頼により、防災教育	
特有の 平時か 10 水害 成 11	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・配布	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。	引き続き実施	水防の避難や訓練など支援	実施	・検討中 ・水中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 H30.7.19 万葉小学校5年生約30人	今後検討 引き続き実施 引き続き	・出前講座等で防災教育を実施する。	引き続き実施	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。	引き続き実施	・小・中学校からの依頼により、防災教育 全般として実施している。	引き実施
特有の 平時か 10 水害 成 11	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・配布 中学校等における水災害教育を実施	ための副教材の作成・配布 - 出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 - 出前講座等を活用した啓発を積極的に - 出前講座等を活用した啓発を積極的に	引き続き実施引き続き	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説	実施引き続き	・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 130.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説	実施 今後検討 引き続き 引き続き 実施	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する	引き続き実施	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説	引き続き実施	・小・中学校からの依頼により、防災教育	引き実施
特有の 平時か 10 水害 成 11	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・配布 中学校等における水災害教育を実施	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。	引き続き実施	水防の避難や訓練など支援	実施	・検討中 ・水中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 H30.7.19 万葉小学校5年生約30人	今後検討 引き続き実施 引き続き	・出前講座等で防災教育を実施する。	引き続き実施	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。	引き続き実施	・小・中学校からの依頼により、防災教育 全般として実施している。	引き実施
特有の 水 10 水 成 11 小 中 11 11 12	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・配布 中学校等における水災害教育を実施	ための副教材の作成・配布 - 出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 - 出前講座等を活用した啓発を積極的に - 出前講座等を活用した啓発を積極的に	引き続き実施引き続き	水防の避難や訓練など支援 ・田前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」	実施引き続き	・検討中 ・水・大・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水	実施 今後検討 引き続き 引き続き 引き続き 引き続き 引き続き	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施・出前講座等を実施	引き続き実施引き続き	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説	引き続き実施	・小・中学校からの依頼により、防災教育 全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施	引きが見きない。
特有の 平時か 10 水恵・ 11 小中 12	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・配布 中学校等における水災害教育を実施	ための副教材の作成・配布 - 出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 - 出前講座等を活用した啓発を積極的に - 出前講座等を活用した啓発を積極的に	引き続き実施引き続き	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施	実施引き続き実施	管理を徹底 ・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 H30.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施	字施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施	引き続き実施引き続き実施	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説	引き続き実施	・小・中学校からの依頼により、防災教育 全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施	引き施引き施
特有の 水 10 水 成 11 小 中 11 11 12	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・配布 中学校等における水災害教育を実施	ための副教材の作成・配布 - 出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 - 出前講座等を活用した啓発を積極的に - 出前講座等を活用した啓発を積極的に	引き続き実施引き続き	水防の避難や訓練など支援 ・田前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」	実施引き続き	・検討中 ・水・大・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水	実施 今後検討 引き続き 引き続き 引き続き 引き続き 引き続き	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施・出前講座等を実施	引き続き実施引き続き	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説	引き続き実施	・小・中学校からの依頼により、防災教育 全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施	引きが見きない。
特有の 平時か 10 水恵・ 11 小中 12	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・配布 中学校等における水災害教育を実施	ための副教材の作成・配布 - 出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 - 出前講座等を活用した啓発を積極的に - 出前講座等を活用した啓発を積極的に	引き続き実施引き続き	水防の避難や訓練など支援 ・田前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	管理を徹底 ・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 H30.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施	実施 今後検討 引き続ききいい。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施・出前講座等を実施	引き続き	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説	引き続き実施引き続き	・小・中学校からの依頼により、防災教育 全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施	引き施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
特有の で時か の成・ 1 小中	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・配布 中学校等における水災害教育を実施 前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・ 山前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・ 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で	引き続き実施引き続き	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 H30.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績56件	実施 今後検討 引き続ききいい。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する 説明を実施 ・出前講座等を実施 H30実績 48件	引き続き	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。	引き続き実施引き続き	・小・中学校からの依頼により、防災教育全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名	引表
特有の 小水成 小水成 1 小 2 出	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 書の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作・配布 ・配布 中学校等における水災害教育を実施 前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・ 山前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・ 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広	引き続き実施引き続き	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 H30.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。 ・「防災でップ&市民便利帳」の改定時に	実施 今後検討 引き続ききいい。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する 説明を実施 ・出前講座等を実施 H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広	引き続き	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・毎年6月広報で大雨による災害対策につ	引き続き実施引き続き	・小・中学校からの依頼により、防災教育 全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名	引また
特有の 水成	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・配布 中学校等における水災害教育を実施 前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・ 山前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・ 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で	引き続き実施引き続き	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 H30.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップ&市民便利帳」の改定時に併せて、特集への認整作検討する。	実施	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する 説明を実施 ・出前講座等を実施 H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広	引き続き	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・毎年6月広報で大雨による災害対策につ	引き続き実施引き続き	・小・中学校からの依頼により、防災教育 全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名	引表
特有のか 水成 小 1 2 出 3 効果 4 中 5 中 6 中 7 中 8 中 9 中 9 中 9 中 9 中 9 中 1 0 1 0 2 0 3 0 3 0 4 0 5 0 6 0 7 0 8 0 9 0 9 0 1 0 1 0 1 0 2 0 2 0 3 0 4 0 5 0 6 0 7 0 8 0 9 0 9 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 2 0 2 <	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 書の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・・配布 中学校等における水災害教育を実施 前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催 果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・ 山前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・ 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で	引き続き実施引き続き	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	・検討中 ・水時中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 130.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 130実績56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配氏便利帳」の改定時に併せて、特集ページを作成する。 ・市広報誌への掲載を検討する。 ・市広報誌への掲載を検討する。 ・市広報誌への掲載を検討する。 ・市広報誌への掲載を検討する。	実施 今後検討 引き続ききいい。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。 引き施・きをいる。	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する 説明を実施 ・出前講座等を実施 H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広	引き続き	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・毎年6月広報で大雨による災害対策につ	引き続き実施引き続き	・小・中学校からの依頼により、防災教育全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名	引表的
持有のか 水成 小 1 小 2 3 効 3 小	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 書の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・・配布 中学校等における水災害教育を実施 前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催 果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・ 山前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・ 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で	引き続き実施引き続き	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 H30.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップ&市民便利帳」の改定時に併せて、特集への認整作検討する。	実施	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する 説明を実施 ・出前講座等を実施 H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広	引き続き	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・毎年6月広報で大雨による災害対策につ	引き続き実施引き続き	・小・中学校からの依頼により、防災教育全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名	引表的
特有の 水成	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 書の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・・配布 中学校等における水災害教育を実施 前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催 果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・ 山前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・ 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で	引き続き実施引き続き	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施	実施 今後検討 引き続き 引き施 引き施 引き施 引き施 引き施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する 説明を実施 ・出前講座等を実施 H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報や資料を作成・配布	引き続きまきまりまた。	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。	引き続き	・小・中学校からの依頼により、防災教育全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名 ・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。	引東 引放 有水 原义
持 方<	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 書の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・・配布 中学校等における水災害教育を実施 前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催 果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 作成・配布	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成)	引き続き	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 H30.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 H30実績56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。・「防災マップページを作成する。・「防災マップページを作成する。・「防災マップページを作成する。・・防災マップで更新、全自治会員へ配布(H30.4) ・ 助策で等で周知・説明	実施 今後検討 一字を検討 子を続きを 子を続きを 子を続きを 子を続きを 子を 子を 子を 子を 子を 子を 子を	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・おります。	引き続き	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。	引き続き	・小・中学校からの依頼により、防災教育全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名 ・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。	引度 引度 有
特存の の 水成 小人 日本 1 2 3 4 4	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組から住民等への周知・教育・訓練に関する取組書の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作い配布・配布・・配布・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に 行っていく。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で 作成)	引き続き	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施	実施 今後検討 引き続き 引き施 引き施 引き施 引き施 引き施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する 説明を実施 ・出前講座等を実施 H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報や資料を作成・配布	引き続きまきまりまた。	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。	引き続き	・小・中学校からの依頼により、防災教育全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名 ・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。	引力 引力 有力
特存の の 水成 小人 日本 1 2 3 4 4	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 書の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・・配布 中学校等における水災害教育を実施 前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催 果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 作成・配布	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施	引き続きき	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 130.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 130実績56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成。も市民便和帳」の改定時に併せて、報告への掲載を検討する。・防災マップを開発である。・防災マップを開発を作成を開発を作成がある。・防災マップで開発を指針を作成がある。・防災マップで開発を検討する。・防災マップで開始を指針を行いている場合では、1500人の関連を検討する。・防災マップでは、150人の関連を検討する。・防災マップで開始を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表	実施 今後検討 引き施 引き施 き施 き施 き施 書施 また 日表施 また H30~ 順次 毎年	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・おります。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	引き施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・田前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・田前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。 ・河川管理者を中心とし、自治会等が参加した重要水防箇所の点検を実施している。	引き続き 引き続き 引き続き 事を 事を 事を 事を 事を 事を 事を 事を 事を を りを も りを も	・小・中学校からの依頼により、防災教育全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名 ・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。	引表 引表 有表 原义
特度の 小成 小成 小水成 小 出 3 4 5	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 市ら住民等への周知・教育・訓練に関する取組 書の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作・配布 中学校等における水災害教育を実施 前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催 果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料作成・配布 治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇の共同点検の実施 災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・ 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・ 重要水防箇所等の共同点検の実施	引き続きき	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施	実施 今後検討 引き続き 引き施 引き施 引き施 引き施 引き施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する 説明を実施 ・出前講座等を実施 H30実績 48件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広 報や資料を作成・配布	引き続きまきまりまた。	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。	引き続き	・小・中学校からの依頼により、防災教育全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名 ・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。	引きが、可実が、可能が、可能が、可能が、可能が、可能が、可能が、可能が、可能が、可能が、可能
特度時 成 小成 小 水成 小 出 3 4 所 5 月 6 か 水成 4 月 5 月 6 日 7 日 7 日 8 日 9 日 10 日 11 日 12 日 13 日 14 日 15 日 15 日 16 日 17 日 17 日 18 日 </td <td>の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 書の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・・配布 中学校等における水災害教育を実施 前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催 果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 作成・配布 治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇 の共同点検の実施</td> <td>ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施</td> <td>引き続きき</td> <td>水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)</td> <td>実施 引き続き 実施 引き続き 実施</td> <td>・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 130.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 130実績56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成。も市民便和帳」の改定時に併せて、報告への掲載を検討する。・防災マップを開発である。・防災マップを開発を作成を開発を作成がある。・防災マップで開発を指針を作成がある。・防災マップで開発を検討する。・防災マップで開始を指針を行いている場合では、1500人の関連を検討する。・防災マップでは、150人の関連を検討する。・防災マップで開始を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表</td> <td>実施 今後検討 引き施 引き施 き施 き施 き施 書施 また 日表施 また H30~ 順次 毎年</td> <td>・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・おります。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。</td> <td>引き施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td> <td>・田前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・田前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。 ・河川管理者を中心とし、自治会等が参加した重要水防箇所の点検を実施している。</td> <td>引き続き 引き続き 引き続き 事を 事を 事を 事を 事を 事を 事を 事を 事を を りを も りを も</td> <td>・小・中学校からの依頼により、防災教育全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名 ・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。</td> <td>引実の対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が</td>	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 書の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・・配布 中学校等における水災害教育を実施 前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催 果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 作成・配布 治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇 の共同点検の実施	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施	引き続きき	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 130.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 130実績56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成。も市民便和帳」の改定時に併せて、報告への掲載を検討する。・防災マップを開発である。・防災マップを開発を作成を開発を作成がある。・防災マップで開発を指針を作成がある。・防災マップで開発を検討する。・防災マップで開始を指針を行いている場合では、1500人の関連を検討する。・防災マップでは、150人の関連を検討する。・防災マップで開始を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表	実施 今後検討 引き施 引き施 き施 き施 き施 書施 また 日表施 また H30~ 順次 毎年	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・おります。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	引き施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・田前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・田前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。 ・河川管理者を中心とし、自治会等が参加した重要水防箇所の点検を実施している。	引き続き 引き続き 引き続き 事を 事を 事を 事を 事を 事を 事を 事を 事を を りを も りを も	・小・中学校からの依頼により、防災教育全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名 ・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。	引実の対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が
特有のか 11 12 13 数を 15 15 15 15 16 16 17 17 17 17 17 17	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 市ら住民等への周知・教育・訓練に関する取組 書の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作・配布 中学校等における水災害教育を実施 前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催 果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料作成・配布 治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇の共同点検の実施 災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 ・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加 ・バザードマップ作成の基礎資料となる浸	引き続き 引き続き 引き続き 引き施 引き施 ・	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 130.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 130実績56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成。も市民便和帳」の改定時に併せて、報告への掲載を検討する。・防災マップを開発である。・防災マップを開発を作成を開発を作成がある。・防災マップで開発を指針を作成がある。・防災マップで開発を検討する。・防災マップで開始を指針を行いている場合では、1500人の関連を検討する。・防災マップでは、150人の関連を検討する。・防災マップで開始を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表	実施 今後検討 引き施 引き施 き施 き施 き施 書施 また 日表施 また H30~ 順次 毎年	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・おります。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	引き続き 引き続き 引き施 引き施 引き施 の で を を を を を を を を を を を を を を を を を を	・田前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・田前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。 ・河川管理者を中心とし、自治会等が参加した重要水防箇所の点検を実施している。	引き続き 引き続き 引き続き 事を 事を 事を 事を 事を 事を 事を 事を 事を を りを も りを も	・小・中学校からの依頼により、防災教育全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名 ・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。 ・県と合同で毎年実施 ・検討中	引実 引実 引実 利実 所 次 外 次 所 次 所 後 施 り 後 り り り り り り り り り り り り り り り り
特有のか 水成 小 出 効を 自所 「3 14 所 「3 15 「15 15 15 16 16 16 16 16	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 市ら住民等への周知・教育・訓練に関する取組 書の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作・配布 中学校等における水災害教育を実施 前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催 果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料作成・配布 治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇の共同点検の実施 災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 ・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加 ・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表	引き続き 引き続き 引き続き 引き施 引き施 ・	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	・検討中 ・水中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 130.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 130実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成する。 ・「防災なって更新、に、選集のでは、特集へ必要更新、と目が表質ないで、特集へのを更新、(H30.4) ・出前講座等で周知・説明 ・河前管理者と自治会員へ配布(H30.4) ・地前講座等で周知・説明 ・河前等の共同点検を実施する。	実施 今後検討 引き施 引き施 き施 引き施 書施 書施 調次実施 H30~ 順次 有後検討 順次実施	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出が調整等を実施 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。 ・検討中	引き続き	・田前議座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・田前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。 ・河川管理者を中心とし、自治会等が参加した重要水防箇所の点検を実施している。	引き続き 引き続き 引き続き 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた	・小・中学校からの依頼により、防災教育全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実施 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名 ・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。 ・県と合同で毎年実施 ・検討中	引実 引実 列実 順 次施 後
特有のか 水成 小 出 効を 上 13 対条 上 15 知 16 16	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 書の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・・配布 中学校等における水災害教育を実施 前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催 果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 作成・配布 治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇の共同点検の実施 災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周 ・教育・訓練	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・ 出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・ 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・ 重要水防箇所等の共同点検の実施 ・ 変害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加 ・ バザードマップ作成の基礎資料となる浸水規定区域図の公表 ・ 洪水浸水規定区域図の公表 ・ 洪水浸水規定区域図の公表	引き続き 引き続き 引き続き 引き施 引き施 ・	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	・検討中 ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・宮山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 130.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 130実績56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や防災で対域といるでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1の	実施 今後検討 引き施き 引き施き き施き き施 き施 き施 大次施 H30~ 順実施 今後検討	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出が調整等を実施 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。 ・検討中	引き続き 引き続き 引き施 引き施 引き施 の で を を を を を を を を を を を を を を を を を を	・田前議座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・田前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。 ・河川管理者を中心とし、自治会等が参加した重要水防箇所の点検を実施している。	引き続き 引き続き 引き続き 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた	・小・中学校からの依頼により、防災教育全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名 ・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。 ・県と合同で毎年実施 ・検討中	引実 引実 引来 順東 今後
特有のか 水成 小 出 効を 自所 「知 11 12 出 効を 自所 「知 15 16	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 市ら住民等への周知・教育・訓練に関する取組 書の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作・配布 中学校等における水災害教育を実施 前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催 果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料作成・配布 治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇の共同点検の実施 災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 ・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加 ・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水規定区域図の公表 ・洪水浸水想定区域図の公表 ・光波には図の公表 ・光流川(H30,11,21)	引き続き 引き続き 引き続き 引き施 引き施 ・	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	・検討中 ・水中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 130.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 130実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成する。 ・「防災なって更新、に、選集のでは、特集へ必要更新、と目が表質ないで、特集へのを更新、(H30.4) ・出前講座等で周知・説明 ・河前管理者と自治会員へ配布(H30.4) ・地前講座等で周知・説明 ・河前等の共同点検を実施する。	実施 今後検討 引き施 引き施 き施 引き施 書施 書施 調次実施 H30~ 順次 有後検討 順次実施	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出が調整等を実施 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。 ・検討中	引き続き 引き続き 引き施 引き施 引き施 の で を を を を を を を を を を を を を を を を を を	・田前議座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・田前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。 ・河川管理者を中心とし、自治会等が参加した重要水防箇所の点検を実施している。	引き続き 引き続き 引き続き 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた	・小・中学校からの依頼により、防災教育全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名 ・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。 ・県と合同で毎年実施 ・検討中	実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
特有の が成 水成 中 111 12 13 効を 14 所 15 知 16	の洪水を理解するための周知・理解促進の取組 から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 書の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作 ・・配布 中学校等における水災害教育を実施 前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催 果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料 作成・配布 治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇の共同点検の実施 災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周 ・教育・訓練	ための副教材の作成・配布 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成) ・重要水防箇所等の共同点検の実施 ・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加 ・バザードマップ作成の基礎資料となる浸水規定区域図の公表 ・洪水浸水規定区域図の公表 ・光沸水湯水規定区域図の公表 ・光期に1830、11,21)	引き続き 引き続き 引き続き 引き施 引き施 ・	水防の避難や訓練など支援 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施 ・「警報級の可能性」や「危険度分布」などの広報用チラシの配布(H30)	実施 引き続き 実施 引き続き 実施	・検討中 ・水中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 ・富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施 130.7.19 万葉小学校5年生約30人 ・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施 130実績 56件 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成する。 ・「防災なって更新、に、選集のでは、特集へ必要更新、と目が表質ないで、特集へのを更新、(H30.4) ・出前講座等で周知・説明 ・河前管理者と自治会員へ配布(H30.4) ・地前講座等で周知・説明 ・河前等の共同点検を実施する。	実施 今後検討 引き施 引き施 き施 引き施 書施 書施 調次実施 H30~ 順次 有後検討 順次実施	・出前講座等で防災教育を実施する。 ・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出前講座等を実施 ・出が調整等を実施 ・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。 ・検討中	引き続き 引き続き 引き施 引き施 引き施 の で を を を を を を を を を を を を を を を を を を	・田前議座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 ・田前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。 ・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。 ・河川管理者を中心とし、自治会等が参加した重要水防箇所の点検を実施している。	引き続き 引き続き 引き続き 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた 高りまた	・小・中学校からの依頼により、防災教育全般として実施している。 ・自治会等から出前講座の要請があれば実 ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名 ・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。 ・県と合同で毎年実施 ・検討中	引きがいる。

	富山県		富山地方気象台	1 -1-110	高岡市		砺波市	1	小矢部市		南砺市	
カテゴリ	実施内容・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して自主防災組織の資機材整備や避難訓練等を支援		実施内容	時期	実施内容 ・自主防災組織等の結成率の向上を図る。 ・住民の防災意識を高めるため、出前講 座・水防災訓練を実施する。 ・自主防災組織の要となる防災士を育成す る。	順次実施	実施内容 ・住民の防災意識を高めるために研修会の 実施や防災士による訓練指導等の実施	順次実施	実施内容・自主防災組織への情報提供を進める。	時期 引き続き毎 年実施	実施内容 ・平成28年3月29日に防災士の有志により「防災こころえ隊」を設立した。当隊 は、自主防災組織からの派遣要請に基づき、各種訓練に参加のうえアドバイスをすることで、自主防災組織のに隊の活動を推 がっている。今後も積極的に隊の活動を推進していくことで、地域の防災力向上を図	\$ ├ É
住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための 自主防災組織の充実					・自主防災組織等の結成 H30実績 自主防災組織1件 自主防災組織連絡協議会4件 ・防災に係る出前講座を実施 H30実績 116件(自治会等) ・防災土育成事業(防災講演会)を実施 H31.2.24 県西部6市と合同実施	順次実施	· 市総合防災訓練を実施(水害想定) H30. 9. 2 市総合防災訓練	H30~			る。 - 市総合防災訓練を実施 H30.8.26 南砺市総合防災訓練	引き続 毎年実
水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・県肝に問い合わせ窓口を設置(県) ・相談窓口をHPに掲載	引き続き実施引き続き			・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	今後村
策の主な取組 ②迅速かつ確実な避難行動のための取組		夫旭										
伝達、避難計画等に関する取組	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や	一順次宇体		1	I	1		1		1	I	
想定最大規模降雨による浸水想定区域図、浸水継続時間、 家屋倒壊等氾濫想定区域等の作成・公表	家屋側議等氾濫想定区域等の公表 ・洪水浸水想定区域図の公表 ・無川(H30.11.21) 渋江川(H30.11.21) 小矢部川(H30.8.17) 山田川(H30.8.17)	H30										
	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や 家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	順次実施			・洪水ハザードマップの見直しを行い、周 知・広報を実施する。	平成30年度 より実施	・新たな洪水ハザードマップの策定	H30年度実施	・新たな洪水ハザードマップの策定	H31	過去に作成したハザードマップの見直し (最大浸水想定区域、避難計画を反映)	H30
新たな洪水ハザードマップの策定(広域的な避難計画等も 反映)	・洪水浸水想定区域図の公表 子撫川(H30.11.21) 渋江川(H30.11.21) 小矢都川(H30.8.17) 山田川(H30.8.17)	H30			・新たな洪水ハザードマップを策定中 (R1年度公表予定)	H30∼	新たな洪水ハザードマップの策定 (H31. 4. 25公表)	H30	・新たな洪水ハザードマップを策定 (H30年度)	H30~	・新たな洪水ハザードマップを策定 (H31.4公表)	H30
	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や 家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	順次実施			・洪水ハザードマップの見直しを行い、周 知・広報を実施する。	平成30年度 より実施	・市内全戸、事業所などへ洪水ハザード パップを配布・周知する。	H31実施	・新たなハザードマップの各戸配布・周知	H32	・新たなハザードマップの各戸配布・周知	П Н30
新たなハザードマップの各戸配布・周知 (ハザードマップボータルサイトや地図情報等の活用な ど)	・洪水浸水想定区域図の公表 子撫川(H30, 11, 21) 渋江川(H30, 11, 21) 小矢部川(H30, 8, 17) 山田川(H30, 8, 17)	H30			・新たな洪水ハザードマップを策定中 (R1年度公表予定)	H30~	・洪水ハザードマップの配布・周知 (H31. 4. 25公表 広報誌、市HP)	H30∼R1	・洪水ハザードマップを策定 (H30年度策定、R1年度配布予定)	H30∼R1	・新たな洪水ハザードマップを配布 (H30年度策定、H31.5全戸配布)	H30-
	・富山県総合防災システムにより、①県と参加可能な国・市町村・防災関係機関等がリアルタイムで閲覧、書込み、情報共有を実施。②また、Lアラート等を不被害情報し、遺機関等との連携により住民等へ被害情報等を迅速・的極に提供。 ・河川情報システムの改良・携帯端末向けのシステムの実施・河川監視カメラの設置(水位計設置箇所)		・気象警報・注意報等を発表し、現象ごとに警戒、注意期間及び雨のピーク時間帯、量などの予規最大値を周知し、必要に応じて、自治体、関係機関に情報伝達(ホットライン)を実施	引き続き 実施	・高岡市防災情報メールについて、更なる 普及のため周知・広報を実施する。また、 エリアメール、CATYのL字放送、コ ミュニティFMの割り込み放送を活用す る。	引き続き 実施	・登録制である砺波市緊急メールについて、更なる普及のため市民に周知及び広報を行う。	順次整備	・登録制メールの普及	H28年度から 実施	・携帯電話及びパソコンのメールを利用した緊急メールの登録について、更なる普及を目指しFRしていく、・既存の防災行政無線をデジタル化するとともに、難聴エリア解消にむけて屋外拡声子局の増設も行う。・南砺市防災アプリを開発し、気象情報や避難情報の伝達を図る。	ξ - =
リアルタイムの情報提供やブッシュ型情報の発信など防災 情報の充実 (水位や河川状況等ライブカメラ情報、避難情報)	・簡易水位計の設置 ・一般向けの緊急速報メール配信の実施 ・河川監視カメラの設置1基 山田川 1基(桜橋) ・河川監視カメラのP公開選 ・河川監視カメラのP公開選 ・河川監視カメラのP公開選 ・ 送に川(下御亭橋)1基 ・ 次注川(下御亭橋)1基 ・ 小矢部川2基(桜橋) ・ 危機管理型水位計設置5基 ・ 小矢部川水系5基(明神川、池川ほか)	引き続き実施	・大雨が予想された場合、富山県等に 情報伝達を実施 (H30)	引き続き実施	・市防災情報メールについて市IPで周知 ・出前講座等の際に登録を呼びかけ	順次実施					- 運用開始済	整備
避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライ	・市町村が作成するタイムラインに必要な 水位情報等の提供	順次実施	・富山河川国道事務所、富山県及び関係市町村と共同で整備・改善を支援	引き続き実施	・作成済みタイムラインの改善を実施、洪 水対応マニュアルの見直しを実施する。	引き続き 実施	・防災行動計画(タイムライン)は策定済 み。河川管理者及び関係機関と連携して改 善等を図る。		・作成済みタイムラインの改善を実施		・防災計画のタイムライン策定時期と合わせ水防計画において策定する。) 順次
ン)の整備及び検証と改善 			・大雨災害時の対応等の聞き取り調査 H30 南砺市で実施	引き続き 実施		今後検討						
中小河川において、相当な被害が発生する可能性を予見し	・H29から取組みを開始(試行)	引き続き実施	主な河川を対象とした流域雨量指数による 危険度分布の能動的ホットライン	引き続き	・H29から取組みを開始(試行)	引き続き実施	・H29から取組みを開始(試行)	引き続き	・H29から取組みを開始(試行)	引き続き	・H29から取組みを開始(試行)	引き実施
た場合、首長等への直接の情報提供(ホットライン)の実施	・試行運用(H29~) H30実績 なし	引き続き	・大雨が予想された場合、富山県等に 情報伝達を実施(H30)	引き続き	・試行運用(H29~) H30実績 なし	引き続き	・試行運用(H29~) H30実績 なし	引き続き実施	・試行運用(H29~) H30実績 なし	引き続き	・試行運用(H29~) H30実績 なし	引き
	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供 ・要配慮者利用施設管理者向け説明会への 支援	JC 100	月秋以走之大池(HOO)	大ル	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。 ・家屋倒壊危険区域内の要配慮者施設へさらなる情報伝達ツールを検討する。	H29年度から 順次実施	・浸水想定区域内(50cm以上) の要配慮者利 用施設について、避難確保計画及び避難訓 練の実施を促進する。	- 1	・検討中	今後検討	浸水想定区域内の要配慮者施設について、 避難確保計画及び避難訓練の実施を促進す る。	
要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・洪水浸水想定区域図の公表 子撫川(H30.11.21) 渋江川(H30.11.21) 小矢部川(H30.8.17) 山田川(H30.8.17) ・施設管理者向け説明会で説明 H30.5.16 南砺市説明会	H30			・施設管理者へ資料提供及び説明会を実施 H30.4~6 ・市内対象施設218施設のうち24施設で 避難確保計画を作成済 (H31.3末時点)	H29~	・市内対象施設14施設のうち14施設で 避難確保計画を作成済 うち、10施設で避難訓練を実施 (H31.3末時点)	H30~	・市内対象施設27施設のうち19施設で 避難確保計画を作成済 うち、5施設で避難訓練を実施 (H31.3末時点)	H30~	・施設管理者向け説明会を開催 H30.5.16 説明会 ・市内対象施設5施設のうち5施設で 避難確保計画を作成済 うち、3施設で避難訓練を実施 (H31.3末時点) ・ハザードマップ更新による追加対象 は22施設	
本よ月七宮難よりが振みでは中々の晩年上上~1/2-1	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及 び家屋倒壊危険区域の公表	順次実施			が必要な区域を検討する。 ・避難所ごとに水害時の浸水深や避難の可 否について確認を行う。 ・広域避難のほかに垂直避難等柔軟な避難		・浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険 区域等により、立ち退き避難が必要な区域 を検討する。		・最短到達時間によっては垂直避難をする ことも考慮し検討		・浸水想定区域図等の公表を踏まえ、避難 所ごとに水害時の浸水深、避難の可否、及 び経路について検証していく。	
立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	・洪水浸水想定区域図の公表 子撫川 (H30.11.21) 渋江川 (H30.11.21) 小矢部川(H30.8.17) 山田川(H30.8.17)	H30			方法検討する。 ・洪水ハザードマップの改定作業に 合わせ検討中	H30~					・新たな洪水ハザードマップを策定 (H31.4公表)	H30

+	富山県	n±.440	富山地方気象台	n± //-	高岡市	AT 310	砺波市	n± ***	小矢部市	n± ***	南砺市	
カテゴリ	実施内容・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水	時期 順次実施	実施内容	時期	実施内容 ・県西部6市と連携し、広域避難計画を検	時期 平成28年度	実施内容・・国、県、関係市町村と連携し、計画規模	時期 平成28年度	実施内容・県、関係市と連携し検討	時期 平成29年度	実施内容 ・広域避難の現実性について、隣接市とも	5 平成
	深、浸水継続時間等)の提供	//k/小大ル			計する。	から順次実	洪水に対する広域避難計画を広域避難計画	から順次実			協議しながら検討していく。	からから
7						池	│を検討・策定する。 ・国、県、関係市町村と連携し、想定最大	池		肔		池
							規模洪水に対する広域避難計画を広域避難 計画を検討・策定する。			1		
参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	. 개·사열·사원·수 다 남 전 소 시 후	H30			・ 庁 標準数に ヘハマ 松型	H30∼	마르크지카 자본 기 있는			1		_
	・洪水浸水想定区域図の公表 子撫川 (H30.11.21)	H30			・広域避難について検討	H3U~						
	渋江川 (H30. 11. 21) 小矢部川(H30. 8. 17)											
	山田川(H30. 8. 17)	<u> </u>										
8	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	順次実施			・洪水ハザードマップの見直しを行い、周 知・広報を実施する。	H30年度から 実施	・新たなハザードマップの策定	H30年度以降 順次実施	・洪水ハザードマップを更新し、全戸配布 することにより周知		・洪水ハザードマップの見直しを行い、全 戸配布により周知する。	È H3
									することにより向和	施施		
広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップ の策定・周知	- 洪水浸水想定区域図の公表 - 子撫川 (H30.11.21)	H30			・洪水ハザードマップを策定中 	H30~	・ハザードマップを作成中 (H31.4公表予定)	H30∼			・新たな洪水ハザードマップを策定 (H31.4公表)	НЗ
	渋江川 (H30. 11. 21) 小矢部川(H30. 8. 17)											
	山田川(H30. 8. 17)											
19 水位予測の検討及び精度の向上			・大雨・洪水警報等の評価及び精度の向上・災害補足状況の検証と洪水警報等の基準	順次実施								
別が位予測の検討及び有及の向上			の変更									
小規模の流域・急流河川に対応する精度の高い降雨・洪水 予測の実施			・災害補足の状況と洪水警報等の基準の 検証の実施(H30)	引き続き								
ア州の美ル			· 予測精度等の改善を検証	引き続き								
気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」			《中恋生小为春 14 1 在脸在多丛红中长	実施								
等の改善			・災害発生状況などと危険度の検証実施 (H30)	引き続き 実施								
 対策の主な取組 ③洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の	I 確保のための水防活動等の取組											_
K防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組		コキ体ナ	,	コキ体ナ	. 河川英田孝し十 、沙叶十年 、沙叶口・	コキ体ナ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	コキケナ	. 河川佐田 老がたこれが部体にない。	1月光体+	・ 士叶(公司)徳中1-1844マー司(キャナナ・)	, 1-
	・情報伝達訓練の実施	引き続き 実施	・情報伝達訓練等への支援	引き続き 実施	・河川管理者と市、消防本部、消防団の連 絡体制を確認し、河川管理者が行う情報伝	引き続き 毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、 河川管理者が行う情報伝達訓練に参加す	引き続き 毎年実施	・河川管理者が行う水防訓練において、市 長も参加するものとする。	引き続き 毎年実施	・市防災訓練時に併せて、訓練できないか 検討し、実施に向けて取組む。) 引
					達訓練に参加する。 ・首長が参加する本部運営訓練、市職員の		న .					
11 水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情					参集訓練を実施する。					1		
水防団等への建給体制の確認と自長も参加した美銭的な情報伝達訓練の実施					・消防団への連絡体制の強化として、災害 メール、携帯無線、消防団幹部への電話連					1		
					絡などを実施する。					1		
					・洪水対応演習(情報伝達訓練)に参加	引き続き				1	・市総合防災訓練を実施	弓
		In the second	Z. T. D. D. C.		H30. 4. 20	毎年実施	X 1100 700 40 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		No. of the second secon		H30. 8. 26 南砺市総合防災訓練	毎
2	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き実施	・重要危険箇所等の合同巡視を実施。	引き続き 実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇 所等の合同巡視を実施する。	引き続き 毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所 等の合同巡視を行う。	引き続き 毎年実施	・河川管理者を中心とし、自治会等が参加 した重要水防箇所の点検を実施する。	引き続き 毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で行われる、 重要水防箇所等の合同巡視に参加する。	弓 在
自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き		1	・河川パトロールの実施	引き続き				17 17 170		
高い箇所の合同巡視の実施	H30.5.22 (南砺市、砺波市と合同)	実施			H30.5.25 ・沿川市町、沿川自治会と共同で	毎年実施						
					重要水防箇所等の点検を実施 H30. 6. 7					1		
	 	引き続き	・要請による訓練への支援	引き続き	・毎年、出水期前に水防訓練を実施	引き続き	・関係機関が連携した水防実働訓練等の検	引き続き	・毎年防災訓練を実施	引き続き	・市総合防災訓練時に、洪水を想定した連	車 引
3	携した水防実動訓練等を実施	実施		実施	・毎年行っている実働水防訓練の内容を検	毎年実施	討する	毎年実施		毎年実施	絡体制や水防訓練を実施	= ()
関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。				討する。					1		
			・県防災訓練に参加	引き続き	・水防訓練を実施	引き続き			・市総合防災訓練を実施	引き続き	・市総合防災訓練を実施	弓
			H30. 9. 29 富山市総合防災訓練	実施	H30.6.2 庄川左岸河川敷 ・水防活動の担い手となる消防団員の募集	毎年実施	・広報誌やホームページで消防団員及び協	引き続き	H30.9 ・水防活動の担い手となる消防団員の募集	毎年実施引き続き	H30.8.26 南砺市総合防災訓練 ・他市町村の実施状況を参考に、市防災担	田 引
14					を促進する。	実施	力団体の募集を行う。	実施	を促進する。	実施	当課と協議しながら対応を検討する。	美 美
水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・ 指定を促進					・SNSでの消防団の活動を紹介 H30	H30∼						
					・イベント等でチラシを配布							
	・水防技術講習会に参加	引き続き			H30 ・水防技術講習会に参加	引き続き	・水防技術講習会に参加	引き続き	・水防技術講習会に参加	引き続き	・水防技術講習会に参加	引
5		実施				実施	が	実施	73-19-11A-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11	毎年実施	3160 JA 100 HT E ZI - 2 JUL	実
国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	・水防技術講習会に参加 H30.10.16 1名	引き続き 実施			・水防技術講習会に参加 H30.10.16 1名	引き続き 実施						
					H30. 11. 9 1名	7420						
6	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順次実施										
1 10 18 1/2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	・洪水浸水想定区域図の公表	H30										
大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	子撫川 (H30. 11. 21) 渋江川 (H30. 11. 21)											
	小矢部川(H30. 8. 17) 山田川(H30. 8. 17)											
	page 22/11 (100. 0. 17)				1.検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	今
地域の事業者による水防支援体制の検討・構築												
│ 『配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取;	相									1	"	
2007年度に関する収	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水	順次実施	要配慮者利用施設による避難確保計画等の				・要配慮者利用施設における避難計画策定		・要配慮者施設における避難計画策定の推		・浸水想定区域図等の公表を反映させたハ	
8	深、浸水継続時間等)の提供		作成を行おうとする際の支援。	実施	進を行う。 ・家屋倒壊危険区域内の要配慮者施設へさ	順次実施	の推進を行う。	順次実施	進を行う。	順次実施	ザードマップ等を関係各施設に配布するとともに、依頼に応じて説明会を実施する。	
					らなる情報伝達ツールを検討する。							
要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援	・洪水浸水想定区域図の公表 子撫川 (H30.11.21)	H30			・施設管理者へ資料提供及び説明会を実施 H30.4~6	H29~	・市内対象施設14施設のうち14施設で 避難確保計画を作成済	H30∼	・市内対象施設27施設のうち19施設で 避難確保計画を作成済	H30∼	・施設管理者向け説明会を開催 H30.5.16 説明会	
を実施	渋江川 (H30.11.21)				・市内対象施設218施設のうち24施設で		うち、10施設で避難訓練を実施		うち、5施設で避難訓練を実施	1	・市内対象施設5施設のうち5施設で	
	小矢部川(H30. 8. 17) 山田川(H30. 8. 17)				避難確保計画を作成済 (H31.3末時点)		(H31.3末時点)		(H31. 3末時点)	1	避難確保計画を作成済 うち、3施設で避難訓練を実施	
	・施設管理者向け説明会で説明 H30.5.16 南砺市説明会									1	(H31.3末時点) ・ハザードマップ更新による追加対象	
		<u> </u>				<u></u>					は22施設	
	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	順次実施			・ハザードマップを活用し、大規模工場等 への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発		・大規模工場等への浸水リスクの説明と水 害対策等の啓発活動を行う。	H28年度から 順次実施	・検討中	今後検討	・ハザードマップを活用し、大規模工場等 への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発	
a	/木、/文小枪帆时间守/ V/旋供				への浸水リスクの説明と水害対策等の各発 活動を行う。	大心	日内東守い台北泊駅で1] ノ。	順火天施		1	への浸水リスクの説明と水舎対策等の各発活動を行う。(H31年度~)	ت ^{ال}
大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	・洪水浸水想定区域図の公表 スケリ (H30 11 21)	H30			・洪水ハザードマップの改定作業に	H30∼					・新たな洪水ハザードマップを策定	Н
90)	子撫川(H30.11.21) 渋江川(H30.11.21)				合わせ検討 (H30.4~)					1	(H31. 4公表)	
	小矢部川(H30. 8. 17) 山田川(H30. 8. 17)									1		
	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水	順次実施			│ │·検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	今後検討	・検討中	4
	深、浸水継続時間等)の提供											
大規模工場における情報連絡体制の確立及び自衛水防活動	・洪水浸水想定区域図の公表 子撫川 (H30.11.21)	H30								1		
の取組	渋江川 (H30. 11. 21) 小矢部川(H30. 8. 17)									1		
-		1		1	I	1	1	1	İ	1	i .	- 1

様式-1 概ね5年(H30~H32)で実施する取組(子撫川・小矢部川等グループ)

具体的	的な事	項の柱				実施	する機関							
	項目		富山県		富山地方気象台		高岡市		砺波市		小矢部市		南砺市	
		カテゴリ	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
	■救技	援・救助活動の効率化に関する取組												
	41		・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水 深、浸水継続時間等)の提供	順次実施			・受援計画を策定し、広域支援拠点等の配置等を検討する。	H29年度から 検討	ら ・広域支援拠点等の配備計画を検討	H28年度から 検討	・新たな浸水想定に基づき現行の地域防災 計画等の見直しを検討する。	H28年度から 検討	・広域支援拠点等の配置計画の検討	H28年度から 検討
		大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置 計画の検討を実施	・洪水浸水想定区域図の公表 子振川 (H30, 11, 21) 渋江川 (H30, 11, 21) 小矢部川(H30, 8, 17) 山田川(H30, 8, 17)	H30			・富山県受援体制検討会に参画 ・高岡市受援計画策定に向け情報収集	H30~						
		水計画(案)の作成及び排水訓練の実施						•	•	•	-	'		
	42	氾濫水を迅速に排水するため、排水施設の情報共有、排水 手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画 (案)を検討・作成	・排水ポンプ車設置可能箇所の検討	今後検討			・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から 検討	5 ・大規模水害を想定した排水計画(案)の 検討を実施	H28年度から 検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水 ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から 検討	・大規模水害を想定した排水計画(案)の 検討を実施	H28年度から 検討
	43	地下街が浸水した場合の排水計画(案)の検討を実施					・地下街への浸水を想定した避難計画及び 排水計画(案)の必要性を検討する。	H28年度から 検討						
							・必要性を検討	H30∼						
	44	排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	・連絡体制の確認	順次実施			・整備済みである排水ポンプ車出動要請の 連絡体制の確認を行う。	引き続き 毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認 を実施	引き続き 毎年実施	・整備済みである排水ポンプ車出動要請の 連絡体制の確認を行う。	引き続き 毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制等を作 成する。	引き続き 毎年実施
		排水ホンノ早の口剿安請の建給体制寺を銓伽					・洪水対応演習にて実施 H30.4.20	引き続き 毎年実施						
		排水計画(案)に基づき、関係機関が連携した排水実働訓	・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施			・水防訓練と合同で実施する。 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加する。	順次実施	・水防訓練と合同で訓練を検討	順次実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施
		練の実施					・水防訓練を実施 H30.6.2 庄川左岸河川敷	引き続き 毎年実施						

(様式2-取組概要)

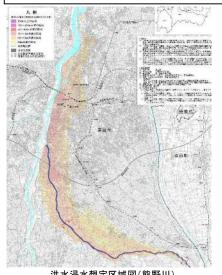
カテゴリ	想定最大規模降雨による浸水想定区域図等の作成・公表
内 容	想定最大規模降雨を対象とした浸水想定区域図等の公表
実施主体	富山県

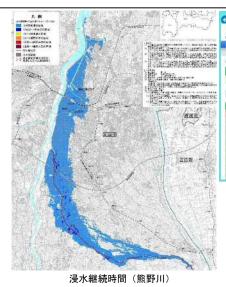
県管理河川(水位周知河川)において、想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図 等を公表した。

【公表状況】 1 7 河川 (H31.3月末現在)

(参考)県内全体では28河川

- ・神通川水系いたち川、土川、熊野川、坪野川、山田川(婦負)
- ・小矢部川水系小矢部川(県管理区間)、旅川、山田川(砺波)、岸渡川、横江宮川、渋江川、子撫川、
- 白岩川水系白岩川、栃津川、大岩川 上市川水系上市川







洪水浸水想定区域図(熊野川)

(様式2-取組概要)

カテゴリ	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
内 容	河川監視カメラの設置及び画像情報の一般公開
実施主体	富山県

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難勧告等の判断を支援するため、県管理の水位 周知河川の水位観測所等24箇所(H31.3月末時点)において、河川監視カメラを設置し、カメラ画像をイン ターネットを通じて一般公開した。 (参考)県内全体では47箇所

【実施概要】

・公開開始日:平成30年6月1日

・公開の方法:画像情報(静止画:10分更新)と水位情報をホームページで提供

・公開HP :「川の水位情報」(https://k.river.go.jp)

「富山県河川・海岸カメラ」(http://kawa.pref.tovama.jp/camera)



外部公開サイト(富山県河川・海岸カメラ

河川監視カメラ画像

(様式2-取組概要)

カテゴリ	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
内 容	危機管理型水位計の設置
実施主体	富山県

中小河川の水位を把握し、住民の避難判断に役立てるため、危機管理型水位計を県管理河川に

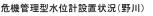
【実施概要】

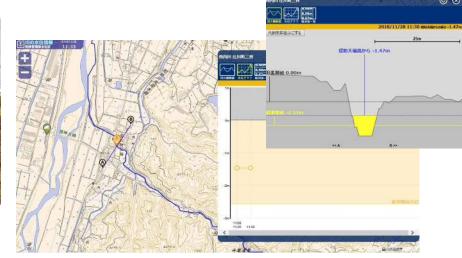
・設置箇所:庄川水系谷内川など65箇所 (H31.3月末時点) (参考)県内全体では85箇所

・公開開始日:令和元年5月31日(金)

・公開の方法:「川の水位情報」(https://k.river.go.jp)







危機管理型水位計の公開サイト(「川の水位情報」)

(様式2-取組概要)

カテゴリ	自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施
内 容	河川施設点検の実施
実施主体	富山県、富山市、滑川市、上市町、立山町

沿川市町と共同で重要水防箇所等の点検を行った。

【実施概要】

•日 時:平成30年5月24日

·参加者:富山県河川課、富山県立山土木事務所、富山市、滑川市、上市町、立山町

・内 容:①河川管理施設の点検 ② 重要水防箇所の周知

③ 水防備蓄資材の点検







重要水防箇所の周知



水防備蓄資材の点検

(様式2-取組概要)

カテゴリ	市議会議員と市職員による河川視察を実施
内 容	市内河川の視察
実施主体	滑川市

H30.7.5大雨により上市川が避難判断水位を超過し、避難準備・高齢者等避難開始を発令したことから、市議会議員と市職員が市内河川を視察した。

重要河川の視察を行った。

【実施概要】

日時:平成30年11月2日

- 参加者: 市議会議員 13名 市職員 9名

• 視察河川:上市川、沖田川、早月川







上市川 沖田川 早月川

平成30年8月16日豪雨による坪野川における対応 「富山土ホセンター」

〇 平成30年8月16日豪雨による急激な水位上昇について、河川管理者である富山県から富山市 にホットラインで直接情報を提供。

良かった点や課題

≪良かった点≫

○避難判断を担う富山市に直接電話で水位情報を提供できた。

≪課題≫

〇坪野川は、当該区間の河道断面積が狭く、水位が急激に上昇することから、水防団待機水位【1.5m】から氾濫 危険水位【2.0m】に到達する時間が非常に短い。

<8月16日の水位経過>

1.03m(15:00)→1.87m(15:10)→2.15m(15:20)→2.19m (15:30)【最大水位】 ホットライン実施 (15:26)

〇今回は、最大水位から1時間程度で水防団待機水位を下回ったため、住民への避難勧告等はされなかったが、 このような河川での避難判断は非常に難しいと思われる。

上記に対する対応策等

- 〇過去の実績等から水位が急激に上昇すると考えられる河川については、雨雲の動きや水位の情報を早い段階で把握し、速やかに情報提供できるように準備する。
- 〇ホットラインとともに気象庁が提供している雨雲の動き等も補足情報として市に提供し、避難判断の支援とする。

平成30年7月5日豪雨による上市川における対応 [滑川市]

○ 平成30年7月5日豪雨による急激な水位上昇により、避難情報を発表した。

良かった点や課題

- ≪良かった点≫
- 〇避難判断水位【3.4m】に達したため、速やかに避難準備·高齢者等避難開始を発令し、避難所を開設できた。

≪課題≫

- 〇上市川の水位観測地点である交観橋付近は、土砂の堆積があることや立木が伸びており、河川の流下能力 を低下させているものと考えられる。
- 〇避難所開設が初めてであったことから、避難所開設や運営の問題点が明確化された。
- 【<7月5日の水位経過>
- 2.43m(15:00)→3.31m(16:00)→3.41m(16:20)【最大水位】→3.72m (18:10) →3.71m (18:20) 以後水位低下
- 18:48避難準備・高齢者等避難開始を発令し、避難所を開設した。
- 21:30避難情報を解除し、避難所を閉鎖した。

上記に対する対応策等

- 〇避難所開設訓練を実施することとした。
- ○河川管理者である富山県立山土木センターへ、河床の浚渫等の対応を要望している。

県管理河川における洪水浸水想定区域図の作成・公表

- ・神通川水系いたち川(H30.8.17 公表)
- ·神通川水系土川(H30.8.17 公表)
- ·神通川水系熊野川(H30.8.17 公表)
- ·神通川水系坪野川(H30.8.17 公表)
- ·神通川水系山田川(H30.8.17 公表)
- ·小矢部川水系小矢部川(H30.8.17 公表)
- ·小矢部川水系旅川(H30.8.17 公表)
- ·小矢部川水系山田川(H30.8.17 公表)

- ·小矢部川水系岸渡川(H30.11.21公表)
- ·小矢部川水系横江宮川(H30.11.21 公表)
- ·小矢部川水系渋江川(H30.11.21 公表)
- ·小矢部川水系子撫川(H30.11.21公表)
- ·小矢部川水系千保川(H31.3.29 公表)
- ·白岩川水系白岩川(H31.3.29 公表)
- ·白岩川水系栃津川(H31.3.29 公表)
- ·白岩川水系大岩川(H31.3.29 公表)
- ·上市川水系上市川(H31.3.29 公表)

